# 07年度　コラムプラネット　第5セッション

エントリー作品数　45

上位　18作品　をお届けします。

# テーマ：金

投票総数：195件

| 順位 | ポイント | 投票数 | 作品タイトル | 作成者 | 作者コメント | コメント数 | 最新投稿時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1位 | 34 | 14 | Only Friday | RIRI | 有 | 26 | 2/11 21:52 |
| 2位 | 29 | 14 | 故郷からの小包 | ノエ | 有 | 32 | 2/15 12:38 |
| 3位 | 24 | 11 | 久しぶりに届いた贈り物 | Julio | 有 | 21 | 2/11 22:2 |
| | 18 | 9 | 金色の王子 | Bloomoon | 有 | 18 | 2/17 0:56 |
| | 15 | 7 | お金がほしいの。 | parakeet | 有 | 28 | 2/12 16:45 |
| | 14 | 7 | 成り金 | ken | 有 | 21 | 2/14 6:15 |
| | 14 | 9 | 江戸隠密スナイパー | ハイパー・ワイハー | 有 | 19 | 2/14 23:53 |
| | 14 | 8 | 使用目的：天下布武 | kirie | 有 | 28 | 2/20 14:56 |
| | 14 | 8 | 2:1＋√5の神様 | paco | 有 | 29 | 2/11 9:4 |
| | 13 | 7 | ３６００ | bagi | 無 | 23 | 2/11 9:9 |
| | 13 | 6 | 限りなく金色に近い柿の種 | めふめと2世 | 有 | 26 | 2/15 21:22 |
| | 12 | 6 | 金吉じいちゃんのおんぶと10円玉 | ピチョット | 有 | 17 | 2/15 14:52 |
| | 12 | 6 | 海苔缶 | レロニラ | 有 | 16 | 2/11 16:22 |
| | 12 | 5 | 小銭 | 輝 | 有 | 17 | 2/11 5:18 |
| | 12 | 6 | 金額など問題ではない | す氏 | 有 | 18 | 2/10 10:28 |
| | 11 | 6 | 命の値段 | kunipi | 有 | 25 | 2/15 19:25 |
| | 11 | 4 | ある日の夜、駅前で | でもどり | 有 | 18 | 2/11 13:56 |
| | 11 | 4 | ドリームチームをもう一度 | unknown | 無 | 14 | 2/11 1:11 |
| | 9 | 4 | あたしマニュアル | わがし | 有 | 37 | 2/12 1:19 |
| | 9 | 5 | お釣り | vista | 有 | 36 | 2/11 4:30 |
| | 9 | 6 | 金にまつわるショートショート×２ | 354e14thave | 有 | 24 | 2/12 21:20 |
| | 9 | 3 | 金がないと幸せになれないのか | アボガド | 無 | 18 | 2/11 2:12 |
| | 7 | 3 | 先生の懐 | インギリー | 有 | 29 | 2/17 21:28 |
| | 7 | 5 | 黄金色の稲穂 | きゅうぴー | 有 | 17 | 2/11 3:3 |
| | 7 | 3 | 夕焼け | あお | 有 | 14 | 2/11 1:40 |
| | 6 | 3 | 金と男 | 桜子 | 有 | 32 | 2/11 9:15 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 4 | お金のはなし | いそしぎ | 有 | 17 | 2/11 1:7 |
| 5 | 3 | ギャンブルをしてはいけない | はつね | 有 | 20 | 2/11 1:2 |
| 4 | 2 | 世の中すべて金じゃ。。。 | Yuu | 無 | 19 | 2/11 1:9 |
| 4 | 2 | 人生相談 | 琥珀 | 有 | 15 | 2/11 2:17 |
| 4 | 2 | お金より大切なもの | tkm | 有 | 19 | 2/11 8:54 |
| 4 | 2 | とある元大学生の、とある小遣い稼ぎ | 316L見習 | 有 | 21 | 2/12 4:40 |
| 3 | 1 | 工場 | 紫雲 | 有 | 18 | 2/17 10:32 |
| 3 | 1 | 今過ごすこの時間と、お金と | るらら | 有 | 15 | 2/10 4:13 |
| 2 | 2 | 31000円 | contax139 | 有 | 17 | 2/15 12:20 |
| 2 | 2 | カネを稼ぐ | go19 | 有 | 20 | 2/16 12:8 |
| 2 | 1 | 金の価値 | ローズ | 無 | 15 | 2/10 18:47 |
| 2 | 1 | 花金 | lemontit | 有 | 17 | 2/11 1:42 |
| 2 | 2 | やっぱり不可欠だからだろうか | daikonsalada | 有 | 26 | 2/15 12:11 |
| 1 | 1 | お金に纏わる３つの言説と１つの戯言 | まち | 有 | 13 | 2/10 13:19 |
| 0 | 0 | 金と街 | 大黒様 | 有 | 19 | 2/10 19:4 |
| 0 | 0 | 岐路 | シュトルムティガー | 無 | 18 | 2/11 9:33 |
| 0 | 0 | 口は禍の門 | けっちゃん | 有 | 20 | 2/11 9:23 |
| 0 | 0 | オカネガイチバン | King　Power | 無 | 17 | 2/11 0:46 |
| 0 | 0 | 金さん | ３匹ヤギの | 有 | 19 | 2/15 12:7 |

# Only Friday

総合順位：1位
合計ポイント：34 Point
作者：RIRI
作者コメントを読む

１週間に一度、金曜だけは、我が家の前で私の帰宅を待ち望む者がいる。者といっても猫である。生まれは野良猫であったが、今ではれっきとした我が家の一員である。雉猫なので、ここではキジと呼ぶことにする。

私の両親は共働きである。私も学校に行かなければならないので、昼間は誰も家にいなくなる。キジもまた、猫ゆえに外出を強制される。出発は私のほうが早いので、キジがどこに行くのかは知らない。

しかし帰りはキジのほうが早い。とはいえ玄関の鍵を開けられるわけではないので、キジはいつも門の前で待っている。父か母か、あるいは私の足音を。

１週間のうち、月火水木は母が早くに帰宅するため、キジは私よりも先に玄関をまたぐ。私がキジと屋外で会うのは金曜だけである。なぜなら両親とも金曜だけは帰宅が遅いからだ。

キジは父に懐いている。惣菜の刺身やら魚の切り身やらをよく分け与えてくれるからだ。
キジは母に懐いている。いつも台所から好物の肉やら何やらを提供してくれるからだ。
そしてキジは愛情の残りかすを、余り者の私に注いでくれる。

猫のくせに現金な奴である。

そんなキジも、金曜だけは私に頼らなければならない。この時だけは私のほうが優位なのだと実感できる。キジは急かすように鳴き、扉を開けさせようとする。月火水木と私より先に帰宅してのんびりくつろいでおきながら、私が帰っても挨拶すらしないキジ。何とかして金曜だけは一泡吹かせてやりたい。金曜だけはキジより先に家に入りたい。

玄関の扉が開くとき、キジは横ではなく後ろに数歩下がって避難する。一方で、私は扉の横の位置を常に確保している。だから扉の隙間からの最初の、玄関をまたぐための第一歩を、私は確実にキジより先に踏み出せる。これが金曜だけの、私の特典であり、キジに唯一勝利できる瞬間なのである。

そんな些末な幸せを感じている間に、キジはするりと私の足元を横切り、廊下を駆けていく。そしてしばらくすると、また鳴き出す。金曜だけは夕飯が猫缶でも我慢してやろう、とでも言いたげな高圧的な態度で鳴き続ける。仕方がなく缶を開け、中身を皿に盛って丁重に差し出す。食事が終われば、やっと自由時間となり、キジは私の側に寄ってくる。

１週間に一度、金曜だけは、キジが私の面倒を見てくれる。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| parakeet<br>1/29 14:31 | いいなぁ、猫。<br>しかも面倒を見てくれるなんて…。<br>いいなぁ。うちに来る野良猫もうちの一員にならないかなぁ。 |
| きゅうぴー<br>1/29 14:34 | 微笑ましい関係が見えてきます。この関係は「お金」とは無関係な健全な関係ですね。人間同士もそうありたいものです。 |
| ノエ<br>1/29 23:41 | 「金」曜日かぁ〜。<br>なかなかの内容で、読み応えありです。。<br>猫の性格もしっかりかかれてありますねぇ。。 |
| ひぃ<br>1/30 16:9 | 最後の１行のふわっとした着地感がやらかい余韻を残してくれます。<br>それより前の、私がキジに何々をしてあげるという背伸びしたような表現との対比がきれいに決まってるというように感じました。 |
| paco<br>1/30 16:45 | 玄関から廊下への風景が、些細な描写や記述から伝わってきます。<br><br>私は動物を飼ったことがないですが、猫との柔らかな関係性が目に浮かぶようです。<br><br>最後の一文に持っていかれました。 |
| わがし<br>1/30 19:38 | 猫はねえ、かわいいですよねえ。<br><br>もう一度猫飼いたい・・・。 |
| 茜<br>1/30 20:53 | ずるい。<br>猫なんて出されたら勝てないじゃないですかー。かわいいじゃないかこのやろー。<br><br>「金曜日」という場面がうまく生きているかな、と思います。お父さんは飲みに行ってるんでしょうか。<br>惜しむらくは最後の一行。<br>「金曜日だけは」ということですが、どういう対比でこれが出てくるのかがいまいち分からなかったのです。今までの話の流れからも、唐突に出てきたような気がして。<br>もっと別のまとめにするか、これを使うなら、うまくここにまとまるような複線を張る（普段はお母さんが話し相手で、金曜だけキジ、とか）と、すんなり入ってきたんじゃないかな、と思います。 |
| イッパイアッテナ<br>1/30 21:29 | ねこー、ねこー<br><br>かわいすぎるぜ、この野郎!?<br><br>ねこという生き物を本当に、うまく、そしてかわいく描写できています。<br>キジのかわいさもさることながら、作者さんの物書きとしての技量もなかなかのもの。<br><br>で、でも、ねこのかわいさに比べたら、まだまだ精進あるのみ!? |
| あお<br>1/31 14:38 | 猫ってこういうやり方で愛情を獲得するんですね。犬とかと違って素直じゃないとこが愛おしい。微笑ましいお話です。 |
| ノエ<br>1/31 17:45 | うちの猫は代々同じ名前で、ある著名な作家の作品に出てくる猫の名前なんです。。<br>キジってなまえキジ柄からきてるんだぁ〜。。 |
| レロニラ<br>1/31 19:35 | いいですね。キジの面倒を見ている優位なハズの私がいつの間にかキジに面倒を見てもらってる。本当に微笑ましい関係で可愛いストーリーです。<br>一つ難癖を付けるとしたら、この話ならタイトルは日本語にした方が良かったのでは？（洋でなく和、新より古、という感じがしました） |
| わがし<br>1/31 22:21 | ＞レロニラさん、<br>＞タイトル<br>「金曜日だけよ」なんてどうでしょう。だめか。 |

| | |
|---|---|
| バートルビー<br>2/1 16:36 | 自分勝手なんだけど「でも猫だしなー」ということで許され愛情を獲得するのが猫ですよね。<br><br>＞ノエさん<br>ノラかクルツですか？ |
| 茜<br>2/1 17:1 | ＞ノエさん<br>ホームズ、だったりして。（それくらいしか知らない人） |
| イッパイアッテナ<br>2/2 2:21 | ＞ある著名な作家の作品に出てくる猫の名前（ノエさん）<br>名前なんてつけてないってことですね!? |
| 橘<br>2/2 23:20 | 朝日新聞の４コマ漫画「ののちゃん」の「ポチ」を思い出しました。<br>頭がよくて、完全に家の人のことを自分より下だと思っている。<br>ムカつくんですけど、憎めないんです(^ ^*)<br><br>文の構成も上手いですよね(・・*)<br>「玄関の前⇒曜日の説明→玄関の前に戻る」という風になってて、<br>「曜日の説明→玄関の前」だと、また違ってきちゃうんですよね。<br><br>まぁ、キジは住人の事情なんてお構いなしでしょうが(笑) |
| Azalea<br>2/4 19:2 | 主人公は何歳くらいなのかなあと思いました。<br>＞１週間に一度、金曜だけは、キジが私の面倒を見てくれる。<br>っていうところから小学生で、本当はさみしい。みたいな<br>そういう書き方もできそうだし<br>大学生、サラリーマン、ＯＬあたりで<br>さみしさが紛らわされるのは猫のおかげみたいな・・・<br>（でも、これだと共働きとは言い難いか？）<br><br>「金」は金曜日よりも<br>＞猫のくせに現金な奴である。<br>のほうに目が行ってしまってしまいました。<br>愛情があふれている一文のような気がしますので・・・。<br><br>P.S.<br>とりあえず、キジありがとう。<br>荒んだ心がちょっと洗われました(笑) |
| ノエ<br>2/5 12:31 | 皆さん、残念はずれ〜！！<br>『ノラ」でも『クルツ』でも、『ホームズ』でもありません。。<br>国内の作品ですよ。<br>誰でも名前は知っているようなひとの作品ですが、作品自体は有名じゃないです。。 |
| がらがらどん<br>2/5 18:49 | 飼い猫とまるで兄弟のような関係ができているんですね。<br>猫のアニキはそうでもないのかな。なんだかホッとする作品です。 |
| はつね<br>2/8 17:28 | タイトルですがカーペンターズの「Only Yesterday」のもじりかな？と思いました。違うかも。<br><br>猫といって思い浮かぶのは・・・「ピート」とか「シャミセン」とか・・・いや、違うなぁ。ここはあえて「名前はまだ無い」とかw |
| 316L見習<br>2/9 22:53 | 猫！それだけでテンションが上がります！！<br>私は重度の親バカならぬ飼い主バカなので、実家に帰る理由の一つ（というより主な理由）が猫に会うためと言って憚りません！<br>うちの場合も母野良猫が連れてきた野良子猫四匹を慣らしました。今では人間以外の家族は一人だけになってしまいましたが、彼、彼女達との思い出はそれこそお金で買えるものではないです。思い入れが強すぎてもう二度と猫は飼えないですね。<br><br>お題の使い方が弱いかな？とも思いますが、猫とのやり取りの描き方のうまさでそれ以上のプラスだと思います。<br>ちなみに私の現在の実家内カーストは最下層です。春には絶対に帰省して、膝の上で寝ていただかなくては…。 |
| いそしぎ<br>2/10 1:46 | 猫さん、たまらないですね。<br>外出を強制されている姿に、くらっときました。 |

| | |
|---|---|
| でもどり<br>2/10 20:44 | 描写がリアル！<br>金曜日の夕方、ドアの前で待つキジ、作者さんの足音。<br>日常の息遣いが聞こえてくる気がします。<br><br>＞そしてキジは愛情の残りかすを、余り者の私に注いでくれる。<br>猫ゆえの気まぐれさが、こういった表現にも現れてる気がします。 |
| tkm<br>2/11 4:26 | 生物としての猫の性格がうまく描かれていて想像しやすく、また読みやすい文章でした。<br>「金」曜日でお題をクリアしてたんですね。ノエさんのコメント読むまで気づかなかった。 |
| unknown<br>2/11 5:14 | 各段落の情景が楽にイメージ出来て、とても読み易く感じました。<br>また、オチがとても秀逸だと思いました。<br>「私」がキジに唯一勝利できる瞬間、それさえもキジからすれば「私」につき合ってやっているだけなのでしょうね。<br>おそらく「私」もそれを分かっているけど、キジが好きだからそこはキジ「様」に思いっきり甘えてしまう。<br>そんなキジと「私」の上下関係が、「金曜だけは、キジが私の面倒を見てくれる」という一文でうまく表現されていると思います。 |
| ゼットン<br>2/11 21:52 | とても和み系で、とてもほのぼのしました。<br><br>キジのかわいさに完敗してる感じがよくわかります。 |

ＴＯＰへ

# 故郷からの小包

総合順位：2位
合計ポイント：29 Point
作者：ノエ
作者コメントを読む

秋の訪れは、いつも郵便受けに入っている。実家からの小包の不在通知には、“ 米 “ とかかれてはないが、時期的に実家で穫（と）れた新米が送られてきたことがすぐに分かる。

実家は、ローカル線の無人駅からバスで数十分も掛かる山間の典型的な里山の集落にあり、数町歩と云うわずかな田んぼだが、家族が食べるのには十分な米が穫れるのだ。

大学進学のために家を出てから、外食が多くなったが、今日は、母親が送ってくれた新米を有り難く頂く。新米を炊くときは、爪の半分くらい水を少なめにするのだと母から子供のときに教わったが、一人暮らし用の小さな炊飯器のせいなのか、母親のようにうまく炊くことができない。

ふた月も先だと云うのに、誕生日にと、１枚の便箋に包まれた折り目のないお札が一枚入っている。さっと、お札を包んでいた便箋に目を通して、丁寧に包みなおし、引き出しの中に放り込んだ。

なんとなく使うことができずに、秋を迎えるたびに一枚増え、もう６枚目を数える。もういい加減、親から誕生日祝いに金をもらうのは気がひけるが、来年は断る理由ができるので、今年が最後だろう。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| kunipi<br>1/28 16:34 | 実話でしょうか？あったかいですね。<br><br>松任谷由実『ダンデライオン』という曲の<br>「ふるさとの両親がよこす手紙のような<br>ぎこちないぬくもりほど泣きたくなる」<br>というフレーズを思い出しました。 |
| わがし<br>1/29 10:29 | ああっ、もらっておいてあげたら！？来年も・・・。<br>お母さん、送るの楽しみなんだよ・・・。<br>もらうかわりにさ、何かお誕生日プレゼントを贈ってあげなよ。<br>どうかなー？ |

| | |
|---|---|
| contax139<br>1/30 12:44 | 私はお金は使ってしまいますが、誕生日の度に母がくれたカードや便せんは大切にとっておいてます。<br><br>母は、手紙では、お誕生日おめでとうではなくて、自分が母親として成長したこと、私が育ってくれたことへのありがとうといつも気持ちを伝えます。<br><br>最初はなんだかな～と<br><br>きっと、就職して、一人暮らしを始めるよきにお守りのように持って実家を出るのだろうなと思います。<br><br>そして、将来は、私も母のように自分の子供にありがとうを言える人になりたいです。 |
| シマエナガ<br>1/31 13:23 | 　短いですが、お母さんや実家の家族に対する思いが素直に書かれていて、好感を持って読ませていただきました。ご就職決定と言うことでしょうか？<br>　文章もきちんとしていると思いますが、読点（、）を若干多く打ち過ぎているような気もします（個人の趣味の問題かも知れませんが）。 |
| Bloomoon<br>1/31 17:51 | こういう回想ものって、ついつい長く書きたくなっちゃうんですが、一画面におさまっていて、すごい！！<br><br>うんうん、私も、お年玉が入ってた袋とか、捨てられませんw<br>そうやって、うちの机はものが溢れていくのですが、これは自分のせいか（爆） |
| やむ<br>2/1 2:31 | 私は最近一人暮らしを始めて、親からの仕送りのありがたみを実感しています。残念ながら銀行振り込みですがw<br>いいですね、便箋にお札 |
| ピチョット<br>2/1 11:38 | 短いにもかかわらずとても気持ちの伝わる文章だと思います。<br>そっけないけど母を思う気持ちがそれとなく伝わります。<br>～新米を有り難く頂く～とか～母から子供のときに教わった～とか～丁寧に包みなおし～などやさしい作者さんを想像させます。 |
| あゆむ<br>2/3 9:14 | わたしはいつも無洗米です。とぐのめんどくさいのですよ。<br><br>断る理由は、来年はとうとうお嫁に行くことになりました、かもしれない。 |
| ノエ<br>2/3 20:52 | あゆむさんの場合、お婿ざましょ？？？ |
| スマイリー<br>2/3 20:59 | 素敵な作品です。仕送りをする親の側としては、こんな風に受け取ってくれると嬉しいですね。 |
| pooh<br>2/4 22:24 | 短いですが、すごく温かい雰囲気を伝わりました。<br><br>幸せそう！ |
| がらがらどん<br>2/5 19:0 | 私の弟が一人暮らしをしていますが、母はいつも弟の懐を気にしていて、仕送りが足りないのではないかといつも心配しています。<br>あげすぎなんじゃないの？自分も一人暮らししようかな。と嫉妬するくらいです。<br>この心境、自分も親になったらわかるのかな・・・ |
| ほろほろ<br>2/6 10:31 | いいですねー！<br>新米を炊くときのコツがとっても丁寧に書かれているので、<br>その後の、お札の話が自然な物語として編みこまれます。<br>うまいっす！ |
| 輝<br>2/6 18:8 | 感情を抑えるかのような淡々とした語り口なのに<br>そこはかとなく情感が漂い、余韻もしっかりある・・・巧いなあ。 |
| 茜<br>2/6 19:34 | 鍋で炊けっていう誰かの声が聞こえてきそうです。おいしいらしいですよ？試したことないですが。（過去に母が壊れた炊飯器のお釜をそのままコンロに乗っけて炊いてたことはあります）<br><br>短いながら、必要最低限のエピソードがちゃんと入っていて、文章の長さ以上の物語を感じることができました。<br><br>気になったのは、来年は断る理由……社会人になったから、というのなら、もう大学生なんだから、って断ってそうなものですが。<br>よし。あゆむさんの説に一票いれちゃおう。 |
| まち<br>2/7 23:23 | ＞さっと、お札を包んでいた便箋に目を通して、<br>うん。私もそういう風にしか接することができずに、送ってきてくれた封筒に入れなおしてからファイルに仕舞っておいています。 |

| | |
|---|---|
| るらら<br>2/9 21:8 | お札を見てあったかい気持ちになるのは、こんなときだけかもしれないですね。 |
| インギリー<br>2/9 22:1 | 鍋でお米を炊くのは簡単ですよ～<br>洗ったお米と同僚の水を鍋に入れ、強めの中火にして沸騰したら弱火で15分。そして火を消したら10分蒸らして出来上がり。<br>底の厚いものが美味しく炊けます。<br>五目御飯も同じようにできます。 |
| 316L見習<br>2/9 22:32 | 共感します。私の場合はお米は同じで、お金をこうして送ってくれたのは祖父でした。<br>やはり使えず、貯金も出来ず、そのまましまってありますが…。<br>もうすぐ祖父の一周忌です。<br><br>しかしお米の話をすると、祖父や父に教えてもらいながら、小学生のころコンバインやトラクターに乗っていたのを思い出しますね（田んぼの中だけです、もちろん）。<br>東京もいいですが、田舎もいいですよね。 |
| イッパイアッテナ<br>2/9 22:50 | うちは、おばあちゃんが定期的にお菓子とかを送ってくれます。<br><br>その中には、東京で売っていない「イカ天」(イカのてんぷらじゃないよ、イカ天だよ。)や、「(カゴメの)とんかつソース」などが入っていて、いつも家族全員でうれしく食べてます。<br><br>今年の夏は、サークルも終わりひと段落ついたから一度実家に帰るかなぁ。<br><br>ほのぼのとする作品、心があったまりました。<br><br>＞６枚目<br>たぶん、それからも増えていくんだと思います。<br>で、実家に仕送りしてあげたら、それもなんだかんだで積立されていて、タンスの奥でほこり被っているのを見つけて....ぐすっぐすっ、いいお母さんだ。 |
| King　Power<br>2/10 14:26 | なんか、いいですね。<br>一人暮らしすると、家族のありがたさが身にしみることが多いです。 |
| Julio<br>2/10 18:49 | 小包や炊飯の話は、私にも同じ経験があるので非常に共感出来ました。ちなみに私の場合、小包の中身はいつも高校生の頃に好きだったものばかり入っていて、母親の中では実家を離れた頃から時間が止まってしまっているのだろうと思っています。母親からすれば、いつまで経っても子供には変わりないのですし、貰えるうちは貰った方がお母さんも喜ぶのではないかな。 |
| Eisen<br>2/11 1:42 | 読点「、」が多すぎるためでしょう、読んでいてつまづいてしまう箇所がしばしばありました。読み進むテンポって（文章が短ければ特に）大切なものだと思います。少し気にしてあげると、もっとよい文章になる筈。 |
| mu<br>2/11 2:30 | 新米おいしいんだろうな。<br>東京育ちの私は、こういう故郷ものにとてつもなく憧れを感じます。<br>うらやましい！ |
| unknown<br>2/11 5:45 | 短くてサクッと読める上に、読んだ後にとても暖かい気持ちになれるすばらしいコラムだと思います。<br>私は自宅生なんですが父方・母方の実家とも農家で、定期的にお米や野菜が送られてきます。<br>母がいつも「ありがたい」と言っていますが、一人暮らしならばありがたさもひとしおでしょうね。<br><br>私もまだ親にお金をもらっている身分です。誕生祝いではなくお年玉ですが。<br>こういうお金は、そろそろもらう立場からあげる立場になったりもする頃ですよね。<br>ちなみに私は2年ほど前から「妹にあげる」立場でもあるのですが、<br>最後の一文を読んで、来年こそはもらうのを断って、完全にあげる側にならないとと思いました。 |
| レロニラ<br>2/11 12:44 | 回想もので情感を残しつつここまでシンプルにしているのが凄い！<br>単調な語調なのに思いが伝わってくる良い文章でした。 |
| ゼットン<br>2/11 21:57 | どんだけ良い人間なんだ～！？<br><br>お金をもらったら、すぐ使ってしまう私からすると、とても尊敬してしまいます。 |
| ノエ<br>2/11 23:1 | 作者として、、、コメント見て恥ずかしいですねぇ。。<br>というのも、実際はもらったら知らないうちに使っちゃってますので。。 |

| | |
|---|---|
| ノエ<br>2/11 23:4 | おまけですが、、、もともとの長編を断片的にご紹介。。<br><br>＝＝＝＝長編の一部のご紹介＝＝＝＝<br>アパートの窓辺に腰掛け、西日色に染まる丘の下の町並みを見ていたら、ふと故郷の縁側から見える田畑を思い出した。数日後の休日、普段よりも早く起き、電車とバスを乗り継ぎ実家に向かった。<br><br>母は僕の顔に驚くでもなく出迎えてくれた。そっけない出迎えとは裏腹に食卓には、懐かしい家庭料理がならんだ。<br>・<br>・<br>鳥の声でいつもより早く目が覚めた僕は、雨戸を開け、外の空気を胸いっぱいに吸う。冷たい空気で気が引き締まる感じがした。<br>・<br>・<br>少し前まで黄金色の稲がたわわに実った田んぼは、霜柱で・・・<br>・<br>・<br>あぜ道を少し歩き小さな祠（ほこら）を曲がると眼下にいくつか小さな屋根が見えた。<br>・<br>・<br>足をすすめるとサクサクと落ち葉が・・・<br>・<br>・<br>足を止めるとにわかに木々がざわめきだす。今、私は秋に包まれているのだ。 |
| ノエ<br>2/12 0:14 | ↑やっぱり、徒然なるままに書く文章はにがてですわぁ～。。なはは。 |
| あゆむ<br>2/12 0:48 | ぎゃーす、ノエさんにだまされた。<br>女性作者が実際にあったことを書いてるという設定を、まったく疑っていなかった。<br><br>ほんとはノエさんお嫁に行く？ |
| ノエ<br>2/15 12:38 | もらっていただけるなら、いつでも・・。 |

ＴＯＰへ

# 久しぶりに届いた贈り物

総合順位：3位
合計ポイント：24 Point
作者：Julio
作者コメントを読む

サンタクロースは悪い子にもプレゼントを持って来てくれる。そして、サンタクロースという夢が与える幸せと共に親の愛情を改めて知るのである。

高校生の頃、反抗期から親と会話もせず、極力顔をあわせないようにしていた時期がある。そんなことが数カ月ほど続いたころ、クリスマスがやってきた。高校に上がってからは、枕元にプレゼントは届かなくなっていたので、いつしかクリスマスは特別な日ではなくなっていた。

そしてクリスマスの朝、僕は隣の部屋のまだ幼い妹がプレゼントに大喜びしている声で目を覚まし、僕にとってはいつもと変わらない朝を迎える。ただ、いつもの朝と違って、その日だけは枕元に封筒が一通置いてあった。

封筒には、現金と明らかに母親の字で書かれた手紙が入っていた。
「おいおい、久しぶりに来たサンタからのプレゼントが現金かよ。また、夢のないことを・・・」

手紙にはこうあった。
"〇〇君、久しぶりだね。いい子にしてたかな。
久しぶりにプレゼントを届けようと思ったのだけど、サンタさんは、今の君に何をプレゼントすれば喜んでもらえるのか分からなくなってしまったよ。だから、申し訳ないけど現金を置いておくことにしたんだ。これで、君が一番欲しいものを買ってくれたまえ。
サンタクロースより"

「・・・・・」

果たして、どんな気持ちでこのプレゼントを用意したのだろう。突然、口も聞かなくなった我が子に対して、何が一番喜んでもらえるか必死に考えてくれたに違いない。コミュニケーションも取れず、どうしたら良いのか分からなかった両親が一生懸命に考えてくれた上でのプレゼントだったのだろう。そう思ったとき、些細なことで反抗していた親に堪らなく申し訳ない気持ちになった。

その日、僕は数カ月ぶりに両親と朝食を取った。妹はサンタからのプレゼントを笑みいっぱいに報告している。母親がとぼけながら僕にも話を振ってきたから、僕は現金が置いてあったとそっけなく答えた。素直になれない自分と葛藤しつつ、僕はようやく数カ月ぶりの会話を交わした。

久しぶりにサンタから届いたプレゼントはお金という夢の無いものだったが、僕にとって最も思い出に残るサンタからのプレゼントになった。そして、その時のお金と手紙は使わずに今も大切に仕舞ってある。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| ピチョット<br>1/28 11:0 | 母親の気持ちでよみました。きっとやさしい「僕」だと思いました。親が子供をいとおしく思う気持ちが読み取れました。反抗しても母親にとっては自分のおなかからうまれた子供なんですから・・・。このお金は「僕」の心をとかしたきっかけになって役割を十分はたしたし、手紙と一緒に使わずに大事にしてあるところが親を大事に思う気持ちとなって残っていくのでしょうね。 |
| わがし<br>1/29 10:32 | いい話だのぅ・・・。<br>反抗期ってそんなに喋らなくなっちゃうの？？<br>お母さんも大変だし、子供も大変。<br>私は喋らないというより、喧嘩ばっかりだったかなあ。<br>大人になると忘れるもんだ。 |
| ノエ<br>1/29 21:27 | ちょっと笑ってしまいました。。<br>微妙な親心ですね。。<br><br>でも、サンタは１年掛けて「いい子リスト」を作って、いい子にしかプレゼントをあげないんですよ。。<br>アメリカでは、そのようなシステムになっていると友人から聞きました。。 |
| ロココ<br>1/30 15:54 | 親の愛情って、ふとしたときにものすごく感じますよね。とってもいい話です。目頭が熱くなりました。 |
| paco<br>1/30 16:41 | 私は物心ついた時には既に、<br>親に直接クリスマスプレゼントをねだっていたので、<br><br>「夜の間にサンタさんが枕元にプレゼントを置いてった！」<br>という友達の無邪気な話が、少し羨ましかったことを思い出します。<br><br>多くの年月が経った今、この話をもう一度両親に話してみてはいかがでしょうか。<br><br>恐らく、その時の両親の苦悩も理解することができて、<br>心に響くものがあると思います。<br><br>これからはあなたが、サンタになっていく時代なのですから。 |
| あお<br>1/31 14:31 | 子供との距離のとり方というか、気持ちの伝え方が上手なお母さんだな、と思いました。おしつけがましくならない気の使い方って難しいですよね。素敵なお母さんです。 |
| 輝<br>2/1 17:49 | 文章にややつたない印象を受けたのですが、逆に真心（息子の不器用な愛情？）を感じました。<br>これがすべてフィクションだったらショックだなあ・・・ |
| 桜子<br>2/2 15:16 | 時として、手紙は口から出た言葉より強い力を持っていることがあると感じます。文字しかない限定された情報によって、さまざまな想像が膨らむからでしょうか。お金とその物語の関わりに暖かいものを感じました。お母さん素敵ですね。 |

| | |
|---|---|
| イシルドゥア<br>2/5 19:23 | ピチョットさんも言っておられますが、やっぱり僕がすごく人の気持ちを考えられる優しい人だなあと思いました。<br>お母さんのきっかけの作り方も確かに上手いと思ったけど、本当にひねくれちゃってるような僕なら結局臨時ボーナスゲット程度にしか考えないでこんなに効果なかったと思うんですよね。<br>お母さん、本当にいい子に育てましたね。<br><br>僕はあんまり反抗期と言えるような時期がなかった（と思う）のですが、反抗期がない分こういった印象的な歩み寄り方もないわけで、ある意味反抗期を経験した人の方が親子仲いいのかもしれないとちょっぴり思いました。（と言いつつ、親子仲はいい方だと自負している人） |
| mu<br>2/5 23:24 | 今まで私の使ってきたお金はほとんど親の愛情だ、としみじみ考えてしまいました。<br>いいお話です。 |
| 茜<br>2/7 15:0 | お金の重さって、あるんですよね。<br>よくも悪くも、それは重いんです。その重さを、しっかり受け止めることができるって、大事なことだと思います。<br><br>お金のせいで破綻する関係は良く言われますが、お金が結びなおした関係というものをあつかったのがうまいと思います。気持ちのいい読後感でした。 |
| イッパイアッテナ<br>2/9 23:27 | いい話だぁ(感涙<br><br>しかし、作者は根性ある反抗期だったんだなぁ。<br>数か月も口をきいたことがないとか。<br><br>.....うち、そんなことしたら三日目くらいで食事が席からなくなるだろうから、根負けしていたと思う。 |
| ３匹ヤギの<br>2/10 10:49 | てか高校生の時もサンタにもらってたんですね。ぼのぼの。 |
| Azalea<br>2/10 16:45 | お金に気持ちを込めることはできますっていう<br>どこかのＣＭを思い出してしまいました。<br>描き方がうまいですね。引き込まれました。<br><br>・・・で、ですね。<br>我が家はいつしかクリスマスプレゼントが現金になっていたので<br>現金が夢のないものという印象があまりないのです。<br>うちってほんとうにだめだめなんだなあと再認識しました |
| でもどり<br>2/10 20:57 | 反抗期の子を持った親は大変なのでしょうね。<br>放置する親も多い中、お母さんのなんとか振り向いてもらおうとする気持ち、それに応える子供。あたたかいですね。<br><br>＞サンタクロースという夢が与える幸せと共に親の愛情を改めて知るのである。<br><br>この表現、ストレートで好きです。<br><br>けれど、そんなあたたかい気持ちに冷や水をかけるような読み方もできそうな気がします。<br>失礼になってしまいますが。<br>それは、物（金）で解決しようとする親子の関係。ということ。<br>それが打ち解けあうきっかけとなったとしても、<br>こう考えると、逆に少しさびしい感じがします。<br>このあたりが、現代（いま）風なんでしょうか？ |
| Begonian<br>2/10 23:14 | こういう話って<br>「そのお金を親のために使った(プレゼントとか)」<br>か<br>「今も大切に仕舞ってある」<br>の二択なんですよね。<br>いい話だってのはそうなんですが、いかんせんネタが先に読めてしまうから感動が薄い…… |
| Eisen<br>2/11 0:38 | 泣きそうになってしまいました。遠くない昔のわが身を振り返ると、他人事には思えなくて……。<br>ぶっきらぼうな青春男子を経験した人間にとって、共感してやまない淡々としたニヒルな文章。いかにもウチの親が書きそうな、サンタからの手紙。秀逸です。<br>しかも、最後の一文が止めを刺してくれました。結局、「お金」は使っていないんですね……。受け取ったのは「気持ち」の方。もひとつ、秀逸です。<br>総じて非常な高評価。 |

| | |
|---|---|
| 鳥<br>2/11 1:51 | いいなぁこの話。<br>「お金」っていうある意味で現実的、即物的なものであるにもかかわらず、<br>お金の背後にある「あったかいもの」がありありと見える素敵な話ですよね。<br><br>翻って我が家ですが、いわゆる「反抗期」というお年頃には、<br>家庭は車と家のローンで経済的に手一杯、<br>私は、目が￥記号になるほど金に執着する人間に成長していたのでw、<br>もしこの話のように「サンタさんから現金」なんて事があったら、<br>ありがたく銀行口座に入れてPHS代の支払いに充ててたことでしょうw |
| クリリン<br>2/11 2:58 | サンタのふりして手紙書いておいてとぼけるなんて素敵な母親ですね。<br>こんな母親に反抗してはいけませんね。 |
| レロニラ<br>2/11 12:49 | お母さんの気持ちが切なすぎて泣きそうです。不器用ながらもその後会話できるようになったのでしょうか。<br>弁当の代わりに昼飯代をくれるように頼んだ時も母親は寂しかったろうな～ |
| ゼットン<br>2/11 22:2 | ぼくも親からのプレゼントでお金をもらった時が一番思い出に残ってます。<br><br>もらった時に、いろいろ考えさせられるから。<br><br>よい経験ですね。 |

ＴＯＰへ

# 金色の王子

合計ポイント：18 Point
作者：Bloomoon
作者コメントを読む

これは、「しあわせの王子」の像が、
ツバメと出会う、ずっとずっと前のお話です。

王子は、まだ建てられたばかりでしたので、
目の前に広がる街のあちこちを眺めては、興味津々。
ぜひとも、遊びに行きたいと思うようになりました。

そんなある夜、
大きな白い羽を持つ天使が目の前に現れ、
うつくしい声で、こう言いました。

「明日から５日間、昼の間だけ、あなたを人間にしましょう。
　街の人びとと同じように、遊んだり食べたりできます」

王子は大喜びで、なんどもなんどもお礼を言いました。

次の日、日の出とともに、金色の体がずずっと動き、
王子は地面に飛び降りました。
そして、勢いよく、街にかけていきました。

その日、王子は南に行きました。
そこには大きなお屋敷が建っていて、
着飾った人たちが、山のようなごちそうを食べていました。

ちょうどお屋敷から、でっぷり太った赤ら顔の男が出てきたので、
王子はその人に声をかけました。

「もしもし。僕も仲間に入れてくれませんか」

とたんに、男は怒り出しました。

「お前、何様のつもりだ！うぃ～。
　山盛りの金貨を持って来いっつーんだ、バカヤロー、ひっく」

王子は、びっくりして逃げ出しました。

次の日、王子は西に行きました。
そこには大きな市場があって、
色とりどりの果物や洋服が売り買いされていました。

王子が品物を見て歩いていると、
若い男が声をかけてきました。
王子は、昨日、男に怒鳴られた話をしました。

「そりゃあ気の毒だったな。
　でもな、お屋敷でもそうだけど、ここでも金が必要なんだぜ。
　兄ちゃんの体、相当高く売れるぞ。
　どうだい？俺と金儲けしないか？」

そう言って男がつかみかかってきたので、
王子は、命からがら逃げ出しました。

３日目、王子は東に行きました。
そこには大きな広場があって、
子どもたちが楽しそうに遊んでいました。

王子は、近づいて声をかけようとしました。
とたんに、女の子が叫んだのです。

「変な人がいるー！！」

すると、声を聞きつけた大人たちが、手に棒を持ってやってきました。
子どもたちも石を投げつけます。
王子は、命からがら逃げ出しました。

４日目、王子は北に行きました。
王子は南向きに建てられていたので、
よく見たことがありませんでした。

そこは、日当たりが悪く、狭く汚い家がぎっしり並んでいました。
王子がこれまでとは違う光景に立ちすくんでいると、
ぼろぼろの服をまとった小さな男の子が、話しかけてきたのです。

「お兄ちゃん、金ピカだね。どこから来たの？
　何か食べ物持ってない？
　僕、もう３日も食べてないんだ」

王子はおどろきましたが、どうすることもできません。
がっくり肩を落として、土ぼこりの舞う道を帰りました。

その夜、王子が台に戻って街を見わたすと、
今日会った男の子のように貧しい暮らしをしている人たちが、
街のあちこちにいることが分かりました。

「どうして、もっと早く気付かなかったんだろう……」

王子は、サファイアのひとみから、ぽろぽろ涙をこぼしました。

人間になれる最後の日、王子はもう一度北に行き、
昨日会った男の子を訪ね、
かかとの金箔をはがして渡しました。

「これで、おいしいご飯を食べなさい」

男の子は、目を輝かせて何度も何度もお礼を言いました。

それから毎晩、王子は涙を流すようになりました。
一晩中考えて、金箔をくばることを思いついたのに、
男の子にしか渡せなかったのです。

「どうか、僕の体を貧しい人たちに役立ててください……」

その祈りは、街の人たちには、届きませんでした。

それから長い年月がたって、
一羽のツバメが、王子の足元にとまりました。

「おや、この像、かかとだけ金箔がはがれてる」

そうしてツバメは、王子の涙に気付くのです。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| parakeet<br>1/29 11:49 | この話は面白いですねー。<br>それで貧しい人たちを助けようと思ったわけですか。 |
| ノエ<br>1/29 12:35 | 着眼点はいいと思いました。<br>でも、東西南北の１つ１つのエピソードが何を主眼にしているかが見えませんでした。<br>北のエピソードをひきたたせるために、３つのエピソードを有効に使えているともっとよかったと思います。 |
| 琥珀<br>1/29 16:24 | サファイヤの瞳を持ち、ルビーを嵌め込んだ剣を携えた金箔の美少年が街に現れたら、それだけでみな興奮しそう・・・王子は無事に台の上に帰れるだろうか・・・<br>・・・野次馬は心配しました。<br><br>ノエさん同様、東西南のエピソードを工夫なさると、より輝く作品になると思います。<br><br>ちなみに、「しあわせの王子」をネタにしたパロディ系は結構あるようです。かつて臓器移植絡みで書こうとした人もいるようで・・・ |
| paco<br>1/30 17:4 | よく練られています。<br><br>ただ、天使がどういう経緯で、<br>王子を5日間だけ人間にしようと思ったのか、<br>というあたりの説明が具体的に知りたいと思いました。 |

| | |
|---|---|
| あお<br>1/31 13:55 | 面白かったです。特に最後の「そうしてツバメは・・・」という接続の部分がとてもいいと思いました。<br>それにしてもこの物語もこれに続く物語も悲しいですね。せめて最初の何日間かは王子が楽しく過ごせれば良かったのですが。。 |
| unknown<br>2/3 2:3 | 元の作品の雰囲気を壊しておらず、良いオマージュになっていると思います。<br>ただ私もノエさん、琥珀さんと同じように、東西南北のエピソードがもっと絡み合うとより良いと思います。<br>あおさんの「最初の何日間かは王子が楽しく過ごせれば良かった」というのも、1つの方向性としてありですね。 |
| イッパイアッテナ<br>2/3 19:48 | しあわせの王子の話を思い出せなかったので、読みなおして部屋で感動している大学生が一人.....<br>べっ、べつに涙なんか零れていないんだからね(ぐすん<br><br>この話を読んだ後、しあわせの王子を読むとうまくつながっているなぁって思えました。<br>ナイス二次創作。<br><br>たしかに、東西南の体験はもっと練りたいなぁって思うのですが、一方でこれはうまく練られているんじゃないかなぁっと思える節もあるんですね。<br><br>というのは、東西南って、ある種の幸せの象徴だと思うんです。南はいわゆる酒池肉林的な ” 豪華 ” な幸せ。西は市場が象徴する ” 日常 ” という幸せ。東は、まぁべたに子供たちの住む ” 平和 ” な幸せ。<br><br>豪華に生きるには金が必要だし、日常に生きるにも金が必要<br>平和に生きる人間は排他的で.....うーん、やっぱりうまくまとまらないなぁ。<br><br>ただ、しあわせを願う象徴である王子が、しあわせの側からはけして受け入れてもらえないっていう話の流れは、非常に面白いと思うんだけれど。(結局、しあわせは願われるだけの一方向の存在という...)<br><br>しかし、天使さんもひどい人だ。<br>五日間人間にする→体を人々のために使ってもらいたいと願う→絶対に溶けないもっとも美しいもの(心臓)になる。→それを拾って神様に捧げる。→神様に褒められる<br><br>僕がもう少し汚れた人間だったら、見事な捧げ物の製作ですねっと、皮肉を言っていたに違いない。 |
| イシルドゥア<br>2/5 20:14 | 　人間にしましょう。へぇ、じゃあ、人間に紛れて汚いところを見てしまったから泣くのかぁ・・・ただそのまま動くだけかい！とか。<br>　人間が排他的っていうのは結構よくある話しだし、天使も知らないはずなかろうに・・・それで金色のままなのに、他の人と同じように遊べますって、イッパイアッテナさんのフローチャートを追うまでもなく、前提から詐欺じゃん、酷いと思ってしまいました（苦笑<br><br>　四方向っていうので、四門出遊をちょっと思い出しましたけど、関係ないですね。エピソード自体は練ってあると思いましたけど、方向との関連があんまり見えなくて、南→西→東→北って順番に何か意味があるのかな？とか考え込んでいしまいました。結局、関係ないのならぐるっと一周とかの順番の方がさっぱりしていいのにとか。 |
| 輝<br>2/7 17:21 | 途中、現代版パロディらしき展開が見えたので、どうなるのかなーと思ったら、ワイルド原作と同様、哀しいお話にまじめに着地してゆくのですね・・・若干の違和感も覚えつつ、この切ない感じも捨てがたく。<br><br>コメント群の充実ぶりも楽しんでおります！<br>さらに良い作品にするには？という建設的な議論に、作者の意図やことばの象徴するものを考えて・・・など、なんだか文芸部みたいになってきましたねえ。<br>やや分析・理論的なとこに、理系の匂いを感じたりもしつつ・・・ますます作品の世界が広がってきたようで楽しいです。 |

| | |
|---|---|
| Azalea<br>2/8 0:22 | そうつながるのかー。<br>たしかに、踵の金はいくらツバメでもはがせませんね。<br><br>私も東西南の話は、もう少し磨くことができるとは思いますが<br>これでも十分な気もしています。<br>それぞれに汚い面を見せることに成功していますから。<br><br>ここは字数制限が厳しいですから、細かく書くべきところに<br>文字を集中させることは別に悪くないんじゃないかなと。<br>軽く触れている中でもきれいにまとめられていて<br>きれいな二次創作だと思いました。 |
| Begonian<br>2/8 23:33 | なるほど、面白い。<br>童話らしい、よくまとまった美談です。<br><br>その綺麗さのあまり、逆に反感を覚えてしまうというのが本音ですがね。 |
| kunipi<br>2/9 19:27 | オスカー・ワイルド原作『しあわせのおうじ』を<br>ようやく図書館で借りて読みました。<br>絵本って図書館の分類（０～９）になってなくて<br>探すのに一苦労。<br><br>さて、本作品『金色の王子』は、王子が涙を<br>流すきっかけになったことが書かれているのですね。<br><br>5日間しか人間のように動くことができず<br>4日目にして、まずしい人がたくさんいることに気づく。<br>5日目に同じ場所にいってかかとの金を渡しても<br>翌日はもう動けない。<br><br>「４」日間をうまく「東西南北」に分けていますし<br>また、5日目の王子の行動は、『しあわせのおうじ』の<br>イントロへつながっていくわけですね。<br><br>新しい作品に出会うきっかけを与えて下った<br>作者さんに感謝。 |
| Asagi<br>2/10 2:47 | こういうのって、お忍びで出歩けるようにするものでは・・・・？<br>だから金色のままで歩いているのはちょっとどうかなー、と思ったりしました。<br><br>それと個人的には、人間になれるのは4日間にしたほうがよかったのでは？ と思います。<br>最後の日の夕方に、男の子にかかとの金箔をはがして渡してあげるほうが、<br>東西南北と対応してすっきりしていいような気がしたので。<br><br>何はともあれ、面白いお話でした。 |
| ３匹ヤギの<br>2/10 10:29 | オマージュにもこういったアプローチがあるのかと感心しました！ |
| レロニラ<br>2/11 12:59 | しあわせの王子は読んだ事が無かったので今ネット軽く読みました。<br>ストーリーもつながるし雰囲気も合っているしで非常にうまく創られたオマージュだと思います。<br>童話だし原作も謎めいた部分は沢山あるので、東西南北のエピソードの絡みとか天使が来る理由とかは、私は全く気になりませんでした。 |
| ゼットン<br>2/11 22:11 | 『しあわせのおうじ』を知らなかったので、つながりとかわからず残念です。<br><br>すぐに読んでみます。 |

| | |
|---|---|
| イッパイアッテナ<br>2/13 12:48 | 東西南北は醜い側面だったんですか。<br><br>(幸せの象徴なんて逆の読みしてしまってすいません。)<br><br><br>しかし、西　大阪→商業は読めないですねぇ。あと、暖かいから裕福って…(まぁ、寒い＝貧しいとの対比になっていて確かにいいかなぁとは思いました。というよりも、西　大阪じゃなくて、東　東京ですから。元大阪在住者としては。)<br><br>"天使はいらない"、船長ナイスな指摘です。<br>作者さん的にも天使はいらなかったみたいですし、言われてみると天使は本当に蛇足でしたねぇ。<br><br>半年間ご苦労様でした。 |
| あゆむ<br>2/17 0:56 | 今日はBloomoonさんって女性だったんだぁでした。<br>Bloomoonさんは夢見る少年だと思ってました。<br>今見直してみると、初回がアキさんかわいいな作品だったかもしれない。<br>この作品にはコメントしてなかったですね。<br>たぶん貧しい人たちを救うにはお金だけじゃ足りなくて、愛も必要なんだと思います。生きるのに精一杯だと温かいって何かわすれてしまったりすると思うのです。 |

ＴＯＰへ

# お金がほしいの。

合計ポイント：15 Point
作者：parakeet
作者コメントを読む

「お金がほしいの。」
と彼女は突然言った。

「何だって？」
「お金がほしいの。」
彼女は繰り返す。

「ヒモになれってこと？」
「ううん。それ、逆でしょ？」
「そうだっけ…。で、なんでお金がほしいの？」
「交通費がねぇ、すごくかかって困ってるの。片道740円もするのよ。」
「そっか…。僕は定期があるからいいけど、大変だよね…。」

僕と彼女は東京工業専門学校の一年生。
彼女は学校の近くで一人暮らしだったが、僕は遠く千葉県から通っていた。
彼女とは付き合って一ヶ月くらいになるが、こんなことを言われたのは初めてだった。
今までは学校のある渋谷の辺りで遊ぶことが多かったが、
今回は彼女がうちの地元で遊びたいと言ってきたのだ。
自分から言い出したくせに…。
と少し思いながら、そんなことはおくびにも出さず僕は答えた。

「じゃぁ、交通費は全部僕が出してあげるよ！」
「誰もあなたに出してほしいなんて言ってないわよ。」
「バイトしなきゃなぁって思って言ったの。」
「なぁんだ。出してあげようと思ったのに。」
と少しホッとする僕。

「私が、交通費出してあげる！なんて言われて、もらうようなキャラだと思った？」
「いや、そういうわけではないけど…。」
「こういうときはね、何も言わないでこそっとsuicaにチャージしてくれるのがいいのよ。」
「そんなの無理…いや…はい…すみません。」

対抗することは許されない。
本気で怒ったりしたら何をされるか分かったもんじゃない。
この前も少し口答えしたことで、ヒステリーを起こした彼女に頬を引き裂かれたところだ。
ここはおとなしく引き下がるのが大人な対応というもんだ。

しかし…。

「あれ？やっぱり僕が交通費出すの？」
「そんなの決まってるじゃない。」
「さっきバイトが…いや…えと…気のせいです。」

女という生き物はかくもわがままなものだろうか。
suicaにチャージということは、デートのとき以外でも使うつもりに違いない。
こんな要求をこれから毎回されたらたまったもんじゃない。
今日という今日は、ガツンと言ってやる。
僕は決意した。

「あのさ、ちょっと話があるんだけど…。」
「なぁに？」
「もう君なんか…あの…えと…大好きです。」
「ありがとう。私もよ。」

こうして、今日も平穏な一日が過ぎていくのであった。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| わがし<br>1/29 9:49 | 面白い。でも、会う度スイカにチャージするんですか？<br>そのあたりを聞きたい。 |
| RIRI<br>1/29 17:23 | >> 私が、交通費出してあげる！なんて言われて、もらうようなキャラだと思った？<br><br>で、良いキャラだと思ったらそんなことは無かった。<br>あと、このネタでスイカのCM作れそうですね。 |
| わがし<br>1/30 19:21 | ＞RIRIさん<br>CM化を考えましょうかね・・・。どこであのペンギンを出すかな・・・。 |
| ノエ<br>1/30 23:33 | 女性って「わがまま」というよりも、「正解はいつも１つ」と考える生き物なんだと思うことがある。<br><br>問題「お金がほしいの。」<br>答え「こそっとsuicaにチャージ」<br>当てるの絶対無理～！！<br><br>正解率、ほとんどゼロだと思うけど、日夜世の男性はこの難問に挑んでるんだよねぇ。。 |
| あお<br>1/31 14:18 | 彼女より「僕」のキャラがベタでいいですね。<br>彼女はこの要求をするために「僕」の地元で遊ぼうって言ったんでしょうか。。 |
| Bloomoon<br>1/31 18:29 | 以前、学校そばに住んでた彼氏さんに、今や絶滅寸前のパスネット（1000円分）を貢ぎ続けた記憶があります（遠い目）<br><br>彼女さんのセリフを太字にする必要なかったのでは。<br>女の子言葉ちゃんと使ってるし、見分けがつくような気がします |

| | |
|---|---|
| kunipi<br>1/31 21:21 | 往復で１４８０円は、中途半端。<br>Ｓｕｉｃａにチャージできないし。<br>となると、１回につき２０００円。<br>１０００円じゃ彼女キレそうだし。。<br><br>そのうちにエスカレートしてくる予感。<br><br>がんばってください。 |
| 桜子<br>2/2 15:7 | お金がほしいと言える彼女の素直さがちょっといいなと思いました。人にお金をほしいなんて言えるのは、せいぜい親くらいのものです。でも、実際スイカにチャージしてもらったことあります。。。 |
| vista<br>2/2 16:4 | お金は大事ですよね。 |
| 茜<br>2/4 0:46 | ・・・・・「僕」って弱っ？！<br>まあ、正直こーいう付き合い方はあたしには理解できないのですが、それは個人の嗜好なのでほっといて。<br><br>スイカが１０００円単位でしかチャージできないことが前提になって、kunipiさんのような読みも出来るあたりがうまいですよね。<br><br>ただ、彼女の言葉を太字にしたことで、何か裏がありそうに読めました。そのせいで、裏を読もうとして読んでいたので、ＲＩＲＩさんのように「良いキャラだと思う」ということもないまま。<br>普通の文字のままの方が、疑いなく読んで、「スイカにチャージ」で驚けたかも。<br>「お金がほしいの。」とか「スイカにチャージ」だけ太字にすると、効果的かもです。 |
| 紫雲<br>2/4 17:35 | 彼女の発言の太字になっているところは「言葉のエネルギーが高い」ところっぽいですね。<br>変な表現ですけども。<br><br>あとせっかくなのでチャージのついでに乗車履歴を印刷するといいと思います。 |
| レロニラ<br>2/6 17:46 | SUICAにチャージしろって現金で渡すより生活的でドライですねー<br>たまには平穏ぶっ壊して彼女を更生させてあげて下さい。 |
| ひぃ<br>2/7 22:46 | 太字はなんとなく「彼女」の傲慢さというか図太さというものが表わされているようでいいんじゃないかな。<br><br>＞履歴を印刷<br>証拠物件を突き付けたところでこの「彼女」の場合、プライバシーの侵害と切り捨てられそうですけどね。 |
| 鞦韆<br>2/8 12:58 | 「ヒモになれってこと？」<br>の唐突さと、その直後の冷静なツッコミが好きです。 |
| イッパイアッテナ<br>2/9 11:53 | 一行目の「お金がほしいの」<br><br>太字にしてあって、どきりとしました。<br><br>でも、そのあともずっとセリフが太かったので、彼女は単に図太い(もしくは声が野太い)だけなのかとわかり、なんかがっかりしました。<br><br>やはり、太字を使い続けるのは、見辛いと思うのです。<br><br>＞こういうときはね、何も言わないでこそっとsuicaにチャージしてくれるのがいいのよ。<br><br>えっと、彼女にばれないように、財布の中にあるsuicaをこっそりとちょっぱって、ばれないように駅まで行って、ばれないようにコンビニで夕食を買って来いということですか？<br>(違 |
| 316L見習<br>2/9 19:19 | いいテンポで読後感がなんともさわやかな文章だと思います。二人のキャラがとてもいいですね。相性ぴったりだと思います。表現では、太字がインパクトあってうまいなあと思いました。<br>私には年上の彼女（社会人で自家暮らし）がいる友人（学生で一人暮らし）がいますが、<br>やっぱり交通費を出してるそうです。さらには家に食事を作りに来てくれるそうですが、やはり材料費は…。<br>そんな話をするときの彼は本当に大変そうで、でも本当に幸せそうです。 |

| | |
|---|---|
| みつきんぐ<br>2/9 23:40 | 確かに、彼女のセリフを太字にしなくても良かった気がします。<br>内容的には面白いと思いました。<br><br>そっとチャージしたら、「勝手に触らないでよ！」とか言われたり…しないか。 |
| Azalea<br>2/10 16:36 | この不思議な雰囲気・・・。<br>きっと尻に敷かれながらも生きていくんだろうな。<br>爆発したときの彼女のかわし方に期待。<br><br>しかし、この答えはないよなあと思ってみたり。 |
| Julio<br>2/10 18:50 | 非常に面白かったです。一筋縄ではいかない彼女の描き方がとても良くて、文章から二人のやり取りが目に浮かぶようです。彼女のことだから、すぐにまた渋谷の辺りで遊ぶことになりそうですね。 |
| けっちゃん<br>2/10 19:45 | 某グラドルが頭から離れない・・・<br><br>なんで彼女の台詞が全部太文字なんでしょうね。<br>単なる親切心かな？ |
| pooh<br>2/10 21:4 | 対話形式で非常に面白いと思いますが、ちょっと微妙に理解できない部分も。。。 |
| でもどり<br>2/10 21:19 | 日常コメディ路線というか、そんな空気を持つ作品、好きです。<br><br>＞「ヒモになれってこと？」<br>＞「ううん。それ、逆でしょ？」<br>このボケとツッコミで、この二人のやりとりの続きを<br>追っていくのが楽しくなりました。<br><br>こんな彼女と付き合っていくのは、大変ですね。<br>愛情の裏返しならまだ良いのだけど、素だったらなぁ・・・。 |
| Begonian<br>2/10 22:58 | 惚れた。 |
| daikonsalada<br>2/10 23:22 | とても面白いですね！ |
| 貧保 耐三<br>2/11 1:48 | 私も交通費貰う派です。でもスイカなんていうハイカラなものはないので現金ですが… |
| わがし<br>2/11 16:2 | ＞作者さん<br><br>あたしマニュアル、つくってあげましょか？<br>彼女の傾向をおしえてくださいね。<br>対策をおしえてあげましょう。 |
| ゼットン<br>2/11 22:15 | 付き合って一ヶ月でこんな調子じゃ、先が思いやられるねぇ。<br><br>ガンバって！ |
| parakeet<br>2/12 16:45 | 作者です。<br><br>＞わがしさん<br>わがしさんにマニュアルを作ってもらうと<br>恐ろしいことになりそうなのでいいです（笑）<br><br>＞ゼットンさん<br>まったくです。<br>先が思いやられますね…。<br>頑張りますよー。 |

ＴＯＰへ

# 成り金

合計ポイント：14 Point
作者：ken
作者コメントを読む

　僕の名前は「歩」という。正式には歩兵だけど、みんな、略して歩と呼ぶ、「あゆみ」ではなく、単に「ふ」と発音する。そっけないけどしょうがない。

　僕は将棋の世界に住んでいる。いつもは箱の中で眠っているんだけど、いざ決戦となるひたすら戦うことになる。だから人間で言う食職業軍人だ。駒とも呼ばれている。

　人間の世界は、「人類は皆平等」とか言っても、実際は貧富や社会的地位の差がある。建前と本音が違う矛盾した社会だ。しかし、将棋の世界はそんなことはなく、階級社会で最初から序列がついている。これはもって生まれたものだからしょうがない。

　将棋の世界で一番えらいの王将さんだ。王将さんは玉将（ぎょくしょう）さんと二種類あるけど、戦いで王将さんが倒れたらそれでおしまい。だから、ほかの駒は自分を犠牲にして王将さんを守る。駒の中で将軍みたいなのが飛車さんと角さんだ。角さんは正式には角行というけど、みんな略して角と呼ぶ。きっと、水戸黄門の影響だろう。次に中隊長クラスで金将さんと銀将さんがいる。単に金銀とも呼ばれている。そして我々の兄貴分に桂馬さんや香車さんだ。桂馬さんは特別な飛び方をするし、香車さんはひたすらまっすぐにしか進まない。両方ともとても個性が強い。

　そして、僕たち歩だ。僕の仲間は数が多く、また、戦いの時には一歩一歩前へ進むだけ。だから、最も位が低い。昔の歌で「吹けば飛ぶような将棋の駒」というフレーズがあったけど。きっと体も小さい僕たちのことだ。

　しかし、こんな僕たち歩だけど、時々とてつもない出世をすることがある。それは僕たちが敵陣に入ったときや敵陣の中で前へ進んだときに、金将さんと同じ位になれるということ。これは銀将さん、桂馬さん、香車さんも同じ。しかし、僕たちは人間の軍隊で言うと二等兵だし、金将さんは中佐みたいだから、７階級ぐらい特進しちゃう。これを成り金という。

　人間の世界でも成り金はいるらしい。今まで貧乏だった人が急にお金持ちになって、豪邸を建てたり、外車に乗ったり、急に贅沢をして威張ったりすることを言うみたいだ。それには教養や品格がついてこないものだから、どこか見栄張りで、いわゆる成金趣味と呼ばれて、良い言葉では無いと聞いている。

　同じ成り金でも、僕たちは謙虚だ。戦いの最中に敵に取られたり、戦いが終われば、また歩に逆戻りする。働きが金将さんと同じだけど、先に犠牲になるのは僕たちのほうが多い。
　僕たちは成り金になることを大いに名誉だと思っている。しかし、時間が来ればまた歩にもどるからそれにこだわっているわけではない。歩でいることに満足でありプライドもある。

　ところで、一度将棋の神様に、「どうして、僕たちはどんなに頑張っても金将さんと同じで、時間がたてば

歩に逆戻りするのか」と聞いたことがある。
「世の中には金や地位よりも大切なものがあり、それは形ではない」というのが神様の答えだった・

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| ピチョット<br>1/28 10:38 | 将棋のことがわからない私ですが、楽しくよめました。<br>最後の神様のことばの金（カネ）と歩さんの質問の金（キン）とかみあっていないところがややごり押し感があり気になりました。歩でいることにまんぞくしているのなら最後の段はいっそ<br>それぞれの役割の重要性を強調しても・・・。 |
| みつきんぐ<br>1/29 16:36 | タイトルを見た時点では、人間の成り金かと思っていたのですが、将棋の話だったんですね。<br>楽しく読ませていただきました！<br>頑張れ！「歩」！！ |
| レロニラ<br>1/30 4:39 | 実は歩って大事なんですよね。歩のない将棋は負け将棋って言うぐらいですから。我々人間の世界でも一番数の多くて平凡な歩が一番大事なんじゃないでしょうか。 |
| わがし<br>1/30 19:22 | 成り金の意味を、初めてちゃんと理解しました・・・。<br>ためになった・・・。 |
| ノエ<br>1/30 22:49 | 最後の神様の前あたりまでは、すごくよかったと思ったのですが、最後がちょっと無理があるように感じました。。<br><br>そういえば、故郷の福岡には「成金饅頭」という和菓子があります。<br>炭鉱節で有名な三池炭鉱などがあった筑豊地方は、炭鉱で稼いだ人が多く、当時高価なあんこたっぷり使った饅頭なんです。<br><br>ちなみに、関東の人が「東京土産」と勘違いしてることが多い、「ひよこ」も実は福岡の和菓子なんですよぉ～。。 |
| やむ<br>1/31 2:43 | 最後がおしい、と思いました。「世の中には・・」のフレーズが唐突に聞こえてしまって。かといってうまいオチも思いつかないのですが。 |
| シマエナガ<br>1/31 13:9 | 金を将棋の駒から語るというのは意表をついた趣向で、楽しく読むことができました。なるほど、と思わせる、なかなか説得力のある文章だと思います。<br>　確かに最後のパラグラフにはやや違和感を感じました。神様の答えはこうしたやや説教臭いものではなく、必要な時にパワーアップできること（要するに‘変身’ですね）を評価するようなものの方が据わりが良かったような気がしました。 |
| Bloomoon<br>1/31 17:35 | 「と金は金将より強し」<br>すなわち、相手に取られても金のままでいる金将より、<br>取られると元に戻る「と金（歩が成った駒）」の方を積極的に使えと読んだことがあります。<br><br>そこまで極端ではないですが、私たちも、あっちの組織に、こっちの組織にと翻弄されて……<br>その中で持つ「自分自身」というのが、神様のおっしゃる「大切なもの」なのかなと思いました。 |
| 輝<br>2/1 17:59 | おお将棋！ユニークな着眼ですねえ。<br>ところどころ気になる日本語がありましたが、歩のけなげさに泣けます。<br>頑張れ！歩！！（byみつきんぐさん）　　思わず声援してしまうぞ。 |
| vista<br>2/2 16:1 | 着眼点が面白いと思いました！ |

| | |
|---|---|
| かちかち<br>2/3 12:17 | 最後の１行に作者の人生観を感じました。日本の将棋の駒は、チェスや中国将棋と違って、敵に取られると、今度は敵方の王様のために頑張ります。つまり、西洋や中国と違って、兵隊は「使い捨て」ではないのです。日本の将棋の世界のように、人を大事にする日本社会であってほしいと思っています。頑張れ、作者。 |
| スマイリー<br>2/3 20:34 | とても楽しい作品でした。私も昔は「歩」は「金」や「銀」より格下だと思っていました。それは駒の物理的な大きさからも感じることでした。しかし、社会に出て時間がたつと、「歩」と「金」、「銀」との違いは役割の違いだと言うことがよくわかりました。大きい物が小さい物より価値があるわけではありません。アメリカの10セントは５セントより小さいですものね・・・。 |
| イッパイアッテナ<br>2/3 20:57 | 「歩」が大好きなイッパイアッテナです。歩がない将棋は駄目将棋です。<br><br>見事に、歩の立場になりきっているなぁ、と感心しました。<br>しかし、この歩君は素直ないい子です。冷静に自分の役割とかを把握し背のびもせず、かといって、別に卑下することもなく歩としての誇りを持っていて、非常にいい人間だと思います。こういう人に僕はなりたい!?<br><br>最後の神様の一言は、確かに蛇足かなぁっと思います。でも、ここの受け答えをひねったら、ますますこの作品は光ると思うので、一概に切り捨てることはできないと思うんです。<br><br>.....うーーん、なんかいい手が思い浮かばないかなぁ。 |
| 紫雲<br>2/4 17:25 | 最後の神様の発言は「金や地位なんて酸っぱいブドウである」という意味でしょうか。<br><br>手に入らないものなら「あんなもの意味がないんだ」、と負け惜しみを言ってろという風に取れました。 |
| Azalea<br>2/4 21:42 | 最後が蛇足という皆さんの意見に大賛成ですが<br>でも、それだと着地点が見つかりません・・・。<br><br>最後の一言に作者さんが持っていきたいと思っていらっしゃるなら<br>これでも、ひとつだとは思うのですが、<br>そこまでの将棋の話が丁寧で、そして面白く<br>見事に歩兵の立場からの視点で描かれているので<br>それが逆に枷になってしまい、うまく最後に持って行けないというジレンマがあるようで。<br><br>どうしても読後感というのは、終わらせ方で決まってしまう部分が大きいと思うので<br>この点を補強していただければ、と皆様と同じ意見です。 |
| イシルドゥア<br>2/6 22:21 | 　なんで角行は角さんって略してもらえてるのに、金将と銀将はそのままなんだろう？とかどうでもいいところで引っかかりました。折角角さんが水戸黄門とか言っているんだから、金さんは１００歳１００歳、銀さんも１００歳１００歳、くらい言って欲しかった！（何<br><br>　そういえば、飛車は略して呼ばれないよなぁ・・・一音で短いから？　でも、それなら歩だって・・・。 |
| Asagi<br>2/6 23:52 | 　この短い文章で誤字がいくつもあるのはちょっと…と思ってしまいました。<br><br>　「人間の世界でも～」ってきた瞬間に（あー、お説教になるのかな）って思ってしまった感は否めません。それまでの部分が十分面白かったので、将棋の駒の話だけで完結させてよかったように思います。<br><br>　なにはともあれ、「歩」の気持ちにこだわっているこの作品はすごく面白かったです。「歩」のプライドとか人生観を語らせてみたのもいいですよね。<br>　それぞれの駒の動き方を性格になぞらえてみたり、あるいは取られた駒の扱いとか「王将」「玉将」の違いを取り上げてみたりと、将棋の駒ならではの描写や、「歩」の気持ちにさらにこだわってみると、もっともっと面白さが出てくると思います。 |
| Eisen<br>2/11 1:13 | 単純に将棋を紹介している文章が冗長で、将棋を少しでも知っている人にはそれが退屈に感じられてしまいます。そこはシンプルに削っていって、「神様の言葉」のような内容をもっと膨らめても良かったでしょう。 |

| | |
|---|---|
| す氏<br>2/11 3:40 | 歩の口を通し、将棋をあまり知らない人にも分かりやすい説明がされていて、面白く読ませて頂きました。<br><br>将棋の社会と現実の社会を対比させてストーリーを構成しているので(特に歩が成るという点に焦点があるので)、歩の役割・地位が単純化されているのは、まあ止むを得ないかなとは思いました。<br><br>作者さんはご存知だと思いますが、将棋を良く知らない人向けに書くと、持将棋（互いの王様が相手陣に入った状態だと、盤上にある駒を点数に換算して勝負をつける場合が多い）の時は、飛車角以外は皆同じ１点にしかならないし、序盤にたった一枚の歩を取られただけで形成が決まってしまうこともあるので、一概に歩が歩のままでも一番地位が低いということはないというのが現実です。それにと金(成り金)での攻めに謙虚さを感じる人もいないでしょう。<br><br>まあ、そんな複雑な実際の勝負の話などこの作品の良さには不用ですね。将棋と人間の成り金をかけて上手く話がまとまっていると思いました。 |
| lemontit<br>2/11 9:19 | ＞「世の中には金や地位よりも大切なものがあり、それは形ではない」というのが神様の答えだった・<br><br>そうそうそうって感じです。<br>金よりも大切なものは形ではない友情とか親情とかだといわれますが、形で現れるそういう大切なものはないでしょうかねぇ？ |
| イッパイアッテナ<br>2/14 6:15 | 人生訓は嫌いじゃないんですよ。<br><br>ただ、読後感が悪いなぁっていうのを感じました。<br>歩の質問に対して、やや見当はずれな回答。(歩が逆戻りするのに対する直接的な返答じゃないですよね。)<br>それに対して、歩のリアクションも、神様のフォローも、作者さんからの解説もないまま終わってしまう。(しかも最後は、意味心に傍点一つ・。←普通は三点リーダ×２……)<br><br>人生訓を無理やり作品に押し込んだという雰囲気が強いのです。<br>今までの作品の流れが非常にスムーズだったために、そこだけ浮き出る形になって、せっかくの人生訓が"異物"のように見えてしまい、作品としても人生訓としても完成度の低いものに全体として見えてしまうというわけです。<br>(それゆえ、人生訓の入れ方次第ではもっと面白くなるんだろうなぁっと僕はコメントしたわけで...)<br><br>僕個人としては人生訓は嫌いじゃないですよ。<br><br>半年間お疲れ様です。 |

ＴＯＰへ

# 江戸隠密スナイパー

合計ポイント：14 Point
作者：ハイパー・ワイハー
作者コメントを読む

「うぅむ。こうなったら、奴らを呼ぶしかないな。　おい、あのスナイパーを呼べ！」

「殿、もしや…あのスナイパーでしょうか…？」

「そうじゃ！報酬次第でどんな依頼も完璧に遂行するという、隠密スナイパーを呼べ！」

『殿、私をお呼びかな？』

「なんだ！誰じゃ！！！」

チュインッ！！！

「うをっ！　なんじゃ！何奴かが狙撃してきおったぞ！」

「失礼、私が隠密スナイパーさいとうたかをだ。」

「おぉ、お主が！さっそく依頼じゃ、ニセ鑑定人を始末してくれ！」

「了解。では、スイス銀行への振り込みが確認でき次第、仕事に取り掛かる。」

「おぅ！　頼んだぞ！」

・・・・・・・・・
・・・・・

「ふぅ、これで一安心じゃ。」

「殿ー！　大変です！！！」

「なんだ、何事じゃ？」

「足りません！　スナイパーに支払う報酬が、足りないんです！」

「なんじゃ、ヤツはそんな高い報酬を要求しているのか！？」

「いえ、スナイパーの要求は２５ドルです。」

「２５ドルというと、２５００円ぐらいではないか。」

「しかし殿、五人衆に支払った報酬があまりに高すぎたのです。　現在、我が城にあるキャッシュは１９５円

しかありません！」

「うぅむ。こうなったら、アレを出すしかないな。　おい、アレを出せ！」

「殿、もしや…アレでしょうか…？」

「そうじゃ！ワシが２０年間に渡って貯め続けた、あの隠し財産を出せ！」

「かしこまりました！今持ってきます！　場所は、殿の寝室の本棚の裏にある封筒の中ですよね！」

「うむ、いかにも！　ってか、なぜおまえが知っておるのじゃ？　まぁよい、早く持ってまいれ！」

「ははっ！」

・・・・・・・・・
・・・・・

「殿、持ってまいりました！」

「遅いぞ！あれから５年経っておるぞ！」

「申し訳ございません。ですが殿、まだ足りません！　殿の隠し財産２０００円を合わせても、まだ足りません！」

「なにーっ！　よし、こうなったら、あれしかないな…」

「殿、あれと申しますと…？」

「ギャンブルじゃ！ギャンブルに決まっておろう！　違法ギャンブルをやるのじゃ！今すぐ賭場に向かうぞ！」

「ははぁ。」

・・・・・・・・・
・・・・・

「どうじゃ、ワシの変装は完璧じゃろう！」

「殿、完璧です！　お顔を白く塗られて、口紅も小さくつけられ、しかし殿自慢の”まげ”は残されている。すばらしいです！」

「よし、ではこの完璧な姿で賭場へｇｏじゃ！」

・・・・・・・・・
・・・・・

「いやー、負けた負けた！すっからかんじゃ！　身ぐるみはがされたとは、まさにこのことじゃな！」

「殿、前を手でお隠し下さい。ぶらぶらしております。」

「おぉ、すまんすまん。しかし、やはりギャンブルなどはやるものではないな。もう絶対やらんぞ！」

「ですが殿、たとえギャンブルをやろうにも、もうお金が一銭もありません。」

「なにー！」

「殿が負けを取り戻そうとするあまり、城の物を全て抵当に入れてしまったのです。」

「うぅむ。こうなったら、奴らを呼ぶしかないな。　おい、あの破産管財人を呼べ！」

「殿、もしや…あの破産管財人でしょうか…？」

「そうじゃ！どんな自己破産も完璧に処理するという、隠密破産管財人を呼べ！」

完

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| わがし<br>1/29 10:12 | 面白い。続き物だったんだ！もっと読みたい。特別編つくってー。 |
| みつきんぐ<br>1/29 18:0 | まさか、続くとは思っていませんでした…！<br>終わりへの持って行き方がうまいです。<br><br>次はぜひ「想」で特別編を！！ |
| ノエ<br>1/29 22:33 | あのぉ～、もう内容以前に、続き物ってところで、すでに楽しんじゃってます。。<br><br>でも、この作品、「・・さん」じゃなくってほかの人だったら面白いんだけど。。 |
| レロニラ<br>1/29 22:57 | 隠密シリーズ、やっぱり鉄板ですね。<br>毎回同じような空気とネタだけど飽きのこない感じがニクいです。 |
| コーサク<br>1/30 4:19 | シリーズ物だったとは知りませんでした。<br>スピード感のある読みやすい文章なので、私は好きです。 |
| アボガド<br>1/30 15:19 | 面白いです。テンポがいいですね。 |
| ひぃ<br>1/30 16:30 | 殿のやりとりがずっと同じで、リピートして落ちてくって雰囲気はいいのかもしれないけど、連作状態になってるせいか少しマンネリな感も…。<br>個人的には第一弾のほうがもっとインパクトがあったなぁって思いました。 |
| イッパイアッテナ<br>2/1 17:52 | マンネリとか、そういうの以前に、今回の作品は単作として眺めていても、普通に力不足だったと思います。<br><br>べちゃべちゃな天丼。弱くて切れのない落ち。この作品の魅力の一つであるキャラクター同士の掛け合いも、ぐだぐだ館にあふれてテンポが悪い。<br><br>正直、連作で柳の下のドジョウを探さずに、新しい路線を探した方がよかったのでは、と思います。<br><br>＞追記<br>でも、なんかコメントみるかぎり受けているみたいですね（汗<br>.....うーーん、自分の感性のほうがずれているみたい（涙 |
| kunipi<br>2/4 21:8 | と、殿～。おいたがすぎますぞ。<br><br>まあ、ベタといえばベタですが<br>でも安心して読めました。<br><br>次回作は、姫が出てくるやつを期待♪ |

| | |
|---|---|
| Azalea<br>2/4 21:35 | 前作からついていけませんでした。ごめんなさい。<br>だらだら垂れ流されたという印象で<br>連作でこれはちょっとないかなあと思ってしまいました。<br><br>＞アッテナさん<br>コメントでは、圧倒的多数が支持している模様ですが<br>はたして、ついていけなかった人がコメントをするかというと<br>そういう人は少数に落ち着きそうですので、<br>投票結果を見ないとわからないと思います。<br>（ビューカウントとかがあると、<br>　コメント率みたいなもので盛り上がりがわかるかもしれないなあと思いました） |
| ノエ<br>2/5 12:17 | 連作としての楽しみはありましたが、<br>個別の作品としては、かなり手を抜いているなって印象です。<br>作品としてちゃんと仕上げると云う作業をしっかりしないと、<br>いきなり次回の放映が最終回ということになりかねませんよお～。 |
| 鞦韆<br>2/8 13:11 | まあ、いいんじゃないですか？<br>きっと、自分の一度築いたスタイルを貫きたかったんですよね、この場では。<br><br>そのスタンスは否定しません。<br>しかし、作品自体は、ネタ作品として見ると、残念ながらもはや面白いとは思えません。 |
| Begonian<br>2/9 22:10 | 続編ってのは、前作を凌駕して初めて同じスタートラインに立ったことになるんですよ。<br>続き物って結構惰性で読んでても、冷静になると別に面白くなくて、ふとしたきっかけから<br>ピタッとやめちゃうんですよね。<br>やっぱり連載をヒットさせてる作家さん達はすごいです。 |
| ３匹ヤギの<br>2/10 10:32 | 続かせるという発想に脱帽です。 |
| けっちゃん<br>2/10 20:21 | 前回のコメントはフリじゃなかったのに・・・<br>でも完結してよかったです。 |
| King　Power<br>2/11 0:36 | なんか、中学生が書いているみたいな、くだらなさが、嫌いではないです。 |
| Eisen<br>2/11 1:10 | なんというか……読者の期待にこたえようと涙目な、作者さんが思い浮かばされます。 |
| 貧保 耐三<br>2/11 1:37 | なにー！<br><br>殿、やっちまったな～<br><br>（クールポコ） |
| あゆむ<br>2/14 23:53 | ウォーリーを探せばばりにハイパーさんを探してみた人。ハイパー・ワイパーだと思ってた。<br><br>隠密っぽくこっそり見に行ったのでいつ見たのかわからないと思います。ここ何日かの間に足跡踏んだ変な人のなかのどれかです。 |

ＴＯＰへ

# 使用目的：天下布武

合計ポイント：14 Point
作者：kirie
作者コメントを読む

「ねー、藤吉郎君」
とある消費者金融の窓口で対応していた寧々は、一枚の書類を持って奥でデスクワークに勤しむ藤吉郎に声を掛けた。

「ん？何？寧々さん」
のんびりと顔を上げ、藤吉郎は彼女に応えた。

「天下布武って言葉、どういう意味か分かる？」
えらく唐突な疑問だなあと思いつつ、藤吉郎は頭を回転させる。

「武家の政権を以て天下を支配するって意味だけど、まあ一般的には天下統一のことかな」
「へえ、そうなんだー」
寧々は感心した様子で、持っている書類をヒラヒラさせた。

「どうしたの？普段あまり聞かない言葉だけど」
いぶかしげに藤吉郎は尋ねた。

「融資の申込みの人が来てるんだけど――、使用目的に天下布武って書いてあるの」

ガタンドガッ！

そんな音を立てながら、藤吉郎はイスから転げ落ちた。

「ご融資の限度額は２０万円になります」
引きつった笑顔を浮かべながら、藤吉郎は目の前の男にそう言った。
男の名は織田信長。鋭く整った顔立ちの男性である。

「あん？２０万で天下布武しろってのか？」
絶対やくざだよこの人。
藤吉郎はそう思いながら、だらだら汗をかいてそれでも笑った。

「ええと、使用目的はあくまで参考にさせて頂く程度でして・・・」
「なら何でこんな項目があんだよ」
上から睨み降ろす形で信長は言った。ただでさえ小柄な藤吉郎はひどい圧迫感を受ける。

「ですから、それはあくまで参考でして・・・」
「てめーらは金貸すのが仕事だろ。俺が天下を取った暁には倍にして返すぞ」
天下統一を始めるにあたって、まず消費者金融に頼らなければならないのなら期待するだけ無駄だと思うが。

「当方といたしましては、できればそのような博打は打ちたくないというか・・・その・・・」
「打て、社運を賭けた大博打を。この俺がやるんだから大当たり間違いなしだ」
何の根拠も無く力強く言い切る男、織田信長。

「あのですね、何でそんなことを言い切れるんですか？」
「自分に自身を持っているからだ」
「・・・根拠は無いんですね」
「俺に有る」

その言葉を聞いて、ちょこっと切れた藤吉郎は大きく溜息をつき、ついで大きく息を吸って言った。

「いいですか？織田様。天下布武と仰いますが、具体的にどのような方法で天下を狙うおつもりなんですか」
「む」
どうもそういう質問が来るとは思っていなかったらしい。信長は言葉に詰まった。

「経済で獲るのか政治で獲るのか、はたまた軍事テロでも起こすおつもりなのかさっぱりわかりません。そのような未来のビジョンが見えない計画に社運を賭けることは出来かねます！！」
力強く言い切った藤吉郎は、話はこれで終わりだと立ち上がった。

しかし

「よし。てめーの言うことにも一理ある。そうと決まれば計画を練るぞ！応接室はあるな。お前、付き合え！！」
立ち上がった藤吉郎の襟首を掴んで引き寄せると、そのまま肩に担ぎ、信長は奥へと歩を進める。

「なっ、何で私がー！？」
「てめーが言ったんだろ！未来のビジョンを持てって！！」
ニタリと笑って信長が言う。

「一人でやって下さい！私にはまだ仕事がーーっ！！」
藤吉郎の大声に他の社員が何事かと集まってくるが、そんなことを気にする信長ではなかった。

「気にすんな。そんな瑣末な仕事より大きな夢を持て！織田信長天下統一への布石になることを許す！！」
「歴史ドラマの見すぎです！つーかそんなんいやーっ！！」
「じゃ、捨石」
「もっといやーーっ！！」
「いいからとっととこっち来い！」
「うわーーん！！！」
泣き叫ぶ藤吉郎の声を掻き消すように、ドアはバタンと閉められた。

そしてなかなか開かなかった。

後、本当に天下統一してしまった信長の傍らには常に参謀として、小柄な男が付き従っていたとかいないと

か。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| parakeet<br>1/29 13:39 | じゃ、捨石w<br>寧々さんは「ねね」ですか？<br>漢字は知らなかった…。<br>天下布猿ですね。 |
| ノエ<br>1/29 23:13 | う～ん、設定は面白いのですが・・・・<br>もう一ひねり。。 |
| ken<br>1/31 14:14 | ごめんなさい、内容がつかみづらかったです。 |
| Bloomoon<br>1/31 18:0 | 「歴史ドラマの見すぎです」ってw<br>信長様は、他の武将など参考にされるようなお方ではないような気がしますが、そこはツッこむとこじゃないですかねw |
| やむ<br>2/1 2:18 | 素直に面白く読ませていただきました。<br>コントの脚本のようですね。キャラクターの設定とキャラ同士のやりとりのどたばた感が伝わってきてよかったです。<br>オチにもう少しほしかった気はしますが。 |
| イッパイアッテナ<br>2/1 18:33 | 爆笑が止まらない!?<br><br>テンポがいい、しかも初心者にもわかりやすい歴史ネタが好感度大!?（下手に、寧々と藤吉郎の仲を詳しく書かないのも話に無駄を作らない点でgood）<br><br>キャラクターの立て方もうまいです。<br><br>藤吉郎は、基本的にどこにでもいそうな気の弱い商社マンだけど、キレてからの応対の仕方が、もう本職のできる男って感じがしていい感じ。「経済か政治家、軍事テロか」ってくだりがもう、ほんとできる男って感じがしていいですよね。でも、そんなにできる男でもやっぱり信長に振り回されるところがいい!?<br>信長様は、もう完全に信長様ですよね。この唯我独尊っぷりがたまらない。しかし、この信長様、ノリノリである。というか、うつけ者全開である。具体的なプランがなくて、うっとなってしまうところが、またかわいさアピールで…しかも、素直に認めてプランを藤吉郎と練ろうとする素直さと利発さがある感じがまた信長様っぽくていいですねぇ。<br><br>……まぁ、楽しいのは見ている分ですよね。実際にこんなひとがいたら、僕はまわれ右して社外周りに行ってきます。 |
| 茜<br>2/4 1:38 | うっわ天下統一しちゃうの？！<br><br>てっきりただの勘違い男かと思ったら・・・・・しちゃうんだ。統一。できちゃったんだ。うわあ。<br>最後の落ちにびっくりです。<br>たぶん、「なかなか開かなかった」ってあたりで、最後は干からびた籐吉郎君とか出てきて終わるんだろうと予測してしまったせいだと思います。<br>この一文はなくても良かったかな、と思います。これがあると、「しばらくしたら開いたんだろうな」って言う展開を考えてしまうので、扉が閉まってその次はもういきなり天下統一の場面、位にぶっ飛んでしまって良かったんじゃないでしょうか。<br><br>楽しかったです。テンポのよさにのせられました。でも読み返してからのほうが楽しかったので、もしかしたらkenさんの言うようにちょっと内容の掴みづらい文章になってしまっていたのかもしれません。今となってはすっと入ってきているのですが。 |

| | |
|---|---|
| イッパイアッテナ<br>2/4 11:3 | ＞「なかなか開かなかった」(茜嬢)<br>これは、嫌嫌だった藤吉郎が、しばらくして乗り気になって、仕事そっちのけで作戦会議をしていた。っていう意味だと思いますよ。(ようは、藤吉郎の心変わりを意味する文章)<br><br>なんで、これがあったほうが、すっきりするような気がします。 |
| ひぃ<br>2/4 23:42 | なかなかノリノリな感じでテンポよく進んでいく感じが良かったです。<br><br>ただ、最後の段。野暮なつっこみなのだろうけれど、金融機関とかがでてくる明らかに現代っぽい世界から、飛び出して行ってしまってる感…。この部分だけやけに世界が離れてる気がしてそれが気になった。<br>ならどうすればというのも言葉に詰まるけれど…。とりあえず、ここでいう「天下統一」は何でなされたのだろう。軍事テロが有力？ |
| がらがらどん<br>2/6 1:23 | 設定とテンポの良さに笑えました。<br>漫画とかCMにしたら、面白いのではないかと思います。<br>CMにするなら藤吉郎は竹中直人でガチでしょう。って違うか(笑) |
| Asagi<br>2/6 17:34 | それにしても、なんで銀行じゃなくサラ金に来たんだろう…？<br>既に銀行では断られたのかなーと思うと、一体誰に？どんなふうに？と、<br>ちょっと想像がふくらみますね。 |
| kunipi<br>2/6 21:56 | そうそう。Asagiさんと同じく、なぜサラ金？<br>それ以前に信長様はサラリーマン？ |
| ほろほろ<br>2/9 2:12 | はじめが<br>「ねー、藤吉郎君」<br>だもんなあ。<br>この１行で、<br>『今から歴史を道具にやわらかい話をします』<br>という設定を読者に呑み込ませているわけですよね。<br>うまいねぇ。 |
| ３匹ヤギの<br>2/10 11:13 | せっかくだから、台詞も古風にしてほしかったなあ。 |
| Azalea<br>2/10 17:7 | なるほど、設定が最高すぎます。<br>テンポもよくキャラも立っていて<br>しかも、イメージにうまく合わせてあって<br>とても面白かったです。落ちも良かったですし。<br><br>ただ、中盤、もう少しひねってほしかったです。<br>具体的には藤吉郎が引っ立てられるあたりくらいのところ。<br>すこし飽きが来ていたので・・・。<br>もうひとひねりあれば完璧だったと思います。<br>（今のままでも十分面白いのですが） |
| Begonian<br>2/10 22:54 | 「俺は魔王になる！」って人を「ちゃんと将来考えて！」の一言で止めたゲームの主人公がいたなぁ……。がんばれ、藤吉郎！<br><br>正直な話、「藤吉郎って誰だっけ？」って信長が出てくるところまでずっと思い出せないでいました。<br>これ、普通覚えてることですか？むしろ知らない人も結構居るのでは？<br>常識だって言う人は、きっと歴史ドラマの見すぎですよ。 |
| King　Power<br>2/11 0:39 | 内容は別にひねってもいないとは思うんですが<br><br>でも、なんだか面白い。なんでだろ？？ってかんじです。 |
| 鳥<br>2/11 2:34 | 爆笑しながら読みました。<br>いいですねぇ、話のテンポが。<br><br>個人的には最後の一文は要らないんじゃないかなと思いました。<br>「そしてなかなか開かなかった」の文も整理したほうがいいかな。 |
| す氏<br>2/11 3:17 | なかなか笑える作品だと感心しました。歴史ドラマ見すぎの人も思わず笑ってしまうだろうと思います。<br><br>藤吉郎がどうなってしまったのか色々想像させる「そしてなかなか開かなかった」という表現もなかなか良かったです。 |

| | |
|---|---|
| レロニラ<br>2/11 13:12 | 消費者金融に戦国武将達が出てくるっていう設定はかなりヒットなのですが…キャラ設定もイマイチだし掛け合いもダラダラと続いてる気がしました。 |
| kunipi<br>2/14 19:37 | ＞作者さん<br><br>作者コメント読みました。<br><br>キャラがたってますよね、すごいと思います。<br><br>で、私も便乗してビジネス考案。<br>『スナック　うつけ』<br><br>お金貸してくれるかしら？ |
| あゆむ<br>2/14 23:44 | kirieさんが書いたということで改めて作品を見直すと、男二人が密室にというシチュエーションがちゃんと用意されているじゃないですか。<br>まぁそれはいいとして、もう書けないは心の中で叫びましょう。じゃぁ私が書くわよとお母様が作品投稿しちゃうかもしれない。<br>ところで、kirieさんは土曜日いらっしゃるのかしら？<br><br>スナックうつけ。う～ん、kunipiさんがママやるならわたし行きますよ。勘定は出世払いでよろしく。うつけっぽい。 |
| kirie<br>2/15 16:14 | ＞kunipiさん<br><br>作者コメントまで読んでいただいて恐縮です。。。<br><br>＞キャラがたってますよね、すごいと思います。<br>もったいないお言葉です(*ノノ)。<br>自身としてはイタイ妄想だと思っているだけに、そのようなお言葉をいただけると、非常に嬉しいです。<br><br>＞『スナック　うつけ』<br>すばらしいアイデアに全俺が泣いた（笑）。<br>オーナーが信長だとすると、ママは濃姫、ホステスはお市の方とか寧々さんといったところでしょうか？<br>もちろん、kunipiさんがママなら私も日参します。<br>おさわりしたうつけは切腹ってところでしょうか？<br><br>私が銀行員なら、無断で即融資させていただきます。<br><br>＞あゆむさん<br><br>＞「男二人が密室にというシチュエーションが～」<br>全く気付きませんでした(°口°;)！！<br>完全なる無意識下で書いてしまうこの不思議。知らないところで徐々に毒されてしまっているのかもしれません。あなおそろしや。<br><br>＞「お母様が作品投稿しちゃうかもしれない。」<br>実は「音」コンテスト締め切り前、絶叫した私を見かねた母が、私に内緒で作品を投稿しようとしていたのを発見し、深夜壮絶なバトルを繰り広げたのはまた別の話。<br>しかも、その作品が面白かったというのが尚更性質が悪い（笑）。<br><br>＞「ところで、kirieさんは土曜日いらっしゃるのかしら？」<br>昨日までスケジュールを調整していたのですが、残念ながら行けなくなっちゃいました・・・。無念（泣）。<br>もちこみ持参していきたかったんですけど、ケーキとか。<br>あっ、それだとわがしさんや茜さんとかぶりますね。<br><br>そういえば、後で掲示板でも聞こうと思うんですけど、おまけセッションって一般参加者も参加していいんですよね？<br>掲示板の内容を見る限り出場してよさそうなんですけど、何か一般参加者の方から、あまり参加するような雰囲気が感じられなかったので。勘違いしてKYな状態になるのは避けたいですし(；-__-；)。 |

| | |
|---|---|
| kunipi<br>2/15 19:13 | ＞kirieさん<br><br>あはは、うふふ。<br>いや私もね、あゆむさんと同じで<br>「そしてなかなか開かなかった」で<br>匂う、何かが匂う、と（笑）。<br>やぱしkirieさんはその道の作家とし（ry<br><br>それにしてもおちゃめなママさんですね。<br>偽kirieさんに会い損ねた。<br>私もずうずしく一般参加者としておまけセッション<br>参加しますよ～<br><br>そうそう、『スナックうつけ』。<br>藤吉郎は、やはり裏で皿洗い。。。<br>全宇宙が泣いた！<br><br>追伸；kirieさん、名前の由来はグレゴリオ聖歌？ |
| あゆむ<br>2/15 20:8 | ＞kirieさん<br>もちろんゲストさんがたも参加可ですね。<br>むしろ、受講生たちの作品が少なくなることが予想されるのでどんどん書くべきだと思います。<br><br>おまけセッションにはお母さまも参加！？ |
| kirie<br>2/17 1:50 | ＞kunipiさん、あゆむさん<br>アルバイトやら会社説明会やらで返事が遅れてしまい、申し訳ありませんm(_ _)m。<br>リアルセッション、とても充実したものになったみたいですね。お疲れ様です。<br>お二人にお会いしたかったなあ。<br><br>そして、ご回答ありがとうございました！参加できるということでとても嬉しいです！！まだ本文はおろか、プロットも出来ていない状態ですが（＾－＾;）、完成を目指して頑張ります。<br><br>＞「そしてなかなか開かなかった」で匂う、何かが匂う、と（笑）。（kunipiさん）<br>ちょw<br>kunipiさんまでひど！！そういうこと言っちゃらめえええええ。<br>いやぁ、あの、そんなこと全く意識してませんよ？でもまあ、その・・・ごにょご<br>にょ・・・・・・。<br><br>＞藤吉郎は、やはり裏で皿洗い。。。（kunipiさん）<br>さすがkunipiさん、わかってらっしゃる（笑）。そうですね～、藤吉郎は雑用とかメチャクチャ押し付けられそうなキャラです。あとスナックのボーイとか。それで最初の内はお酒とか持ってきた時に客から「何この子ダサーイww」とからかわれるんですよ。でもある日来たVIP客のNo.1ホストに見込まれてホストに転職。うなぎ上りで出世して他の同僚からのイジメも受けつつ新宿歌舞伎町のトップを狙うという・・・。あ、しまった信長置いてけぼり（笑）。<br><br>＞名前の由来はグレゴリオ聖歌？（kunipiさん）<br>コラムプラネットの参加者様は全員エスパーなんでしょうか？勘が良すぎです（笑）。<br>きっかけは別ですが、決め手はその聖歌です。理由は二つで、一つは「キリエ」はメリスマを凝らしたものになることが多く、私の作品もこの聖歌と同様に、読み手の皆様に陶酔感を与えられるような作品を書きたいという思いがあったからです。もう一つは、日本のカトリック教会の「憐れみの賛歌」という訳からです。何せ初めて他人様に作品を読んでいただくので、多少のことには目を瞑ってもらいたい（笑）、というヘタレ根性からこの名前にしました。<br>肝心のきっかけは「ぼくらの」という、鬼頭 莫宏氏の漫画作品に出てくる登場人物の名前に由来しています。興味がわきましたら検索してみて下さい。賛否両論がはっきりしている作品ですが、私は今すごくハマっています。<br><br>＞むしろ、受講生たちの作品が～（あゆむさん）<br>あゆむさんのおかげで一気にやる気が出ました！！あと一回ですが、自分が納得できるものをバシバシと書いていこうと思います。<br>それにしても、本当にこれで最後なんですね・・・。なんかまだ終わるっていう実感がないんです。始まって以来、コラムプラネットは自然に私の生活の一部になってました。セッション終了後も、ちょこちょこ作品を書いていこうと思います。また、ご縁があることを願いつつ・・・・・・。 |

| | |
|---|---|
| | ＞おまけセッションにはお母さまも参加！？（あゆむさん）<br>何が何でも私が阻止するので、それは１００％ないです（笑）。<br>本当に「音」コンテストの時はびっくりしました・・・。後、数秒部屋に戻るのが遅れていたら、あの作品がお披露目されていたと思うとガタブルです。あの時ばかりは、心の底からデスノートが欲しくなった。<br>IQ１００以下のキラとLの戦いも、一応は明日で完結すると思います。 |
| kunipi<br>2/17 19:37 | ＞kirieさん<br><br>なるほど。実はコラムプラネットの最初の頃から<br>kirieさんのお名前はきっとそうなのかなあ？と。<br>わたしのきっかけは<br>昔々の学生時代、音楽の一般教養の授業で。<br>グレゴリオ聖歌大好きの先生でした。<br>別にフツーの大学なんですけどね。<br><br>教えていただいた作品は必ずや拝見いたしますぞ。<br>kirieさんのルーツがそこにあるのですね。<br><br>そうそう、<br>昨日はあゆむさんとkirieさんのことを<br>話していたのです。くしゃみしました？<br>え？どんな内容かって？<br>それはうふふあはは。 |
| あゆむ<br>2/20 14:56 | そうですよ。こしょこしょ内緒話してたのです。<br>その内容はたぶん三月に明かされる。<br><br>みんな由来あって名前つけてるのかな？<br>kunipiさんも由来あり？<br><br>わたしも漫画のキャラからもらってしまった。<br>男か女かわかんないような名前がよかったのですね。<br>性別隠すためというより男っぽく生きたくなかったの。<br>でも女になりたいわけじゃないから、あいまいな名前がよかったのよ。 |

ＴＯＰへ

# 2:1＋√5の神様

合計ポイント：14 Point
作者：paco
作者コメントを読む

「ねえ、黄金比の神様って知ってる？」

下校途中、信次は唐突な沙希の問いかけに興味を示した。

「そんなの知らねえよ。何、今流行りの都市伝説？」

「ううん、違うの。おまじないみたいなものなんだって。
“あること”をすれば願いが一つだけ叶うらしいよ。」

信次は東京の大学を狙っている受験生だ。
沙希は高校を卒業後、地元の食品会社に就職することが既に決まっている。
北海道の高校を卒業すれば、春からはお互い離れ離れになるかも知れない。
二人は一年生からずっと同じクラスで、半年前から交際していた。

「満月の夜、近所の中島公園に行くの。
それで噴水の前の地面に長方形を書くんだって。
その中に願い事を書いて三回お祈りしたら、成就するって噂だよ。
でもそれは正確に黄金比の長方形じゃないと願いは叶わないらしいんだ。」

「嘘くせ〜。誰が言ってたんだよ。」

「友達に聞いた。」

「そんなことする暇があったら、勉強してる方がましだよ。」

話を軽く受け流したが、内心では沙希の話がずっと心に引っ掛かっていた。
実際、信次はゲン担ぎするタイプだ。

二日後、満月の夜に信次は居ても立ってもいられず、
気付けば定規を持って、中島公園の噴水の前に足を運んでいた。

しかし、月夜に照らされた地面の上には、既に一つの長方形が描かれていた。

（先客がいる。あの噂は本当だったのか。）

その長方形の中を覗くと、
『信次が大学に合格できますように。沙希』と書かれていた。

信次はそれを見て、溢れる涙を堪え切れなくなった。
沙希はいつも学年で成績トップ10に入るほどの秀才だ。
しかし、入退院を繰り返している母親の体調が芳しくなく、
親に学費の負担をかけまいと、自分から東京の大学への進学を断念していたのだ。

沙希が進学できない無念さは、信次も痛いほど理解している。

「黄金比が2:1＋√5ってことは、2:3.236だよな。」

信次は隣にもう一つの小さな黄金比の長方形を描き、
『沙希と結婚できますように。信次』と付け加えた。

それから五年後、二人は子供を授かり、結婚することになった。

今でも信次は、時折あの月夜のことを思い出す。
それはそれは均整のとれた、見事な黄金比の長方形だった。

二人の横では、「3236グラム」の赤ん坊が、
満月に照らされながらスヤスヤと眠っていた。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

| 投稿者 | コメント |
| --- | --- |
| わがし<br>1/29 10:34 | あっ、最後の結婚したくだりのところはもう少しなんていうか、遠回りな感じでもよかったかも。<br>「なんだーやっぱり結婚したのかー」って思っちゃって、思わずいじわるしたくなるっていうか・・・。 |

| | |
|---|---|
| レロニラ<br>1/29 23:24 | 金っていうテーマなのに気持ちいハッピーエンドな話をうまく作ってますね。でも結婚ていう結末じゃなくても良いような…<br>伝えたいのは魔法よりも沙希の優しさと信次の思いだと思いますし、別れたとしても当時を懐かしむっていう結末でも良かった気もします。 |
| ほろほろ<br>1/30 3:31 | こんにちは、中島公園のそばにある高校に通っていた者です。<br>なんたる偶然。<br>お二人は『かもかも川』のほとりを<br>仲睦まじく並んで歩いた事でしょうなあ・・・・・・。<br><br>そんな内通者がたいへん野暮なツッコミをいたします。<br>北海道にとって、別れのシチュエーションは<br>だいたいが雪に彩られてはいませんか？（１２～３月）<br>噴水、枯れてるよ！<br>夜出歩くとしばれるよ！ |
| コーサク<br>1/30 4:15 | 高校受験から５年後に結婚かー。いーなー。 |
| ノエ<br>1/30 18:20 | 後半の結婚話は落ち（3236グラム）をつけるためだとは思うのですが、結婚まで書かずとも、前半の話だけの方が、まとまった気がしました。。<br><br>あっ、こういうときに２部作にすればいいのかな？ |
| わがし<br>1/30 19:25 | ＞ほろほろさん<br>＞噴水<br>そういえば冬は噴水とまってないですか・・・。<br>泣くと涙が凍りますよ（うそ）。 |
| ほろほろ<br>1/31 0:9 | ＞わがしさん<br>＞噴水<br>そうなのです。冬は、噴水止まってます。<br>ということで、この舞台は１１月以前ということになってしまうのです・・・・・・！<br><br>個人的には、<br>しんしんと雪降り積もる中、<br>街灯の下で新雪に絵を描く、<br>なあんてシチュエーションはとってもロマンチックだと思うんですけどね。 |
| わがし<br>1/31 1:23 | ＞ほろほろさん<br>＞噴水<br>札幌にいたんですよ、あたし。大通公園とか、わらわら冬支度するでしょう？？<br>だからさ、ちょっと思い出して感涙・・・。<br><br>でも、外シチュエーションは寒すぎるよね・・・。 |
| ノエ<br>1/31 17:48 | 冬場の大通り公園大好きです。。<br>わざと地下街に入らず、ペンギンのように歩くと、札幌をより感じることができる気がするんですよ～。。 |
| わがし<br>1/31 22:22 | ＞ノエさん<br>＞大通公園<br>そうそう、雪祭りなんていいですよ、とっても。すべりやすいけど<br>雪像も迫力あって、おいしいものも売っていて、雪も降っていて。 |
| めふめと2世<br>2/1 19:34 | おまじないが黄金比である必要が無いような気がする。沙希が進学できない理由＝金銭というとこと「3236グラム」のオチがそうなのかもしれないけど、個人的にはもう少し黄金比と絡みがあったほうが好きかな。。。だけどそれはぼくの読みが浅いからなのかもしれない。<br>全体として非常に丁寧に書かれていると思います。 |

| | |
|---|---|
| kunipi<br>2/1 21:58 | ＞コーサクさん<br>大学受験じゃない？<br><br>なるほど、ここは札幌が舞台なのですね。<br><br>で、質問なんですが。<br>黄金比っていうのは、何かルーツがあるのですか？<br>この数式ってみんなが知ってるのでしょうか？<br><br>はずかしい質問だと思うのですが<br>専門家がいっぱいいるであろう<br>と推察して。教えてくださいな。<br><br>この数字になにかヒミツが隠されているのかな？<br>と思っていますが。。。 |
| 茜<br>2/1 23:55 | 黄金比ってこんな数字でしたっけ・・・・・？<br>と思ってウィキさんで調べたら、１：１．６１８が出てきて、あたしにはこっちの方が見覚えがあったり。<br>いや、あたしも目いっぱい専門外なので教えてほしいんです。コレの由来。<br><br>さて、なんかこう甘いのもともと苦手なんですが、さすがに「３２３６グラム」はあまりに狙いすぎでちょっとどうかなぁ・・・・・と。感動させようとしすぎて感動出来なくなってしまったんじゃないでしょうか？ |
| イッパイアッテナ<br>2/3 20:28 | 自分も、1:1.6...で覚えていたので、2:3.236は違和感を覚えました。<br>まさか、最後の落ちのためにわざわざ変えたんじゃないと思うので、おそらく学校での教わり方の違いだと思います。（もしくは、1:1+√5/2 という習い方をしていて、分数表示ができないので、泣く泣く両辺を整数にしたとか。）<br><br>＞黄金比である理由（めふめと2世さん）<br>これは、絶対に黄金比じゃなきゃいけないんですよ。<br>隣に書いたってありますが、これは厳密にいうと沙希の長方形のお願いの内部につくったという意味だと思います。<br><br>黄金比でできた長方形って、小さい長方形の黄金比を簡単に作ることができるんですね。内部に短いほうの辺で正方形を作ると、もう片方の長方形が黄金比になるからです。<br><br>一つの長方形をつくると、簡単に願いを重ねていくことができる。<br><br>その性質がロマンチックだなぁっと思うのです。<br>(でも、信二は普通に計算していたなぁ.....普通に大学は落ちたんだろうなぁ) |
| めふめと2世<br>2/4 15:25 | >>イッパイアッテナさん<br>なるほど、、と思ったんだけど<br><br>>信次は隣にもう一つの小さな黄金比の長方形を描き<br><br>隣にってことは外部に書いたんじゃないのかな。 |
| めふめと2世<br>2/4 15:38 | 補足すると、気になるのは黄金比が「結」にかかってる点で、できれば「転」にかかってほしいということです。この場合<br><br>>信次はそれを見て、溢れる涙を堪え切れなくなった。<br>>沙希はいつも学年で成績トップ10に入るほどの秀才だ。<br>>しかし、入退院を繰り返している母親の体調が芳しくなく、<br>>親に学費の負担をかけまいと、自分から東京の大学への進学を断念していたのだ。<br>>沙希が進学できない無念さは、信次も痛いほど理解している。<br><br>話が大きく展開するここに黄金比がかかってきてほしい。<br>まぁもちろん個人的な趣向です。 |
| あゆむ<br>2/4 16:28 | 冬の北海道だというのにおあついことで。<br>二人の周りだけ雪が解けてたりするんですかねぇ。<br><br>追記<br>数学科なのに黄金比をよくしらない。<br>具体的な数字は意外と出てこない数学科。 |

| | |
|---|---|
| 大黒様<br>2/5 1:52 | 金というお題から黄金比にいってこんなお話ができるとはお見事です。<br>普通に面白いと思いました。 |
| 茜<br>2/5 15:35 | ＞アッテナさん<br>＞普通に大学は落ちたんだろうなぁ<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。<br>きっとそれで地元の大学に行くことになったから地元で働く沙希ちゃんと結ばれたんだ。<br>（無理やり）<br><br>ところで、<br>＞二人は子供を授かり、結婚することになった。<br>って、出来ちゃった結婚なんだ。っと気になったのあたしだけですか？ |
| かぴばら<br>2/6 15:46 | 私も「中島公園」という単語に反応してしまいました。<br>金から黄金比の発想、数字をからめた展開は面白かったです。 |
| イシルドゥア<br>2/9 14:7 | 　朝、中島公園を通りかかる人に対してものすごい羞恥プレイ！ごめんなさい、思い切り野暮です。感動というよりも、読みながらニヤニヤするような話なんじゃないのかなぁ、とか。<br>　恋話に黄金比を使うのは面白いんですけど、結婚はあまりにも想像通り過ぎて、どうせならもう少しひねらないと薄味すぎるかなぁと思いました。<br><br>＞イッパイアッテナさん<br>　きっと、成績のいい沙希の方はそれを考えてたのに、信次には上手く伝わらなかったんだ・・・。思えば、沙希の方が予め長方形を描いているなんて、信次がゲン担ぎするタイプだって知っているだろうから、狙っているとしか思えない。<br>　とすると・・・汲み取れなかった信次には何か罰が必要だ！（えぇ |
| ３匹ヤギの<br>2/10 10:52 | へえ～偶然てあるものなのですね。しっかし、黄金比って不思議ですよね。そして、黄金比をテーマに選ぶあたり、なかなかやりますね。 |
| King　Power<br>2/10 14:22 | ほんわかした感じは、嫌いじゃないです。<br>でも、すこしほんわかしすぎな気がします。。 |
| Julio<br>2/10 18:58 | 途中までは凄く感動して読んでいたのですが、5年後からはじまる部分を読んで冷めてしまいました。最後のオチを黄金比にこじつける必要は無かったのではないでしょうか。あえてハッピーエンドにせずに、読者の想像に任せた方が良かったのではないかと思いました。 |
| 貧保 耐三<br>2/11 1:12 | お金に関する作品が多い中、心温まる系でした。<br>確かに子供は強引かもしれませんが、他に3236を使える事柄がないような気がします。 |
| Eisen<br>2/11 1:19 | 上手いです。タイトルがちょっとヘンかなとは思いますけれど……。<br>お題「金」から「黄金比」に発想を持っていくことは、そう難しいことではない筈です。しかしそこからイメージを膨らめて、黄金比の特性を生かしたラブストーリーを作り上げた作者さんの力量は、素直に感服すべきものと思います。<br><br>どうやら突っ込みどころも満載のようですが…… |
| クリリン<br>2/11 2:39 | 「長方形」という言葉がチープなので、きれいなストーリーの中で異質な感じがしました。<br>あと赤ん坊の体重は１桁まで出さないと思いますよ。 |
| tkm<br>2/11 4:34 | せっかく穏やかな文章がすてきな雰囲気で終わったと思ったのに最後の５行は蛇足だったのでは？特にラスト２行は余計だと思います。 |
| | ＞茜さん<br><br>＞＞二人は子供を授かり、結婚することになった。<br>って、出来ちゃった結婚なんだ。っと気になったのあたしだけですか？<br>～～はは、このコメント面白いですねぇ。<br>でも、確かに<br>①二人は子供を授かり、結婚することになった。<br>②二人は結婚し、授かることになった。<br>は違いますよね。<br><br>2:1＋√5の神様<br><br>「ねえ、黄金比の神様って知ってる？」<br><br>下校途中、信次は唐突な沙希の問いかけに興味を示した。 |

lemontit
2/11 9:4

「そんなの知らねえよ。何、今流行りの都市伝説？」

「ううん、違うの。おまじないみたいなものなんだって。
“ あること ” をすれば願いが一つだけ叶うらしいよ。」

信次は東京の大学を狙っている受験生だ。
沙希は高校を卒業後、地元の食品会社に就職することが既に決まっている。
北海道の高校を卒業すれば、春からはお互い離れ離れになるかも知れない。
二人は一年生からずっと同じクラスで、半年前から交際していた。

「満月の夜、近所の中島公園に行くの。
それで噴水の前の地面に長方形を書くんだって。
その中に願い事を書いて三回お祈りしたら、成就するって噂だよ。
でもそれは正確に黄金比の長方形じゃないと願いは叶わないらしいんだ。」

「嘘くせ〜。誰が言ってたんだよ。」

「友達に聞いた。」

「そんなことする暇があったら、勉強してる方がましだよ。」

話を軽く受け流したが、内心では沙希の話がずっと心に引っ掛かっていた。
実際、信次はゲン担ぎするタイプだ。

二日後、満月の夜に信次は居ても立ってもいられず、
気付けば定規を持って、中島公園の噴水の前に足を運んでいた。

しかし、月夜に照らされた地面の上には、既に一つの長方形が描かれていた。

（先客がいる。あの噂は本当だったのか。）

その長方形の中を覗くと、
『信次が大学に合格できますように。沙希』と書かれていた。

信次はそれを見て、溢れる涙を堪え切れなくなった。
沙希はいつも学年で成績トップ10に入るほどの秀才だ。
しかし、入退院を繰り返している母親の体調が芳しくなく、
親に学費の負担をかけまいと、自分から東京の大学への進学を断念していたのだ。

沙希が進学できない無念さは、信次も痛いほど理解している。

「黄金比が2:1＋√5ってことは、2:3.236だよな。」

信次は隣にもう一つの小さな黄金比の長方形を描き、
『沙希と結婚できますように。信次』と付け加えた。

| | |
|---|---|
| | それから五年後、二人は子供を授かり、結婚することになった。<br><br>今でも信次は、時折あの月夜のことを思い出す。<br>それはそれは均整のとれた、見事な黄金比の長方形だった。<br><br>＞人の横では、「3236グラム」の赤ん坊が、<br>満月に照らされながらスヤスヤと眠っていた。<br>ここは要るのかなぁ |

ＴＯＰへ

# ３６００

合計ポイント：13 Point
作者：bagi
作者コメントはありません。

「なぁ、１時間ってどれくらいの価値があるんだろうな。」

唐突にそう訊ねられ、僕は答えを直ぐには口に出来なかった。
その質問の意図を、瞬時に把握する事が出来なかったからだ。

「１秒を１円って考えてみたらさ、１時間だと3600円になるぜ。時給3600円はなかなかオイシイよな。」

そう言って、笑った。僕には理解出来なかった。だから、彼は笑ったのかも知れない。

「例えばさ。」

彼は続けた。

「例えば、毎時間口座に3600円が振り込まれたとするじゃん？んで、その口座からは引き出し自由。でも、1時間後にはリセット。いくら引き出していても引き出していなくても、リセット。つまりゼロになるワケ。んで、次の1時間後にはまた3600円が振り込まれる。な、お前ならどうする？」

「全額引き出すよ。勿論。」

僕は答えた。「毎時間3600円が手に入るのなら、引き出さない奴なんていない。引き出さなければゼロになってしまうんだから。」

「だよな。」

彼はそう言って、また笑った。

「１時間の価値はソレだよ。ちゃんと引き出さなきゃ、ゼロになる。使わないと、なくなるんだ。」

僕は何となく彼が言いたい事が解った気がした。
使わないとゼロになる。毎日きちんと自由に使える時間という貴重なモノを僕達は貰っているのに。
果たして僕はちゃんと引き出せているのだろうか。ちゃんと使えているのだろうか。

たった１時間でもその1時間は、もう二度と来ないんだ。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| ピチョット<br>1/28 11:17 | 昔、算数を教えていたときのことを思い出した。どうしても足し算引き算が苦手な小学生で数の後ろに円をつけてやると驚くことにスムーズに計算ができるのである。つまり数を実感したということである。「時は金なり」といわれてもピンとこない人がこの話でなるほどと実感するかもしれない。 |
| わがし<br>1/29 10:24 | 私は時給制なので、このことはよーく考えますが・・・・。<br>そうねえ、なんでしょうねえ。<br>そう思うと、「あたしって安い・・・」と思って働けなくなっちゃいますけど、<br>それをもってして、周りから受ける愛情とかって考えると、<br>それって、プライスレスって話になって、違う板（板じゃない）に飛びそう・・・。 |
| ハイパー・ワイハー<br>1/29 15:19 | うーん、どっかで聞いた話だと思ってしまった・・・。 |
| みつきんぐ<br>1/29 18:3 | なるほど！と納得してしまいました。<br>今は時間が大切だとしっかり自覚していますが、昔の自分に教えてやりたい…！ |
| レロニラ<br>1/29 22:55 | 聞いた事ある話なのでちょっと…<br>でも最初にこの話聞いた時は見事な例えだと教訓になりました。 |
| contax139<br>1/30 12:48 | 時間の使い方、確かに大事です、でもきっと生涯に１度、青春時代くらいはこんなことは考えなくていいのだと思います。<br><br>生涯に2度青春時代を迎えるのもありです。 |
| ノエ<br>1/30 18:40 | あ、ちなみに、製造業で大雑把にコストを見積もるとき、１分１００円です。。 |
| やむ<br>2/1 2:25 | なかなかいい例えで、なるほど、と思いました。<br>そうやって時間を意識できたほうが、日々充実した生活ができるのではないかな、と思います。 |
| 輝<br>2/1 18:2 | 「１日１日を大切に生きよう」ってよく言われますが、お金に換算されると説得力が増すのですね。<br>そもそも、「時間を金で買う」などの発想自体子供の頃はなかったので、時間の大切さというのは大人になって初めて実感されることなのかもしれないなあ。 |
| めふめと2世<br>2/1 19:51 | 効率的な運用の仕方も教えてください。 |
| あゆむ<br>2/3 9:14 | わたしこの友達好きです。わたしの友達になってほしいくらいに。 |
| ひぃ<br>2/4 23:22 | 小難しい問題もちょっとした置き換えで分かりやすくなるものですね。全ての時間が同額だとは思わないけれど、時間の価値について一つの定規を見せてもらいました。<br>それとも時間の価値が瞬間瞬間で変わる気がするのは、半額ぐらいしか引き出せてないときがあるということでしょうかね。<br><br>とりあえず、リセットされるという部分でふと「じゃあ、マイナスに」とか考えた私は場違い…。 |
| イシルドゥア<br>2/6 22:32 | 折角時間があっても、それを生かすことのなんと難しいことか。きっと、口座から引き出すためには十重二十重のセキュリティチェックを掻い潜ってやっと３６００円を引き出せるような代物に違いない。<br><br>僕はこの話始めて聞いたので、面白いなと思えました。ただ、些細なことですが、ちょっと最初の質問と結論とが微妙にずれてる気が。How muchの質問から、ただのHow（what?)にいつの間にかすり替わってしまってる気がします。<br><br>＞ひぃさん<br>いくら０になるからって、限界を超えて引き出そうだなんて・・・欲深さんめ！（笑<br>きっと借金ともなると無理がたたって後にも影響を及ぼしてしまうのです。多分。 |

| | |
|---|---|
| はつね<br>2/8 16:59 | ハイパーワイハーさんも言われていますが、どこかで読んだなぁということで少し調べてみました。<br><br>そこでは以下のように書かれていました。<br><br>>次のような銀行があると、考えてみましょう。<br>>その銀行は、毎朝あなたの口座へ86400ドルを振り込んでくれま<br>>す。<br>>同時に、その口座の残高は毎日ゼロになります。<br>>つまり、86400ドルの中であなたがその日に使い切らなかった金額<br>>はすべて消されてしまいます<br>>あなただったらどうしますか。<br>（以下略)<br><br>世の中には同じ考え方の人が多いということで。 |
| ロココ<br>2/8 21:19 | 論点違いかもしれませんが・・・いちいち引き出す時間がもったいない、と思ってしまいました（笑）<br>引き出すだけの余裕も必要ですね。 |
| イッパイアッテナ<br>2/8 23:14 | たとえがうまいなぁっと思いました。<br><br>とりあえず、テストが終わって惰眠をむさぼっていた今日の僕は、36000円くらい損しているってことですね。<br><br>＞ハイパー・ワイハーさん<br>ミヒャルエンデの「モモ」、じゃないでしょうか？<br>引き出すことができるというのが、時間銀行と似ている気がします。 |
| てん<br>2/9 19:32 | 二人はどういう状況にいるのだろうか。<br>全く関係ないことが気になってしまいました。<br>というのも、何だか小説の文頭みたいで、ここからストーリーが繰り広げられたら面白いだろうなと思ったので。<br>分量的に無理な話なのですが。 |
| いそしぎ<br>2/10 1:41 | 私は初めて耳にした話だったので、すっかり感心しました。<br>内容の伝え方もとてもわかりやすかったです。 |
| Azalea<br>2/10 17:0 | うまい例えだ。<br>時間は蓄えられないんですからね。<br><br>これだけで短くまとまっていて<br>とてもいい作品だと思いました。 |
| pooh<br>2/10 21:8 | うん、納得しました。<br><br>これから、ちゃんと貰ったものを引き出さないと、損になってしまいますね。 |
| daikonsalada<br>2/10 23:13 | 本当にいい文章です。<br>1時間に1時間の価値がありますから、大切にしないとね。 |
| Eisen<br>2/11 1:13 | 着眼点や文章力は良いと思います。でもそこから、もう一歩。もう一歩膨らめることが出来れば、もっと良いものになったはず。みんなが感じているであろう事柄だけに、秘めたるポテンシャルは大きいと思います。 |
| lemontit<br>2/11 9:9 | 短い文章だが、重みのある文章でした。＾＾<br>＞たった１時間でもその1時間は、もう二度と来ないんだ。<br><br>よく時間の無駄使いをする私です。555<br>事後はよくよく後悔します。<br>だが、またまた時間の無駄使い～～～<br><br>良い文章だと思います、共感を湧かせました。 |

ＴＯＰへ

# 限りなく金色に近い柿の種

合計ポイント：13 Point
作者：めふめと2世
作者コメントを読む

「なに急に全然しゃべんなくなって」

前を歩いていた芽衣子さんが体を半身だけ振り返らせて言う。
いらだってのものではない。
物陰に隠れた子供がじゃれたそうに顔をちらりと出す、そんな顔をしている。

同じ研究室に所属する芽衣子さんと僕は
青森での調査研究の帰り観光のため平泉に立ち寄った。
僕らは中尊寺金色堂での観覧を終え、駅へと引き返そうとしていた。

僕は芽衣子さんが前を向くのを待ってからこう切り出した。

「どう思いました？」

「どうって、、、何が？」

「そりゃ金色堂ですよ。」

「あ～金色堂。」

１２月の東北。辺りは日が落ちてきている。
前を行く芽衣子さんの手は何度も手を擦り合わせたせいか
いつもより赤くなっているように見えた。

「あら、またご批評ですか～」

同じ研究室で過ごして二年近く、芽衣子さんはすっかり僕の扱いに慣れていた。

「なになに。聞いてあげるよ」

「金色堂ってコンクリートの覆堂にすっぽり入ってたじゃないですか。あれを見て、なんというか、国宝なんですけど、建物じゃないというか、覆堂の中はさらにガラスで完全に仕切られてて、解説の音声が自動的に流れてきて。すごい哀しいですよね、あれ」

芽衣子さんは歩調を変えず僕の前を歩いていく。

「あの金色も。昭和の大改修とかでピカピカの金箔に覆われてるし。金色ってなんか時間の経過が感じさせないというか・・・」

芽衣子さんは相変わらず何も反応しない。僕は歩調を速めて横に並ぼうとする。
追いつこうとしたとき、突然、芽衣子さんが立ち止まり道の傍に立つ民家の軒下を指差した。

「ほら〜干し柿だ」

一つの紐で括られた９つほどの柿が一本の棒に何本も吊るされている。

「干し柿食べたことある？」

「いやないですけど、、、金色堂の、話、は？」

再び芽衣子さんが前を行く。

「いや、だから金色繋がりでね、いま思い出したんだけど、私が田舎育ちなのは知ってるでしょ？で、おばあちゃんが干し柿を作ってたから、小さい頃学校から帰ってきたらよくおやつ代わりに食べてたんだ。売ってるやつみたいに柔らかくなくて、ここに干してあるやつみたいに黒くてすんごいカンカラカンなんだけど。」

「カンカラカン？」

「あ、固いってこと。うちのおばあちゃんがよくこう使ってたんだ。で、干し柿は当然種があるんだけど、それお取り出すと種の周りに果肉が少しくっついてて、これがもう見事な金色なんだよね、というわけ。」

「あ、話、戻りましたね。」

「そ、話、戻ったでしょう。」

芽衣子さんが干し柿について力説するのに僕はたじろいでしまった。

「まぁつまり、分かった気になるのはホンモノに触れてからにしなさいってこと。」

金色の話はしなきゃよかったかな。
そう思いながら僕は芽衣子さんの後ろに続いた。
まさか芽衣子さんから干し柿の話が出てくるなんて。
考えられないとりあわせだ。

カンカラカンの干し柿の中の金色の種

確かに僕はそれを知らない

突然、金色堂と僕の間にあったガラスが思い浮かんでくる

ガラスで仕切られた金色堂

僕はそれに触れることができない

芽衣子さんが言うように分かった気になっているけど
僕は知らないことばかりだ

そして、芽衣子さんのことも

金色堂を仕切るガラスは芽衣子さんと僕の間にあるものなのかもしれない

僕が歩みを速めて、赤くなった芽衣子さんの手を取ろうとしたその時、踏切が鳴る。
僕は遠くへと離れていく芽衣子さんの後ろ姿をただ眺めていた。

踏切を手で押さえながら、小さな体をさらに屈めた芽衣子さんは
くぐりきると満足げにこっちを振り返った。

遠くからレールと車輪がこすれる金属音が少しずつ近づいてきて
大きな金属の塊が僕の目の前を遮って行った。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| ノエ<br>1/29 23:55 | 書きこんでますねぇ。<br>文章に無駄がなく、ちゃんと創りこまれてる。<br>あえて、何か注文つけるとしたら・・・題くらいかな？<br>それだけ、中身は完成されてるってこと。。 |
| ほろほろ<br>1/30 0:43 | 芽衣子さん、論点をはぐらかしてない？<br>とツッコミを入れたくなるのですが、<br>話をずらすのも華麗な女性の一つの魅力なわけでして。<br>その辺り、人の振る舞いをそれらしく描けているのが良いと思いました。 |
| インギリー<br>1/30 8:47 | 亀田の柿の種かと思っちゃいました。<br>最近、いろんなバージョンがあるから<br>金色のもあるのかなと思って。<br>ほんとの柿の種だったとは… |
| わがし<br>1/30 19:36 | いやいや、研究室の仲間の手はとらないでしょう、と一応ツッコミ。<br><br>そのビミョーな距離感をいつまでも楽しんでほしい、みたいな。<br><br>あの、あの、二人だけで調査の旅行なんですか、じゃあ、手とったら大変なことに・・・なんて。 |
| kunipi<br>2/1 21:50 | なんで柿の種？って最初は思いますけど。<br>でも、よくできてると思いますよ。<br><br>前回のわがしさんの作品『最後の１センチ』の<br>距離感を彷彿とさせます。<br>僕と芽衣子さんの今後が気になりますね。ドキドキ。<br><br>最後の「金」属の塊っていうのがまた、<br>奥ゆかしい。<br><br>私は中学の修学旅行で行きましたよ、金色堂。 |
| 桜子<br>2/2 15:51 | 金色堂と柿、何ら関係の無いものだとはじめは思いましたが、とっても情緒か感じられる話ですね。芽衣子さんの話のもっていき方が印象的です。二人の会話と情景描写がとてもうまく表現されていて面白かったです。 |
| 橘<br>2/2 22:20 | タイトル見てギャグかと思いました。ゴメンなさい(+ +;)<br>（あ、ちなみに柿の種の亀田製菓は地元新潟の会社です。どーでもいいけど）<br><br>あ、上手いなって思ったのは、「金」の使い方です(・・*)<br>どうしても「お金・欲望」といった方に内容が向いてしまいがちですが、<br>こんな風にキーワードなのに内容が違ったものに仕上がってますよね(^ ^*)<br><br>それで、気になったところはというと。<br>「金色の話はしなきゃよかったかな。<br>　そう思いながら僕は芽衣子さんの後ろに続いた。<br>　まさか芽衣子さんから干し柿の話が出てくるなんて。<br>　考えられないとりあわせだ。」 |

| | |
|---|---|
| | の段落です(・・*)<br><br>二人が気まずい雰囲気になってるわけではないのに、<br>どうして「話はしなきゃよかった」なんでしょう？<br>田舎育ちの芽衣子サンから干し柿の話が出てくるのが、<br>なぜ「考えられないとりあわせ」なんでしょう？<br>そこの背景が入っていたら、違和感がなくなるのですが…(・・*)<br><br>最後の電車は、これからもずっと距離があるままということの示唆なのかなぁ… |
| あゆむ<br>2/3 9:6 | 踏み切りのあちらとこちら、芽衣子さんと僕の距離なのですね。<br>それより遠くも無く近くも無く。 |
| 紫雲<br>2/4 17:38 | 芽衣子さんは自分こそが本物を知っている人間と言いたいんですかね。<br>ずいぶん偉そうなやつだな |
| Azalea<br>2/4 18:57 | うわぁ・・・。なんというか、この雰囲気はすごくいいですね。<br>橘さん同様に、ギャクだろうし、レポートの休憩に読むかなと思っていたら<br>こんなものとは思いもせず……。<br>いや、本当にすみません。タイトルって大事だということで。<br><br>芽衣子さんのお姉さんっぷりが良かったです。<br>実はわかっている人なんて誰もいないのに、<br>それでも後輩にはそういうそぶりを見せちゃうみたいな・・・。<br><br>短い中でもうまくキャラクターを書き込まれていて<br>とてもよかったなあと思いました。 |
| ピチョット<br>2/5 12:5 | 金というお題に柿の種から金色堂から金属音と金属の塊といろいろ入れてきてそれらがうまくつかずはなれずつながっていてさらに干し柿にも通じてきたり・・・すごぉいうまいです。<br>ちなみにカンカラカンって説明がいるんだぁ！と思いました。<br>私も使ってます。。。ということは古い人間ってことですね。 |
| イッパイアッテナ<br>2/5 20:39 | ……えっと、芽衣子さんは手を取れるくらいの位置にいて、踏切の音が鳴って、踏切を手で押さえながら小さな体をかがめてくぐりきって、<br><br>そのあと、僕の目の前を大きな金属の塊が遮っていく.....<br><br>　　僕{待って―}<br>◯-------- カンカンカン　　ポッポー<br>　芽衣子さん{ニヤニヤ}　　←電車<br><br>---------◯<br><br>……えっと、違いますよね、違いますよね。きっと、<br><br>　　僕{聞こえないんですけど―}<br>◯-------- カンカンカン<br>　　←電車<br><br>---------◯<br>芽衣子さん{もっと大人になったら手を握ってあげてもいいわぁ}←デレ中<br><br>こんな感じなんですよね(混乱中 |
| Asagi<br>2/6 19:45 | 芽衣子さんの心はまだ、カンカラカンの殻の中に閉じこもったままで。<br>「僕」のアプローチをぎりぎりのところでかわしてくるあたり、やっぱり意識的なのかな。<br><br>「金色の話はしなきゃよかったかな」は、芽衣子さんの力説のしかたが、<br>なんとなく怒っているように聞こえてしまったから？<br><br>＞紫雲さん<br>逆のような気もしますよ。<br><br>話している芽衣子さんは自分もまた本物というものを知ることができないことを知っていて、<br>だから笑っているようでも内心はすごく寂しい気持ちになっているのかな、なんて。 |

| | |
|---|---|
| kunipi<br>2/6 22:32 | ＞イッパイアッテナさん<br>芽衣子さん、チキンレース中？<br>危ないってば。<br><br>踏切がすごく雰囲気出ていていいですね。 |
| 輝<br>2/7 17:12 | 研究室妄想（？！）ワールド、なんだか照れるナア。<br><br>練りに練られたストーリーだと思います。が、<br>「文章に無駄がなく」とは感じないです、むしろ過剰な印象。<br>これはもうこの作者さんの書き味なのかなあ・・。<br>セリフはキャラクターだからおいておくにしても、推敲の余地をちょこまかと感じまするぞ。 |
| わがし<br>2/8 0:3 | あのさあ、やっぱり、指の先くらい触れてみてもいいのでは！？<br>そしたらすごいストーリーが展開されますよ。<br>めくるめく研究室妄想ワールドへようこそ、ですよ！ |
| 鞦韆<br>2/8 13:44 | あらゆる意味においてホンモノ（少なくとも、僕の目にはそう見えるもの）にもう一歩のところで触れられない僕、の姿が、印象的です。 |
| ３匹ヤギの<br>2/10 11:16 | 『限りなく透明に近いブルー』を思い出しました。BLUE TRANSPARENCY! |
| けっちゃん<br>2/10 19:34 | 危うくネタがかぶるとこだった・・・<br>危ない、危ない。 |
| まち<br>2/10 20:35 | 輝さんが述べているように、<br>＞「文章に無駄がなく」とは感じないです、むしろ過剰な印象。<br>という印象をところどころ抱きました。演出的なところが多いかなと。<br><br>金色堂、私も少しがっかりしました。 |
| Begonian<br>2/10 23:24 | 芽衣子！？……あ、ふぅ。危ない危ない。<br><br>コラムアイランドで電車をこの作品と同じような使い方したら、誰かに「轢かれた！？」って感じのコメントされましたよ。<br>あはは、宇宙まで来ても同じシチュエーションだっ。<br><br>それはそうと、いいお話ですね。<br>干し柿の件が、個人的には少しだるかったですが、全体としてはとてもよかったです。<br>こういう和風の作品って難しいんですよね。いやはや、いいものを見させていただきました。 |
| イシルドゥア<br>2/11 1:52 | 　イッパイアッテナさんの前者の絵って・・・やっぱり、轢かれる直前ってことですよね？<br>　正直、僕も読んで突然自殺！？なんて思いました。永遠に本物の芽衣子さんが分かることは無かった、みたいな感じで。<br>　唐突って事以外に否定する要素もない辺りがなんとも怖いです。自殺じゃないとしたらしたで、最後の踏み切りのシーンが何で突然踏み切りなんだろうと同じくらい唐突な感じがしますしね。どっちもありそうだなあと。一気に作品の意味変わるわけですが。<br><br>　どちらにしても、結構会話のテンポとか雰囲気が好きな作品でした。 |
| レロニラ<br>2/11 13:19 | 後半の恋愛のノリ要らないんじゃ…踏切が急に出てくるのも不自然だし、そこで急にお別れする意味も分からないし。<br>そもそも芽衣子さんの言う事に全く説得力を感じなかった時点でこの文章と自分は相性わるいのかなって思っちゃったりw |
| kunipi<br>2/14 19:33 | ＞作者さん<br>作者コメント読みましたよ。<br><br>なるほど、芽衣子さんはモデルが<br>いるのかと思っていましたが<br>ＰＬＡＳＴＩＣな存在なのですね。。 |
| あゆむ<br>2/14 23:57 | plasticな存在ってアニヤな人ってことですか？<br><br>人工的なのか知りませんけど、わたしは芽衣子さん好きですよ。<br>大人なお姉さんなかんじ。 |

| | |
|---|---|
| めふめと2世<br>2/15 21:22 | >>kunipiさん<br>まぁモデルもいるんですがな。。。<br><br>>>あゆむさん<br>たぶんアニヤは買わないかな。<br>plasticってことば良くなかったかも。 |

ＴＯＰへ

# 金吉じいちゃんのおんぶと10円玉

合計ポイント：12 Point
作者：ピチョット
作者コメントを読む

昭和30年、菜の花の咲く春、菜々子はうまれた。色黒で目の大きい、人見知りの激しい子だった。菜々子は、父母と祖父母と妹の6人家族に育った。明治生まれの祖父の名前は金吉。はげ頭にげじげじまゆのだるま和尚のような顔でふんどしを愛用し、着物をきていた。ほとんど、目がみえなかったが、温和で申年生まれのひょうきんな人だった。

時々「菜々ちゃん、じいちゃんにおんぶさせてよ。おんぶさせてくれたら10円あげるよ。」といってくる。菜々子は、10円につられて、こわごわとじいちゃんの背中にまわる。力をいれじいちゃんの背中におぶさる。「よいしょ」と菜々子をおんぶした金吉じいちゃんは、家の中をゆっくりとひと回りして、「よっこらしょ」と定位置の座布団にすわる。それから手探りで小さな木製のふみ机の引き出しから10円玉をとりだし「はい菜々ちゃん、10円。この前より大きくなったね。」と孫の成長がうれしくてニコニコ笑いながら10円をくれる。菜々子は金吉じいちゃんの背中からおり、ほっとする。「ありがとう」といい、小さな手に10円玉をぐっとにぎりしめ、下駄をつっかけ、近所の駄菓子屋にむかう。くじびきやドライアイスのはいったアイスボックスやカラフルな飴玉のはいった入れ物が並んでいる。10円で何を買おうかぐるっとみまわす。よく赤い箱のグリコキャラメルを買った。走って帰り「じいちゃん、あ〜ん」といって、金吉じいちゃんの口に包み紙をむいて、キャラメルをいれる。そしてだまってあぐらした金吉じいちゃんのひざにちょこんとすわると自分もキャラメルをほうばる。

ある日、近所の子供たちと一緒に小川で遊んでいる時のことである。妹がバランスを失ない畦道から小川に落ちてしまった。菜々子は咄嗟に妹の襟首をつかまえた。必死だった。他の子供たちが大人を呼びにいき、すぐに妹は小川から引き上げられ、事なきをえた。知らせを受け、青い顔をして駆けつけてきた母親が「菜々ちゃん、川で遊んじゃだめっていったでしょ。」と大きな声でしかった。菜々子はなにがなんでも妹をはなすまいと必死だったさっきまでの力が抜け、母の怒鳴り声で正気をとりもどし、大きな声で泣き出した。そこに杖をつきながら金吉じいちゃんがきて「菜々ちゃんが助けたんじゃ、おかあさん、菜々ちゃんの好きなハムを買ってきて」と母親をなだめた。菜々子は金吉じいちゃんの声をきいて、じいちゃんの背中におんぶされたくなった。その夜の食卓には菜々子の大好きなハムがあった。もりもりたべる菜々子に金吉じいちゃんが「菜々ちゃん、おかあさんのいうことよくきいてね。じいちゃんみたいにぽんぽん痛くならんようにね。」といった。その夜、金吉じいちゃんは倒れた。バイクでかかりつけの医者がやってきて、臨終をみとった。

貧しいけど皆が、一緒に生活していた昭和30年代から半世紀がたった。日本は、めざましい経済発展をとげた。家族スタイルも変化した。核家族がふえ、3世代家族はめずらしくなった。菜々子は、3世代家族の母となっている。時々懐かしくあの頃のことを思い出す。お金の価値もかわり、あのグリコキャラメルも100円になった。子供の頃、お駄賃の10円やお年玉で親戚が奮発してくれた100円札は、大切なものだった。その100円札も姿を消した。今ももちろん、お金は大事だが、子供の頃に手にしたお金のように響いてこない。あたりまえだといえばそうなのだが、おぼろげながら金吉じいちゃんにおんぶされてもらった10円玉の記憶が無性に懐かしい。菜々子は、エプロンのポケットの10円玉をぐっとにぎりしめてみる。写真立ての金吉じいちゃん

が、微笑んでいる。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| きゅうぴー<br>1/29 17:36 | あの時代は貧しかったけれど、今より皆が幸せだった、ということだと思います。でも今の若者はそれを知りません。そう思う人たちが伝えていかなければいけないことだと思うのですが、「良かった」「良かった」というだけで、すっかり現在の利便性や経済的豊かさを漬かりきってしまっている大人がいかに多いことか。<br>文章はとても読みやすかったです。 |
| 茜<br>1/29 19:46 | 自分のお子さんにも、百円玉を握らせてみてあげてください。<br>奈々子さんとは３０年くらい世代の違う人間ですが、あたしにも、百円玉を握り締めた記憶があります。デパートの中で駄菓子を売っているお店で、１０円や２０円のお菓子をいっぱい悩みながら買いました。<br><br>いい話だと思ったんです。最後の段落を読む前までは。<br>あのころは良かった。みんな言います。でも、じゃあ、あたしたちは？<br>最後の最後でそんな反感を持ってしまったことがとても残念でした。<br>きゅうぴーさんの言う「伝える」も、良かった良かったと語って、若い世代をうらやましがらせることではなくて、おじいさんと同じように百円玉を握らせてあげることじゃないかと思うんです。 |
| ノエ<br>1/30 23:4 | 小さなころにお金の大切さを学ぶって必要ですよね。。<br>私は最後の段落もすきですよ。<br><br>いつの時代も「あのころはよかった」とか「今の若いものは」って云うでしょ？<br>てことは、どの世代も共通していつか感じる感情なのだと思いますよ。 |
| シマエナガ<br>1/31 13:16 | 　一つ一つの描写がきめ細やかで、思わず引き込まれて読んでしまいました（実体験が踏まえられているのでしょうか）。暖かさともの悲しさを交々味あわせてくれる、よい文章だと思いました。<br>　結びについては異論はあるでしょうが、正直な思いでしょう。やはり帰らないものは帰らない、お金というものの意味が変化していくこと－世の中でも、自分の中でも－も致し方のないことだと思います。今の時代の子どもは子どもなりの経験をして、それをいつか振り返ることになるのでしょうから。 |
| Asagi<br>2/2 2:17 | 　「子供の頃に手にしたお金のように響いてこない」のはこの菜々子さんの話であって、たぶん「今の時代の子供がお金に価値を感じていない」と言っているわけではないのでは。<br><br>　作者さんが、というより奈々子さんが思ったのは ” 昔は良かった ” というより、 ” 子供の頃のことを忘れたくない ” に近い気がします。今じゃなんともないお金なのに、あのころの10円玉ってなんだかすごい大金だったよなー、みたいな。<br>　「貧しいけど皆が一緒に生活していた」のインパクトが良くも悪くも強すぎるのでしょうね。それで好き嫌いが出る。<br><br>　「あれから半世紀が経って、菜々子もまた3世代家族の母となった。お金の価値も変わって、あのグリコキャラメルも100円になった。」<br>　作者さんの意図は変わるかもしれませんが、これくらいあっさりと流してもよかったように思います。 |
| あゆむ<br>2/3 9:4 | まぁなんにせよ。あのころはよかったと言うようのは年を取ったという証拠ですね。<br>昔はよくて今は悪い。たぶんそれはちがう。昔のよかったと今のよかったが変わっただけだと思います。 |

| | |
|---|---|
| イッパイアッテナ<br>2/5 7:55 | 多いですねぇ。昭和の賛歌。3丁目の夕日の影響でしょうか？<br><br>僕も、昭和世代気質で、そんな昭和世代を破壊した昭和世代が嫌いで嫌いで仕方がないので、こういう愚痴っぽいのは素直に聞けない世代です。(お正月に、爆笑問題の太田が言っていましたが、「なんで自分たちの作ってきたものを否定するのか。否定されると子供たちは何を信じていいのか分からない。」というセリフが身にしみます。)<br><br>とまぁ、普通の意見を言っても仕方がないので、少し昭和世代をフォローしてみましょう。<br><br>感じたのは、昭和世代は言葉を模索しているんだろうなぁっということです。<br>昭和世代のいいところって、前へ進むというエネルギッシュなところだと思います。貧しいけど懸命に生きた時代。笑って前を向いて生きた時代。北の国からや寅さんの時代です。<br>一転、今の時代はそういう前へ進むというエネルギーに欠けているなぁって思うのでしょう。(いじめとかマイナス面ばかりでなく、環境対策とかプラスの面まで)<br><br>だから、「前へ進んで欲しい」っていうのを伝えたくて、あと自分もそういうエネルギーが足りないのを自覚して、結果「昔は良かった」といって奮起させよう、奮起しようとしているのではないか。そう思うのです。(本当に懐かしんでいるだけで何もできない人間は、論外なので放置。)<br><br>行為は、すごく後ろ向きなんですけどね。その後ろ向きに前向きを求める姿が、客観的な立場にいる若い世代には理解できないんじゃないでしょうか。<br>(ただ、若者の立場として言わせてもらえば、若者は若者なりに現代をエネルギッシュに生きているんだよ。前向きに生きているんだよ、と。)<br><br>結論：<br>一早く誰でも飛行機に乗れる新しい時代が到来したことを理解して、年金で海外旅行を楽しみまくった、戦前世代のうちの婆ちゃんが最強!?(違 |
| 橘<br>2/5 10:17 | みなさん内容のコメントが多いようなので、自分は構成を(^ ^*)<br><br>まず題名です。いかんせん少し長いかもしれません(・・;)<br>「おんぶ」「１０円玉」を入れるよりも、<br>ここは話の芯である「金吉じいちゃん」だけでもいいかもしれません。<br><br>第３段落について。<br>「じいちゃんの背中におんぶされたくなった。」とありますが、<br>このあと本当におんぶされたかは書かれていません(・・*)<br>きっとその通りになったと思うのですが、<br>「じいちゃん、おんぶ」などの奈々子の一言や、<br>金吉じいちゃんの背中の上で、どんな思いを感じたかなどを、<br>一文入れた方が良かったかもしれません。<br>また、この段落の最後の文も少し唐突かと(+ +;)<br>次の段落に、<br>「その後間もなくして金吉じいちゃんは亡くなり、貧しいけど皆が、…」<br>の方が自然かもしれません(・・;)<br><br>あとはこの段落の内容、実は話の主題とあまり関係していないように思えます(+ +;)<br>話を盛り上げる効果を出しているのですが、最後のまとめの段落へのつながりが薄い…<br>でも、これを無くすと、文章全体が物足りなくなってしまうんですよね(・・;)<br><br>この物語の雰囲気・メッセージを無くすことなく、<br>構成の手直しを頑張ってみてくださいo(_ _*)o |
| 作者<br>2/6 12:2 | イッパイアッテナさんへ<br>どこか愚痴っぽくなりましたでしょうか・・・・とても気になっております。<br>＞僕も、昭和世代気質で、そんな昭和世代を破壊した昭和世代が嫌いで嫌いで仕方がないので、こういう愚痴っぽいのは素直に聞けない世代です。(お正月に、爆笑問題の太田が言っていましたが、「なんで自分たちの作ってきたものを否定するのか。否定されると子供たちは何を信じていいのか分からない。」というセリフが身にしみます。) |

| | |
|---|---|
| イッパイアッテナ<br>2/6 17:56 | ＞作者さん<br><br>すいません。根本的に読み違えていました。<br>作者さんの、「どこか愚痴っぽくなってしまったのでしょうか」というコメントを読んで、いやぁ、最後の段落でしょ。と思って、読みなおしてみたら、.....全然そんなことないです。<br><br>すみません。本当に、僕の読み間違いです。<br>たぶん、昭和うんぬんの話題を現実とプラネット両方で立てつづけに見てしまったので、これもそういう類だと決めつけ、先入観で読んでしまったきらいがあります。<br><br>冷静に、そして、まっさらな心で読み直したら、ちゃんと「自分が無くしてしまったものへの郷愁」と読めました。素晴らしい思い出を皆にも共有してほしいなぁっという願いだと受け取りました。<br><br>すみません、ほんと、勘違いです。作者様申し訳ないです。 |
| 作者<br>2/6 22:12 | ＞イッパイアッテナさんへ<br>よかったぁ～読み直していただいてありがとうございました。<br>勇気を出して聞いてみてよかったです。<br>コメントにものすごぉい怒気を感じたのですが、大丈夫ですか？<br>私は昭和時代が良くて今が悪いとはおもいません。自分でも今の生活にそまっていろんな昔のことを忘れそうになります。それを覚えておきたくておじいちゃんのこと作品にしたのかもしれません。<br>今の若者の素晴らしさをよくオットと話します。<br>どんどん進化してる若者を感じ、私たち昭和時代のおじさんおばさんも負けないように頑張らなきゃとね！ |
| 茜<br>2/7 0:16 | ＞作者さん<br>たぶん、場面が現代に戻ったにもかかわらず、話が昭和で止まったままで、現代に繋がっていないから、「愚痴っぽく」感じてしまったり、「あのころはよくて今は」という意図しない対比を見出してしまったのかな、と思います。<br><br>途中で時代を語ったりせずに昭和のままにしておくか、「次世代の奈々子」に繋げていくと、印象はもっと変わるんじゃないでしょうか。 |
| 茜<br>2/7 0:19 | あ、それと、最初にちょっと感情的に否定してしまってごめんなさい。<br>でも、こういう思い出はあたしにもあって、その暖かさが伝わるからこそ、今の世代にもつなげて欲しいな、と思ったんです。 |
| 3匹ヤギの<br>2/10 10:51 | おんぶさせておこずかいをもらうというお話は初めて聞きました！ |
| ほろほろ<br>2/10 13:59 | 昭和という時代への郷愁というよりも、<br>家族への郷愁についてのお話ですよね。<br>当時と今のお金をきっかけに話を広げていただき、<br>まさに三丁目の夕日な感じですね。しみじみ。<br><br>野暮な補足を一点。<br>ほうばる　→　ほおばる（頬張る）<br>が正しいかと。 |
| Eisen<br>2/11 1:26 | お題「金」を組み込もうとする余り、「お金」に関する話が取ってつけたようなものになってしまっている。そんな印象を受けました。10円玉の下りは良いとして、最後の段落の所々は蛇足でしょう。<br>「金」吉じいちゃんだけでは弱いのは確かですが、これでは読後感も少し落ちます。せっかくの感動的なストーリーが勿体無い。<br>もっと上手く「お金」を組み込むことができたなら、より理想的……でもそれが難しいんですよね。 |

| | |
|---|---|
| ピチョット<br>2/15 14:52 | ほろほろさんへ<br>ご指摘ありがとうございました。<br>まったく気づいていませんでした。<br><br>Asagiさんへ<br>「奈々子さんが思ったのは”昔は良かった”というより、”子供の頃のことを忘れたくない”に近い気がします。今じゃなんともないお金なのに、あのころの10円玉ってなんだかすごい大金だったよなー、みたいな。」<br><br>私がいいたかったことを読み取っていただきありがとうございました。<br><br>●「貧しいけど皆が一緒に生活していた」のインパクトが良くも悪くも強すぎるのでしょうね<br><br>皆さんが最後の段落にこんなに反応されるとは思いませんでした。私は昭和も平成も3世代でくらしているのでずれているのかも<br>しれません。決して私がいいたかったことは、昔がよかった今が悪いというのではありません。が、そういう風によみとれた感があったのは、力不足です。私としては、作品よりコメントをよみつなげていっているようなコメントがあり、とまどいました。途中思い余って作者登場してしまったルール違反すみませんでした。 |

ＴＯＰへ

# 海苔缶

合計ポイント：12 Point
作者：レロニラ
作者コメントを読む

仕事を終え帰宅すると、小包がひとつ届いていた。
母からだった。
部屋に入りスーツを椅子にかけると、
ひんやり冷たい床に座り込み、小包を開けた。
古びた海苔缶と手紙が入っている。

『
　　和也

元気かい？
お父さんが死んでそろそろ三ヶ月が経つね。
お母さんもやっと整理がついて前向きに生きていけるようになってきたよ。
先月、お父さんの部屋を片付けてたら懐かしいものを見つけたので
報告します。

あんたが大学生になった頃、昔お父さんから盗んだ金を返すって五万持って
うちに謝りに来た事あったでしょ。
お父さん、怒ってあんたの顔が腫れるまでひっぱたいて、
あんたもあんたで何も言わないもんだからずっと殴られっぱなしで。
お母さん、あんたの頭がおかしくなったらどうしようって、
あの後もずっと心配だったんだから。

あの時、お父さん怒ってたけど、本当は嬉しかったのよ。
ある日お父さんに聞いた事あるの。
和也の五万円はどうしたのって。
そしたらお父さん、もう競馬で使っちまったって。
あの頃は競馬なんかとっくに止めてたのにね。
嘘が下手なのは昔から変わらないね。
お母さんもそうかいなんて答えてたけどおかしくてね。
お父さんあのお金は使わずに取っておいてたんだよ。
缶に入れてずっと大事にしまってたの。

それでお父さんの部屋からあの缶が出てきたから懐かしくてね。
ちゃんと五万円入ってて、大事そうにふたが閉まってたよ。
それでお父さんも死んじゃった事だし、あんたに返そうと思ってね。

あんたが自分のために使いなさい。
お父さんもそう思ってるはずだよ。

それでは体に気を付けてお仕事頑張って下さい。
またいつでも帰って来なさいね。
さようなら。

母

』

手紙を床に置いて海苔缶を手に取った。
さびだらけでシールの文字も何と書いてあるか読めない。
固くしまったふたを開けてみると、
海苔の臭いの染み付いた旧札が五枚入っていた。

昔の事ですっかり忘れていた。
中学の頃どうしても友達と遊ぶお金が欲しくて、
親父の財布から何回かお金を取った事があった。
ずっと後悔してて、大学に入って引越しのバイトをして、
取ったお金を全部返そうとしたのだ。
謝って顔を上げる間もなく三年ぶりに親父の拳が飛んできた。
一週間ぐらいは顔を洗うのも痛かったのを覚えている。

父が大好きだった。
厳しくて理不尽な所ばかりだったけれど、
いつも家族の事を第一に考える人だった。
父には沢山の愛情をもらった。
そんな父も昨年の暮れに死んだ。
僕は父に愛情を返す事ができていただろうか。

しわしわの五万円を缶に戻すと力いっぱい固くふたを閉めた。
手にはまだ海苔の臭いが残っていた。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
| --- | --- |
| インギリー<br>1/28 16:8 | お父さんの財布からお金を盗むんですか。<br>そんなに怖いお父さんなのに。<br>だいたいは、お母さんの財布だと思うんです。<br><br>「力いっぱい固くふたを閉めた」<br>というのは、「力いっぱいふたを閉めた」で十分ではないかしら。「さびだらけ」とも書いてあるし。<br><br>さびた缶に海苔の匂いが残っているんでしょうか。 |

| | |
|---|---|
| ノエ<br>1/29 21:33 | 後半の父への思いと手紙の内容が少しかみ合わない感があります。 |
| contax139<br>1/30 12:38 | ジーンときました。<br><br>こんなお父さんいたらかっこよいですね。<br>しかもそれを健気に支えてきたであろうお母さんの姿もなんとなく浮かびました。<br><br>でも手紙というよりは、電話で無愛想なふりをしている息子に一方的に話す電話の気方がしっくりくるのではと思いました。 |
| わがし<br>1/30 19:28 | お母さん、息子への手紙の最後に「さようなら」って書くかなあ、とそこが気になった・・・。 |
| シマエナガ<br>1/31 13:34 | 　文章も構成もしっかりしていて、なかなか読ませる文章だと思いました。<br>　最後から２番目のお父さんに対する思いを綴るパラグラフ、「父には沢山の愛情をもらった。」はなくても良かったような気がします。説明的な文章がない方が、むしろ気持ちが伝わるように感じました。 |
| 輝<br>2/1 18:5 | どこかの村おこしの「〇〇への手紙」コンテスト入選作のようでちょっと気恥ずかしくなりましタ。<br><br>でも、「海苔缶」って存在感あるうまい小道具ですね。<br>昭和な感じの食卓とそれを囲む家族とを、海苔缶ひとつでイメージさせてくれます。 |
| Azalea<br>2/2 17:40 | 親の財布から金を盗むとは……。<br>しかも父親ですか。なけなしの小遣いを奪うとはなんという。<br>それをさらに返そうというお話、とても面白く読ませていただきました。<br><br>私としては、父親が亡くなった直後の設定にして<br>部屋の整理をしていたら見つかって～　という形の方が<br>いろいろ自然に、父が好きだったとかけたのではないかと思いました。<br>これだと、少し唐突な感じがしたので。<br><br>とても雰囲気を作られていて<br>読みやすく、とても良い作品だと思いました。 |
| 橘<br>2/2 21:4 | 気になったのは海苔缶です。ちょっと不自然かなと(・・;)<br>この文章を読んでいると、裸のお札を缶に入れてたってことですよね？<br>普通、封筒などに入れて隠すか、それごと缶に隠すのでは？<br><br>また息子サンに送るとき、缶ごと送るのも不自然かなと(+ +;)<br><br>ただ海苔缶を無くしてしまうと、お札には臭いがつかない…<br>いい雰囲気に一味加えている臭いが無くなってしまう…難しいですね |
| イシルドゥア<br>2/5 19:43 | 　大学生になってうちに謝りに来たときって、一人暮らししてた僕が帰省時に返して謝ったんだと思ったけど、まさか日帰りなんてことも無いと思うし、そんなに激しく起こった後どうなったんだろう？というのが気になりました。<br>　なんかもう、なんかもう・・・不器用親子め。<br><br>　contax139さんの言う、無愛想な振りして感情で一杯になっているような電話口の僕いいなぁ。黙ってひっぱたかれていた時のような不器用さがより際立つと思います。 |
| kunipi<br>2/8 21:30 | 父と息子ってすごく難しい関係じゃないですか？<br><br>背中を越えるだの越えないだのって。<br><br>お父さんもきっとその5万円を<br>渡されたとき、どうしていいか<br>わからなかったのだろうと思います。<br><br>海苔缶が、とてもリアルです。<br>いい小道具だと思いますよ。<br>海苔も最近は紙の箱に入っていることが<br>多いですよね。 |
| Begonian<br>2/9 0:13 | 手紙の後がなんだかぎこちないです。<br>説明しようとして、それが裏目に出たという感じでしょうか。<br>いっそ手紙部分だけとか、その方が個人的には好きですね。 |

| | |
|---|---|
| みつきんぐ<br>2/9 23:43 | エピソードとして、いいなぁ…と感じました。<br>親の愛情って大きいですよね。<br><br>あ、目がうるんできた… |
| いそしぎ<br>2/10 1:22 | 海苔の臭いの染み付いた「旧札」の表現で、時間経過を感じることができました。とても読みやすかったです。 |
| でもどり<br>2/10 21:31 | 泣ける・・・。<br>自分の息子が（もともと盗んだとは言え）返してきた金を、<br>使い切れずにいる不器用な父親の姿が浮かんできます。<br><br>海苔缶という生活感があふれるもので演出するのは、効果大ですね。<br>なんとなく昭和のにおいを感じさせる父親の雰囲気にぴったりです。 |
| クリリン<br>2/11 2:16 | 手紙で書く文としては不自然な気がしてしまいました。<br>どちらかというと電話っぽいですね。 |
| わがし<br>2/11 16:22 | ＞作者さん<br><br>この機会にお母さんにお手紙かくといいですよ。<br>ってはずかしいね・・・。<br><br>じーんとしちゃうのよ、母からの手紙って。<br>じーんと（泣 |

ＴＯＰへ

# 小銭

合計ポイント：12 Point
作者：輝
作者コメントを読む

香港はギラギラした街だった。
でこぼこにとび出した看板に夜も昼もけばけばしいネオン。
騒々しい広東語にせわしなく立ち働く香港人。
ほとばしるエネルギー。

真夏の香港へ行った。
大学４年のときである。
５年におよぶ単身赴任生活から戻った父の、一度外国を見てみたいという夢をかなえる大役を、わたしが仰せつかった。就職祝いも兼ねてと言われたが、受験生の妹・やんちゃ犬ケンの面倒を見なくてはならない母を除く、という消去法であろう。
・・・女子大生が父親とふたり旅？
格好悪い気がして、友達には黙って旅立った。

うちの父。
ギョロリとした目が恐ろしく、「似ている」と言われるとフクザツ。
酒も煙草も博打も（たぶん）女もやらない。会社が好き。
初めての子供が男でも女でも、勤めている会社の名にある漢字一文字を名前に使うと宣言し、本当に！実行した男。
愛読書は城山三郎、カラオケで歌うのは何十年も「昴」一曲。
唯一の趣味は車で、嵐ともなれば娘たちの帰宅より愛車カバーが飛ばされるのを心配する。
子供の頃は全然遊んでくれなかった。
〇〇ちゃんちのパパ、人生ゲームしてくれる、神経衰弱やってくれる、カレー作ってくれる、と、
妹とふたり何度もブーたれたが、父のペースは崩れなかった。ちっとも。

そんな父と香港。
各種パンフレットを比較検討した結果選ばれた格安パックツアー、なのに空港に降り立ったのは我々だけ。
真夏の香港て、常人は行かないのか。わたしたちは行っちゃったけど。
猛烈な蒸し暑さにも父は上機嫌、専属となった現地ガイドさんを質問攻めにする。
唐突で不躾な質問はやめてほしい、親子であることが恥ずかしくなるではないか。

いよいよお待ちかねのディナー。
ワンピースなんか着ておしゃれしちゃった娘と、相も変わらず野球帽の父。
白髪隠しはわかるけど、カウボーイでもパナマでももう少しまともな帽子はないのか。
途端に不機嫌になる娘の前に、何と黒塗りのリムジンが現れた。オフシーズンの出血大サービス？

磨かれてぴかぴかの、映画の中でしか見たことのないリムジンに大興奮で乗りこむ格安ツアーご一行。
夢心地のまま到着した飲茶レストランもゴージャス、ナントカ酒家の文字が金色に輝く。
店内には池があり、赤い太鼓橋を渡って奥のテーブルへ。
見かけほどには感動しない料理をいただく。

途中、わたしは化粧室に立った。
化粧室のすみにはおばさんがひとり座っていた。
何をするかと思えば、手を洗った客にすかさずペーパータオルを渡してチップをせびっている。
「ハンカチくらい持ってるよ、余計なお世話！」
と心の中では毒づきながら、愛想良くチップを手渡す気の弱い娘。

しばらくして父も化粧室へ立った。
が、太鼓橋を三度渡って戻ってきた父の様子が、おかしい。
ギョロ目が真っ赤だ。
父の涙なんて見た記憶のないわたしはびっくりし、どうした、何かあった？と聞く。
なおも込み上げてくるものと戦いながら、父はようやく口を開いた。
「今な、トイレにばあさんがいてな、手を洗ってたら紙を渡してくれるんだ。
　おふくろみたいな年のばあさんが、あんなことで小銭をめぐんでもらおうとするなんて。
　おれ、不憫でなあ。
　せつないよ、ほんとに。せつない。」
言いながら父は、再び上を向いて目頭を押さえた。
かける言葉を失ったわたしは、うつむいて飲茶を食べ続けた。
香港の夜は明るいまま更けていった。

あの暑い夏から何年が過ぎたろう。
今のわたしなら、香港にはそういうチップの習慣があるだけだよ、お父さん、と笑いとばすだろうか。
あのときの父を想うたび、ギラギラした香港の光が、ふいにやわらかく思い起こされる。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| ハイパー・ワイハー<br>1/29 15:57 | いいお父さんです。<br>そして、いい娘さんです。<br><br>香港とお父さんの対称が目に浮かびます。 |
| contax139<br>1/30 12:33 | 素敵なお話です。<br><br>チップは支払う側の心持ちでこんなにもその瞬間を感動的にすることができるのかと。<br>チップはケチるべきという自分の固定観念が恥ずかしいです。<br><br>子供にはせびらないでしょうし、チップを要求されたということは、<br>この娘さんのことを大人のレディとして認めてもらえたと考えれば少し照れくさいような<br>そんな体験になっていたかもしれません。 |
| わがし<br>1/30 19:16 | ああ、父親と旅行なんて、私は一回もしませんでした・・・。<br>こういうの、いいなあ。 |

| | |
|---|---|
| ノエ<br>1/30 22:38 | うちの父親は酒豪でだいの仕事好き。<br>けれど一緒にお酒飲んだことないし、<br>だから一緒に旅行もしたことがない。<br>うらやましいいい父親ですねぇ。<br><br>でも、文体ですが、もう少し女性と分かる文体のほうがよかったかなぁ？<br>女子大生という言葉が出てきてぎょっとしました。。 |
| あお<br>1/31 14:10 | 物事の捉え方は本当に人それぞれだな、と改めて思いました。<br>身近な人の意外な一面に出会った瞬間の戸惑いと感動がはっきりとは書かれていないのによく伝わってきます。<br>いいお話です。 |
| めふめと2世<br>2/1 15:43 | 旅行行ったとき子供のティッシュ売りがいて難しかったです。<br>渡さない派で通したんですが。<br><br>>今のわたしなら、香港にはそういうチップの習慣があるだけだよ、お父さん、と笑いとばすだろうか。<br><br>この一文がいい話に終るのでなく好きだな。 |
| サンダーバード<br>2/2 1:2 | 父親の人物像がイメージできる文章構成が良いと思いました。 |
| 茜<br>2/4 18:56 | 人の良いお父さんなんですね。<br>チップの習慣はあたしにはあまり理解できなくて、このお父さんのしたことが「良い事」なのかどうかはまた違うように思うのですが。<br>でも、理屈を言うよりも先に「そっかあ、そんな人も居るんだねえ、お父さん」と、一緒に肯いてあげたいような気分になりました。とてもうまい形でのお父さんの紹介です。ひとつの出来事から、その人の人柄というのは浮かび上がるものなんですね。 |
| がらがらどん<br>2/6 1:1 | 誰しも、涙を見せるときには真の人柄というものが出ているのでしょうか。<br>私も、自分の親が涙を流すのを見たときは衝撃的でした。<br>この作品を読んで、親が泣いたときのことを思い出しました。言葉は出ませんよね。<br>親子愛を感じられる素敵なお話でした。 |
| Azalea<br>2/8 0:17 | チップなのかなあ？　本気で乞食なのかも？　と読んでいる私。<br>そんな人はここに一人で十分です。<br><br>父親の描写が大変丁寧で、エピソードも人物を見事に表していて<br>金もうまく織り込まれていて、人柄をうまく伝えている点<br>とてもいいなあと思いました。 |
| kunipi<br>2/8 21:36 | そうそう。<br>今回の作品、親子に関するものが多いですよね。<br><br>香港の匂いがしてくる作品です。<br>夏は暑そうですね。<br><br>向田邦子『父の詫び状』を思い出しました。<br>父と娘の関係というものを、再読して考えてみます。 |
| イッパイアッテナ<br>2/9 22:59 | なんか、お父さんの気持ちがわかるかも。<br><br>読んでいて、ちょっと娘さんが無神経だなって腹が立ったし。<br>(実際は、そういう仕事としてちゃんとあるんだろうけど、でもおばあさんがそれをやっていたら、悲しくなるよね。)<br><br>今年オリンピックがあるけど、お祭り気分だけじゃなくて、そういうところもしっかりみて、その上で中国の本質を見ていきたいなぁ。 |
| 3匹ヤギの<br>2/10 11:14 | たしか、メキシコでもそういう人いましたね。 |

| | |
|---|---|
| ほろほろ<br>2/10 13:17 | 良い思い出をお持ちですね。<br>この場で思い出ときちんと向き合える、<br>その一点だけでもコラムランドの意義が充分あるように思います。<br><br>作品に関して言えば、<br>父親のアクションに対して<br>娘さんが静か過ぎたせいか、<br>お話に大きなうねりがなかったのが少し残念でした。<br>体験談をベースに、<br>心理描写などを深める方向に肉付けをしていくと<br>さらに面白くなりますよ！ |
| daikonsalada<br>2/10 22:48 | これぐらいのことで切ないと思って涙が出る…ちょっと逆に切ないと思った。むしろ腹が立つ。この世の中に裕福の人たちは何人ぐらいいると思っているの？「100人の村」を読め！<br>まったく腹が立つ！ |
| Begonian<br>2/10 22:49 | いやはや、お見事。<br>粗探しでもしない限り、この作品に付けるけちを見つけられる自信がないですね。<br>これ、実話なんでしょうか。例えば、お父さんのセリフって、実際のもの？<br>なかなか考えさせられますね。 |
| す氏<br>2/11 5:18 | 子どもとあまり接してこなかった父親と、自分の母親を想起させるような年恰好のお婆さんが小銭をせびる様子に涙する父親、この対比が丁寧に書かれていると思います。対比の軸にお題の金（小銭）が位置づけられ、上手くまとめられている点も良いと思いました。<br><br>私の父は、他の家庭に比べれば家にいることが多く、子どもの頃はよく一緒に旅行に行きました。もっとも二人きりではなく、家族4人での旅行ですが。作品と同じなのは、顔が似ている点でしょうか。 |

ＴＯＰへ

# 金額など問題ではない

合計ポイント：12 Point
作者：す氏
作者コメントを読む

　オリエンテーリングというスポーツがある。
山や公園でチェックポイントを順番通りに辿って、
そのタイムを競うという競技だ。

　このマイナースポーツにもインターカレッジがある。
2泊3日の大会期間で、各大学の宿泊場所は日本学生オリエンテーリング連盟
と契約を結んだN旅行が一括して行ってきた。
某Ｔ工大のサークルも、例年このN旅行の斡旋した宿にお世話になってきた。

　Ａ県Ｓ市（なんでも戦国時代長篠合戦があったところだそうな）で開催された
大会では、西隣のＴ市とそのさらに西隣のＯ市を含めた3市に宿泊地が跨った。
ほとんどの大学は3市の中心部を結ぶ幹線道路沿いの宿に割振られた。
W大他３校はＴプレステージホテルとか、Ｔ大他４校はＴセンチュリーホテル
といった感じだ。

　しかしＴ工大はＴ葉大・Ｋ戸大・Ｔ農工とともに特別待遇を受け、
会場からバスで1時間以上もかかるような、Ｏ市の中心部から北に
５～６ｋｍ離れた地区に移送された。
特にＴ工大は他の3大学からも大切に隔離され、
女将とお手伝いさん2人の老ご婦人ズが経営するビジネスＤ屋旅館に丁重に送られた。

金額は同じである！

　全ての参加者は、同額の宿泊費をN旅行に支払っている。
如何にマイナーとはいえ、競技の公平性が保たれねばならないからだ。
宿泊に関しても、会場から離れすぎないよう、
食事の質・量に差が出過ぎないよう配慮する決まり（建前ともいう）になっていた。
そんな訳で、料金は一律になっていたのだ。

　にもかかわらず、Ｔ工大生は割り振られた宿で様々な特典を与えられた。

Ｔ工大の貸切であったが宿泊可能人数を越えたため、
6人ほど食堂に寝泊りすることになった。

食堂は女将の寝所兼厨房の隣であった。
壁が割れ外の景色が見える視界良好の部屋で、
かつカーテンサッシがもげているような芸術性を持ち合わせていた。
サッシを面白みのない状態に（ご婦人たちは芸術にあきたようだ）
付け直させられた彼らは、労働の対価に煎餅を戴いた。

　また、朝食準備を兼ねて4時半位に叩き起こしてもらうこともでき、
山中を走り回る日々の中、健康的な早起きを実践する機会にも恵まれた。

　そんな中運悪く1人部屋を占めた者もいた。
もっとも、2日目に別の予約客が来るまでで、
幸運にも廊下で熟睡する術を勉強できたようだ。

　宿には大小2つの浴場があり、それぞれ
お一人様仕様の湯船とシャワーが1つずつ備え付けてあった。
特に重要なのはシャワーで、大使用中は小使用不可という愉快な仕様であった。
Ｔ工大生達は、ミーティング時間を確保するために銭湯に行ったので、
残念ながら愉快な気分を味わうことができなかった。

　さて、競技の公平さを重んじるＴ工大生は、
自分達だけ特典を得るのは他大に悪いと考えた。
大会運営者を通じＮ旅行に特典の理由を尋ね、
次からは自分達も普通の宿に泊まりたいと求めたのだ。

全ては叶えられなかった！

　翌年、栃木県矢板市の大会では、
Ｔ工大はやはり会場から最も遠い日光市に割り当てられた。
Ｎ旅行からは納得のいく説明も謝罪もなく、
ただ東照宮の区域内にある1泊1万数千円という高級ホテルに
泊まらされただけであった。
（ちなみにＤ屋旅館は素泊まり5000円、2食付6500円。）

　金額の問題ではなく、競技の公平性を確保して欲しいという願いは、
どこかのアジア連盟と同様に、Ｎ旅行には通じなかったのだ。

　而して件のＴ工大生達には、素晴らしい経験になっていると考えられる。
Ｔ工大生はどのように世間から認知されているのか、
社会に出た時にどのように振舞うべきか色々と考えさせる出来事だったろう。

まさに、彼らは金額など問題ではない特典を享受した・・・・・・・・・・

のか？

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| ノエ<br>1/29 12:40 | う～ん、過度にアルファベットが使われていることが、作品をつまらなくさせていると思いました。<br>事実を忠実に表現していようとしているからかもしれませんが、もう少しストーリーを考えてデフォルメしたほうがよかったかも。 |
| 紫雲<br>1/30 0:6 | なんだかあまりにも作者さんの正体バレが露骨なんでなえます。<br>中途半端な伏字じゃなくてAとかBとかにして、競技の名前を消してしまってもいいんじゃないでしょうか。 |
| インギリー<br>1/30 8:53 | 私は、大笑いしちゃったんですが。<br>笑いのツボが違うんでしょうか。<br>こういうの、大好きです。 |
| ひぃ<br>1/30 17:13 | 壮大な皮肉ですね。途中までは皮肉であることになかなか気づけませんでしたが…。<br>とらえどころを見違えた感の漂うこの皮肉がいい味出してたと思います。<br><br>話の舞台が微妙に近いところの話になってしまっているのはどうかとも思います。完全に伏せてしまってもよかったのでは？ |
| わがし<br>1/30 19:37 | T葉大というのは、もしかして、C葉大ですか・・・。<br>そこが気になってしまい・・・。 |
| Bloomoon<br>1/31 17:42 | ネットを利用して、書きたいことを書きまくった感じですね。<br>ノエさんに同じく、アルファベットが多いのは読みにくかったです。 |
| 桜子<br>2/2 15:24 | 皮肉の使用によってこの物語は特徴付けられているとは思うのですが、ストーリーの中での事実と、作者さんの本当の気持ちが分かりづらかった気がします。翌年の話と以前の話も似通っていましたし。個人的には、皮肉な表現は一つに集約した方が明快で、よかったのではないかと思います。 |
| vista<br>2/2 15:59 | オリエンテーリング部ってあったんですね・・・知らなかった・・・ |
| インギリー<br>2/2 18:1 | 「Tプレステージホテル」「Ｔセンチュリーホテル」っていうのが…すごくマニアック。<br>その近所のご出身なのでしょうか。<br>わかんない人は全くわかんない。<br>そういう意味で１００万人コードにひっかかるのかもしれないけど、私は…好きです。<br>これって実話なのでしょうか。 |
| sum1<br>2/3 23:31 | うーん、皮肉が面白いのに、所々一貫性のない表現があるのが気になります。<br><br>シャワーの仕様が「愉快」という表現では、あまり良い意味に聞こえません。<br>特注品とか、特別といった表現の方が、シニカルに「ほめる」ことになるのではないでしょうか。<br><br>あと、矢板市、日光市を伏字にしなかったのは、何か理由があるのでしょうか。<br>今の文章の流れですと、どうしても日光東照宮に触れなければなりませんが、これもＮ光Ｔ照宮とでもすれば、伏字の目的は十分に果たせます。<br><br>＞インギリーさん<br>日本の一般客向けホテルの名称は、おおよそ「地名＋系列ホテル名」となっていますから、この場合、「Ｔ」がＴ市という地名であるということさえ理解されていれば、特に１００万人コードに引っかかることではないと思われます。<br><br>「プレステージ」は存じ上げませんが、「センチュリー」ですと小田急系列でしょうか。 |

| | |
|---|---|
| 茜<br>2/4 0:57 | ＞１００万人コード<br>〇〇ホテル、なんていうのはあんまり気になりませんでした。とりあえずホテルの名前ってだけで。雰囲気で読めます。<br>むしろ、「Ｔ工大」とか「Ｔ葉大」とかの中途半端な伏字の方が気になってしまい・・・・・なまじどこなのか分かってしまうのが余計に。何の自虐かなあ、と。<br><br>きっと強烈な皮肉が売りだろうと思うのですが、どうにもうまく伝わってこなかったのは、背景説明とかがごちゃごちゃしてて、薄まってしまっているのと、前述した大学名が気になったのが原因だと思います。<br>もっとこう「！」つかって壮大に皮肉ってもらってもよかったと思うのは、あたしの好みかもしれません。 |
| Azalea<br>2/4 21:50 | めちゃくちゃ受けました、個人的には。<br>無意味な伏字、どんな悪いものにもいいところはあるといわんばかりの無茶なほめ方など怒りがありありと、そして、その状態を通り越して<br>すでにネタにしてやろうという気が満々の語り手の姿が見えるようです。<br><br>ただ、万人受けはしないんじゃないでしょうか。<br>こういうのは書いている本人は面白いのですが<br>状況をうまく想像できないとただだらだら書いているだけになってしまいます。<br><br>ただ、これ以上どうしたらいいかって言うと<br>それも思いつかないのですけれど・・。<br><br>＞インギリーさん<br>さすがに実話っていうにはひどすぎると思いますが・・・。<br>ただ、某工業大学だけが、遠くのホテルっていう状況は<br>本当だったのかもなあと予測しています。 |
| インギリー<br>2/4 22:26 | ホテルの名前については<br>T市というのが私の故郷だもんですから…<br>大うけでした。<br><br>その続きで最後の方まで、とても楽しめました。<br>お気の毒なことがあったのに、大笑いしちゃいました。<br>言葉の使い方も良かったと思います。 |
| ほろほろ<br>2/6 11:7 | イニシャル、僕は面白いと思うのですが、<br>「栃木県矢板市」と「日光市」はイニシャらなくて良いのでしょうか。統一求む！！<br><br>怒りを抑えつつ、時に噴出しつつの話調がとても面白かったです。<br>すごい特典をもらっちまいましたね、へへへ。 |
| イシルドゥア<br>2/9 13:49 | 　昔、僕の周りでなぜか人の名前を口語なのに伏せるなんてよく分からないことがはやったことがあって、大■君（一応伏せときます）に対して、O■君と伏せているのを聞いて、伏せる意味完全にないじゃん！って大笑いした覚えがあります。この作品の伏字を見ていてそんなことを思い出しました。<br><br>　この妙に詳しい場所設定やらから大筋はきっと実話なんでしょうねぇ・・・何か、同じ値段で遠くに配置されただけでも詐欺まがいな気がします。廊下で寝るような事態までも実話ならN旅行にぶちきれてもなんら問題ないかと（汗<br>　僕は、笑うよりも、この皮肉ってる作者の諦めに似た哀愁が伝わってきて、むしろ悲しくなってきました。酷い境遇に負けるな！N旅行を結果で見返してやるんだ！　・・・N旅行にはいい結果出しても関係ない？（汗 |
| てん<br>2/9 20:15 | 楽しく読ませてもらいましたが、結論について疑問です。<br><br>＞Ｔ工大生はどのように世間から認知されているのか<br>これは私も思い当たる場面は何度かありますが、<br><br>＞社会に出た時にどのように振舞うべきか<br>これは「大人しくしていましょう」ということでしょうか。<br>たぶん作者の方もＴ工大生でしょうから、「負けるな！」ぐらいの勢いがあったほうが読後感も良かったと思います。 |

| | |
|---|---|
| イッパイアッテナ<br>2/9 23:44 | すいません、爆笑しました。<br><br>いや、必死すぎです、作者さん。というか、必死さをうまく演出しているといえばいいのでしょうか。<br><br>全然隠し切れていない伏せ字、がんばって皮肉っているけど、明らかに不自然な皮肉になっている場所が数か所、飽きないで使い続ける「特典」の２文字。<br><br>怒りがひしひしと伝わってきます。<br><br>いやぁ、おかしかったです。<br><br>＞東工大生の認識<br>一方で、工場見学兼先輩との交流合宿で、N製鉄を見学した僕たちは、その日会社の福利厚生の旅館で、おいしい天婦羅と刺身を無料でいただきました。卓球とかカラオケも無料でした。温泉よかったです。工場も東工大生さんが初めてなんですよ。という新開発の炉を見せていただけました。<br><br>これもT工大生の一つの姿です。 |
| ３匹ヤギの<br>2/10 10:28 | 東工大という大学は、良くも悪くもパイが小さいですからね。。 |

ＴＯＰへ

# 命の値段

合計ポイント：11 Point
作者：kunipi
作者コメントを読む

「生命は、尊貴である。一人の生命は、全地球よりも重い。」
（最高裁昭和２３年３月１２日大法廷判決）。
数ある最高裁判所判決の中でも特に名文と評価されるものである。

さて、最高裁も認めている全地球より重い命だが、
残念ながら金銭に換算しなければならないことがある。
我が国の民法では「金銭賠償の原則」（※注１）が採られている。
金銭賠償の原則とは、端的に言ってしまえば、
「発生した損害は全てお金で解決する」ということだ。
別の言い方をすれば「目には目を、歯には歯を」といった
ハンムラビ法典のような方法は認められていないことも暗に含んでいる。

交通事故等によって損害が発生した場合、被害者は加害者に対して、
普通に生活をしていたならば得られたはずであろう
逸失利益を請求することができるが、
その際、被害者の年齢、性別および職業等が重要な要素となる。

例えば、働きざかりのサラリーマンが死亡した場合、
稼働可能年齢とされる６７歳までの平均賃金を換算し、
そこから生活費等の必要経費を除いて逸失利益が算出される。

また幼児が死亡した場合、同様に稼働可能年齢までの平均賃金を算出するが、
ここで性別によってその金額が異なってくるという事情がある。
すなわち、平均的な男性が生涯得たはずであろう賃金と、
平均的な女性が得たであろう賃金とは異なるというものである。
もし女児が将来アイドルになっていたならば、
平均的な女性の賃金などという基準は全くあてはまらなかったはずであるが、
ここに「もし、たら、れば」の条件を付加することはできない。

重度の障害を有している人が被害者となった場合、
そもそも稼働する能力がないとされて
逸失利益はゼロとされた事案もあるし（※注２）、

被害者が不法就労の外国人であった場合、
通常は母国での平均賃金を基準として逸失利益が算定される（※注３）。

このような従来の流れに対し、
人の命は平等でかけがえのないものであるから、
命を失ったという事実のみに着目して、
一定の額を支払うべきと主張する学説も存する。
この学説を純粋に貫くならば、年収３億円の人の命も無収入の人の命も、
それを失ったことによる損害は同じであるから、両者は賠償額が同じことになる。
もっとも、この学説に対しては「理想論にすぎない」とか
「一定額とはいくらなのか、また何を基準に算出するのか不明である」
といった批判があり、運用までには至っていない。

思うに、失われた命を金銭に評価されることのみならず、
《全地球よりも重い》と評されたはずの、命の重さに差異を設けられては、
残された家族は、やりきれないのではなかろうか。
金銭賠償の原則を採用している以上、金銭で決着をつけなければならないのは
仕方のないことだが、せめて損害額の算定のときは
すべての人を平等に扱ってもいいのではないだろうか。
それとも、この主張は現実離れした青臭い理想論ないしは夢物語だろうか。

※注１：
民法４１７条「損害賠償は、別段の意思表示がないときは、金銭をもってその額を定める。」
民法７２２条「第４１７条の規定は、不法行為による損害賠償について準用する。」

※注２：
重度の脳性麻痺の子供のバギーを横転させて、脳性麻痺を悪化させた指導員に
対する損害賠償額の算定にあたり、被害者の逸失利益はないとした事案
（東京地裁平成２年６月１１日判決）。

※注３：
不法就労中、製本機に指を挟まれて切断した
パキスタン国籍の被害者について、日本での年収約２００万円ではなく、
来日前の年収約３６万円を基準にして逸失利益を算定した事案
（最高裁平成９年１月２８日判決）。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|

| | |
|---|---|
| ノエ<br>1/29 22:22 | なかなか難しい課題ですよね。。<br>でも、算定って、その人のこれまでの実績だとおもうんですよ。<br>まぁ、一部ですけどね。。<br>生まれたばかりだとその人固有の実績ってないから、性別による過去の実績例を参考にするしかないし、大人だったら、定職がある人と無職の人の算定が違うのは、その人のこれまでの実績なんだと思う。<br>といっても、しっくりこないですけどね。。 |
| ken<br>1/31 14:20 | 命はお金に換えられませんが、必要に応じてお金に換算しなければいけません。これは家族の価値でも友達の価値でも思い出の価値でも同じです。主観と客観の価値の相違は常にあるのでしょうね。 |
| きゅうぴー<br>1/31 14:57 | 現在の市場経済重視の社会経済システムのなかではこうした考え方もしかたない、ということになるのだと思いますが、果たしてそれでいいのか、人間社会の本質にかかる永遠のテーマだと思います。内容の是非はともかく、こうした内容について、若者が真摯に議論する場が必要だと思います。面と向き合って。 |
| Bloomoon<br>1/31 18:8 | 補足説明で、講義版お題「企画書」を思い出しました。<br><br>難しい問題な上に、いつ誰に降りかかってくるか分からないことが、この問題を議論しにくいものにしてますよね。<br>自分、あるいは自分の大切な人が関わってからでは遅い。<br>算定される方、それがあなたの大切な人だった場合、<br>同じ算定を行えますか？ |
| 茜<br>2/1 16:44 | 人生は平等でも公平でもないとは思っていますが、せめて子供の命くらい、平等に扱ってあげて欲しいものです。<br><br>例までちゃんと挙げて、あたしの知らない社会の一面を、端的に教えてくれたいいコラムだと思います。<br>きっと、どんな方法でもしっくり来ないんですよね。たとえ命と命を引き換えに償うとしても、やっぱり、しっくり来ないのでしょう。それほどまでに、代えがたいものなのでしょうね、命というのは。<br>どうしようもないからこそ考えていかなくちゃいけない。感情的な話だからこそ冷静にならなきゃいけない。そういう問題なんだと思います。<br><br>もう少し改善できるとしたら、作者さんの考えでしょうか。「すべての人を平等に」ってすごくありきたりにまとめてしまった感じがします。こういう話題ですから、無理に理想的なあるいは道徳的な答えを出すことだけが、結論でもないように感じました。 |
| あゆむ<br>2/3 9:16 | 人の命が地球より重いなんてこともないですよね。<br>たぶん地球がくしゃみしただけで人の命なんてどっかいっちゃいますもの。 |
| 琥珀<br>2/3 14:4 | >茜さん・・・<br>　＞子供の命・・・<br>　２０００年～０１年東京地裁、東京高裁は、交通事故死した小学生が女の子であることを理由に逸失利益を男性よりも少なく算定されることが争われた裁判で、男女の平均賃金に準じた額を命じる判決を言い渡しました。裁判長は、男女の賃金格差を反映させる従来の方法を「合理的理由を欠く差別」と指摘しています。<br><br>　とても大事なテーマを扱った作品ですね。<br>　さらに、多角的検証（事例探し）をなさっていくと、もう少し違った論点や結論が見つけられるのではと思います。<br>　たとえば、上記の事例から見えてくるのは、時代の推移、社会の変容に応じて法解釈は変わってくるかもしれないこと、時代や社会を創っていくのは私たち市民であること、市民が法を創っていくというのが民主主義の特性であることなど・・・<br><br>　作者さんの結論は決して夢物語・・・ではないと思います。<br>　特に、茜さんたち若い世代の皆さんの生き方で、社会や法は変わっていくでしょう・・・<br>　　（オネーさんは期待してます・・・） |

| | |
|---|---|
| sum1<br>2/3 22:38 | 重いテーマです。こんな場所で法に関係する文章を見ることになるとは思いませんでした。<br><br>この昭和２３年最高裁判決は、死刑が新憲法に違反するかどうかを扱った事件なのですね。初めて知りました。<br>死刑の場合、刑罰の差異に応じて半分死刑とするといったことは不可能なので、ある意味命は平等に扱われているのかもしれませんが、損害賠償の場合、（金銭賠償の原則のように）損害の程度に応じた賠償が原則とされることで、命を平等に扱いにくくなっているように思えます。<br><br>命を平等に扱うことと、損害の程度に応じた賠償。両立不可能な究極の問いなのかもしれません。 |
| Azalea<br>2/4 22:6 | これはある意味で仕方がないことだと思います。<br><br>＞茜さん　琥珀さん<br>便乗させてもらいます。<br><br>男女格差ですが、生活費で引かれる額は男性の方が大きいという…<br>男女差別はいけないんだ、という意見には大賛成ですし<br>私自身、男女ともに自由に働ける社会が理想だと思いますが<br>実態に合ってない計算を行うことはもっと問題なのでしょうね。<br><br>そもそも、逸失利益なんて、サラリーマンでも<br>会社が倒れるかどうかなどで来年どうなっているかわかりませんし<br>本当にもらえたのかなんて誰にも言えないわけで。<br>この方法でいいのか、もっといい方法がないのかと考えたくもなります。<br><br>本当にいろいろなことを考えさせていただける文章だったのですが<br>最後の注を本文に組み入れられなかったのかなあと思いました。<br><br>＞他にも、パキスタン国籍の不法就労者が製本機に指を挟まれて切断した<br>＞事件では、来日前の年収、約３６万円で逸失利益を計算した<br>＞判例がある。（最高裁平成９年１月２８日判決による）<br>＞このように、不法就労者が被害者の場合、祖国の平均賃金で<br>＞逸失利益が計算されることが普通だ。<br><br>というように。<br><br>注があるたびに一番下までいって、また戻ってというのが<br>うっとうしかったので、ほんとにいい文章なんですけど<br>そこだけが少し気になりました。 |
| 大黒様<br>2/5 2:0 | 面白い議題です。<br>どうすればいいのかという提案を具体的に聞きたいですね。 |
| 茜<br>2/5 15:11 | ＞Azaleaさん、琥珀さん<br>平均はあくまで平均であって、そこから飛び出しちゃう人は山ほど居るわけですが、なんだかんだ言っても平均って自分たちが作ってるものなんですよね。<br>そう考えれば、いざとなったときそれが適用されてしまうのも、仕方ないのかなあ、と思います。<br>「人間は平等だ！」って言われるより、「こういう計算方法でこういう平均を取ったんです」のほうが却って納得してしまうかもしれません。<br><br>でもその、Azaleaさんの言う生活費控除は、どこで調べた根拠なんでしょうね。<br>女性の平均賃金安いのに生活費割合も安いって・・・・・親と同居とかそういう設定？<br>そういう数字の出所や根拠が明確になるだけでも、納得度は違ってくるんじゃないでしょうか？ |
| はつね<br>2/8 16:38 | >せめて損害額の算定のときはすべての人を平等に扱ってもいいのではないだろうか<br><br>さすがに無理でしょう。そうなると平等とは何かという議論に発展することになります。先日山田太一氏が言われていましたが人間は元々生まれつき不平等なわけですから。子供が亡くなった場合のみでもある程度平均を取っているということ自体がむしろすばらしいことなのではないでしょうか。 |

| | |
|---|---|
| Begonian<br>2/9 15:10 | 一人の生命と全地球のどちらかしか救えないとしたら、一人の生命の方を取る、とでも言いたいんでしょうか、最高裁は。<br>この一文を頼るところから入った時点で、この作品を冷めた目でしか見ることが出来ませんでした。<br><br>この話題って結論(　正解)が出ることはないと思うんですよ。<br>人の命に均一の値段を付けるということは、すなわち「人殺しの値段」、殺人税を設けるとでも言いましょうか、ひねくれた見方をすればそういうことなわけで。<br><br>ただ、このテーマに挑戦するということは、作者さんに当たって砕ける覚悟はあると思います。<br>その心意気は確と受け取りましてので、思う存分砕けてきて下さい。 |
| ほろほろ<br>2/10 13:48 | お題「金」に相応しい論説、ありがとうございました。<br>感動とは別の意味で、沁みますわ〜。<br><br>皆さんのコメントも実に興味深いです。<br>おしなべた答えの出ない問題をおしなべて判断することについて<br>淡々と書いている作品ですから、<br>しっくり来ないのは当然ですよね。<br>作者さんはこのモヤモヤを伝えたかったんだと思いますし、<br>しっかと伝わったかと思います。<br><br>最後に僕の考えを。<br>法律というのは独特の文法を強制することで、<br>他のあいまいな要素を抑圧するものですから、<br>人間を法律で評価することはどうやったって不可能なわけです。<br>だから、もし亡くなった人の、<br>味や粋さなどのあいまいな部分を含めての評価は、<br>金銭や法から外れた個別的な感覚でしようと思います。 |
| イッパイアッテナ<br>2/11 1:58 | やりきれなさは、お金では解決しない。<br>誠意というものは、お金でしか解決できない。<br>やりきれなさを誠意をみせることで、拭わなければならない。<br><br>三つのけして一つにならない論理を強引に一つにまとめなければいけない法律。機械的だといわれても、僕は今の方法が、ベストでなくてもベターだと思います。<br>(人を平等に扱うということは、その平等の落とし所がどこであるかが非常にあいまいであるので、現実問題として難しいと思うのです。) |
| す氏<br>2/11 4:57 | 命の価値というお話、人間の本質に関わる重要な話ですね。<br><br>ただ、命の平等＝賠償金（被害）の平等ではないと私は考えます。人の命が故意や過失で失われた場合、賠償金を受け取るのは勿論本人ではなく遺族であるからです。遺族は命ではなく経済的損失を被った故に賠償金を得る資格があり、その金額は所定の換算方法で行うというのが法の精神なのだと思います。<br><br>その点、作品中現実に起こっていることの具体例として挙げられている注２注３では被害者が亡くなっていない（つまり命を失っていない）ケースであり、冒頭で述べられている命の重さ云々に関与させるにはやや違和感を覚えます。どこかで聞いた或いはテレビで見たことがある印象も受けます。<br><br>命の価値＝賠償金の金額であると仮定しても、一定額云々という話は、時代毎の貨幣価値の移り変わりを考えると議論さえ組み立たないのではないかと思えます。<br>例えば、どの時代についても、日本円にしてある一定額を命の値段に定めてみましょう。当然時がたてば貨幣の価値も変わります。時間がたつと命の価値が変わってしまいます。<br>それでは物価水準に換算した金額を設定してみましょう。外国人の場合を考えてみると、その外国の通貨に対する日本円の価値も変わっていることから、やはり命の価値は時と共に変わっていることになります。<br>以上のことから、もしどの時代のどの地域においても「命の価値」を等しくしたいのなら、どの国家も共通の通貨を使うような状態、要するに国家の枠組みが完全になくなった状態でなければならなくなります。現実の地域紛争を考えるにしても、文化の多様性の維持を考えるにしろ、何かしら矛盾を抱えた状態であることは確かです。<br><br>と、つらつら連想してしまいました。<br><br>色々考えさせられる作品だとは思いましたが、残念ながら私個人の思考（現状の法体系で良いという思考）に何かしら強い影響を与えるということはありませんでした。 |

| | |
|---|---|
| 作者<br>2/12 20:14 | えー<br>コメントをいただいたみなさま<br>ありがとうございました。<br><br>今回は皆様へレスをします。<br>ただ、本日は途中で力尽きました。<br><br>原稿は完了しております。<br>打ち込むだけですので<br>しばらくお待ちください。 |
| あゆむ<br>2/12 22:59 | ＞kunipi(作者)さんへ<br>そうですね、たぶん天災とかそういったものだと思います。<br>地球さんは人間が何してるか気にしてないので、ちょっとしたことで大勢死んでしまうのですね。<br><br>人の命が重いなどというのは人だけで、他の動物たちはたぶん人なんていない方がいいと思っている。それに、すべての人の命を尊重し、みんなが幸せになればいいなどといって実現すると、当然食料も石油もたりなくなってしまう。でも、わたしが貧しい思いをして暮らせるかというとたぶん無理でなんだかよくわかんなくなってしまう。<br>人の命が重いなどと主張できないけど、自分の命が軽く扱われていたらやっぱり嫌でどうすればいいかわからない。でも、どっちにしろ死んだ後自分の命が軽く扱われるのはかまわないですね。<br><br>なんかごちゃごちゃっとしたこと書いてごめんなさい。 |
| kunipi<br>2/13 18:15 | ＞あゆむさん<br>あーなるほど。<br>命は人間本位に捉えていたので、すごくいい視点を<br>もらえました。<br>あのね、大人になってから動物園って行ったことある？<br>動物園は、大人こそ行くべきなんじゃないかな？<br>って思うよ。<br>いろんな動物がいて、人間もその中の<br>ひとつなのにね。<br><br>追伸；<br>川上弘美さんの短編「神様」読みましたよ。<br>切ない。いじらしい。 |
| あゆむ<br>2/13 20:41 | 動物園は悲しいのでわたしは行きません。かわいい子に誘われてもたぶん行きません。<br><br>追伸<br>川上さんの作品はあったくてほのぼのなのになんだか悲しいですよね。結局クマさんは里に帰っちゃたり、コスミさんが不機嫌だったりするんですね。 |
| Begonian<br>2/14 0:42 | 作者コメント、読みました。お返事ありがとです。<br><br>あれま、冷え性でございますか。<br>この季節、大変ですよね。お体に気をつけて。<br><br>「人殺しの値段」の件について。<br>過失は……どうなんでしょ、店の商品壊しちゃったから買い取らされた、みたいなもんですかね？<br>生命保険金は加害者が払うわけじゃないので、今回のとは別の話になる気がします。<br>まぁこれ自体がかなりひねくれた意見ですから、あまり正面からは受け止めない方向でお願いします。 |
| kunipi<br>2/14 19:18 | ＞あゆむさん<br>あーなるほど。<br>そこがあなたのいいところだから<br>大切にしてね。 |

| | |
|---|---|
| kunipi<br>2/14 19:22 | ＞Begonianさん<br><br>冷え症は大変ですよ、ホント。<br>電車とかで手がぶつかると<br>まじまじと見返されるよ<br>「この人生きてるの？」みたいな。。。<br>ただいま冬眠中です。<br><br>さて、大丈夫です。私はこういうところから<br>新しい視点が生まれることを<br>とてもうれしく思っています。<br>私もかなり屁理屈を<br>こねましたからね（笑）<br>ですから、またぜひひねくれたご提案を<br>まってます。 |
| あゆむ<br>2/14 20:9 | 冷え性相談会？<br>男の子が冷え性でもいいじゃない。<br>寝るとき足ひえひえなのよ。<br><br>それにしても、きっちりみんなに返事書くのですね。<br>ＣＭまではさんで。何のＣＭ？ |
| kunipi<br>2/15 19:25 | ＞あゆむさん<br>こちら、冷え性対策臨時相談室です。<br>私は就寝時、電気毛布が手放せません。<br>今年は、冷凍庫の中で生活しているようです。<br><br>既定のテーマとしては最後ですしね、<br>がんばってコメントへのレスを<br>つけてみました、すごい量になってしまいましたが。。。 |

ＴＯＰへ

# ある日の夜、駅前で

合計ポイント：11 Point
作者：でもどり
作者コメントを読む

母親が財布に忍ばせていた5円玉。
きっと良いことがあるんだろうと思って、真似をした。
困ったときはこれで電話しなさいね、と言われて渡された10円玉。
使うまいと名札の裏のビニールの部分に忍ばせておくと、
丸い跡がくっきりとついていたものだ。
母親が上機嫌のときを狙っておねだりして、もらった100円玉。
近所の駄菓子屋に向かいかけた足をぐっと押さえて、そのまま貯金箱に入れた。
月のお小遣いは500円玉1枚。
それを握ってゲームセンターに行こうという、友達の誘いを振り切って。
1000円とか、5000円とか、お札なんてめったに手にすることができない。
10000円はもはや架空の存在。
だから一気にお金が貯まるなんて事は無い。小銭をもらっては貯金をして、
欲しいものを買うために、じっと我慢したものだ。

そんな我慢の子だった僕は今？
やれ飲み会だ、やれ遊びだ、財布から流れるようにして札が消えてゆく。
お金を対する感覚は、ずいぶんと変わるものだ。

＊＊＊＊＊

先日、駅前のロータリーで財布を拾った。GUCCIのロゴ入り。
中身を見てみようか・・・。ほらこっそりと・・・。少しチェック・・・。
悪魔が僕にささやく。

いやいや、目の前に交番があるのだから。届けなくては。
天使が勝ったようだ。

「すいません、コレ、そこで拾ったんですけど」
入り口の一番近くの机に座っていた警官に声をかける。
「ああ、財布ですね。ちょっと待ってください。預かり書とか、書いてもらいますから」
「わかりました」
警官は手馴れた様子で、中身をざっとチェックする。
「あ、これ・・・」
「どうしたんですか？」
僕の問いに、警官は苦笑いを浮かべながら答える。
「いや、お札にね・・・ほら・・・」

少しためらったものの、警官は財布の中にあった、まだ使っていないであろう1000円札を僕に見せてくれた。
「あ・・・」
すかしの部分に、“ アオキユカリ ”と鉛筆で書いてあった。
「何も、名前を書かなくたって・・・。やっぱり子供の財布ですか？」
「みたいですね。それもまだ小さい子みたいですね」
「まだ子供なのにGUCCIの財布、ねぇ。でも、お札に名前かぁ・・・」

＊＊＊＊＊

その帰り道、小銭入れの中を見てみた。531円。
小さいころは、持っているだけでうれしかった500円玉。
取り出して握りしめてみると、思い出が色々、浮かんでくる。

「あのプラスチックの貯金箱、まだあったかな」
久々に、使ってみようか。
そう思いながら、寒空の下、家路を急いだ。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| parakeet<br>1/29 11:29 | すごい懐かしい感じがしました。<br>僕も１０円玉を手帳の中に入れてたなぁ。<br><br>駅前のロータリーは大岡山駅前でしょうか？<br>中身を見るだけなら違法ではないんじゃ、と言ってみる。 |
| ノエ<br>1/29 12:18 | ３部構成にしたことで、リズム良く読むことができました。<br>テーマや内容もいいですねぇ～。。<br><br>アメリカではお金を粗末にしないという願いも込めてでしょうか？１セント硬貨を拾うと幸福になるといわれています。<br>財布に拾った１セント硬貨を入れているのですが、１円玉と間違えてレジで出したら、結構気まずいです。。 |
| 紫雲<br>1/29 23:58 | 貯金箱に入った旧100円玉をいまだに銀行に持って行ってません。<br><br>10年くらい前になぜかお釣りでもらってしまいました。 |
| コーサク<br>1/30 4:6 | 心が洗われました。<br>私もお札に名前を書くくらいお金を大事にしなければ。<br>一万円札は一回くずすと、あっという間になくなるんですよね… |
| わがし<br>1/30 19:31 | んー。なんとなく、悪いことすると、その分何かが返ってきそうなので、とりあえず警察届けようかと思ってしまう私は小心者・・・。 |
| Bloomoon<br>1/31 18:12 | ＞使うまいと名札の裏のビニールの部分に忍ばせておくと、<br>丸い跡がくっきりとついていたものだ。<br><br>をはじめ、共感できる部分が多い！！<br><br>５円玉に始まり、<br>10000円まで徐々に金額を上げる書き方がお上手です |

| | |
|---|---|
| イッパイアッテナ<br>2/1 18:18 | 心に訴えかけてくる、いい作品でした。<br><br>ノエさんのおっしゃるように、三部構成が読みやすいリズムを作っているのだと思います。<br>また、冒頭の5円、10円と、テンポよくお金が増えていくのもまた読みやすい。頭の中で、ぽんぽんっと物語が展開していく感じで、次へ次へと読み進めていけました。<br><br>＞GUCCIのロゴ入り<br>はじめ、ここの部分っているのかなぁっと疑問に思っていたのですが、子供の財布だってわからないようにするための装飾だったわけですね。<br>.....初見で気づけない自分に涙 |
| まち<br>2/2 15:30 | 例えば財布の中に5431円というお金が入っていたとして、そのお金を今の私がどんな風に認識しているかというと、それは「5431円」という商品を買うことのできる数字としてではないかなと思います。<br><br>対して、子供の頃は10円玉という硬貨、1000円札という紙幣、それら自体をとてもよく見ていたなぁと読んでいて思い出しました。 |
| 茜<br>2/4 15:43 | ５００円玉って持ってるとちょっとうれしいんですよね。<br>父が５００円玉貯金してて、旅行のときのお小遣いそれでもらってたんですが、なんかコインがジャラジャラしてる感じが好きでした。たぶんビー玉好きなのと同じような感覚です。<br><br>お金というものを、本当に真正面から、それそのもの扱ったのに、いやらしさがなくて、懐かしかったり心が洗われるなんて感想がいっぱい出てくる作品。面白いですね。<br>子供の子供らしい行動が、安心させてくれるのかもしれません。昔の自分達がしていたのと同じようなことを、今の子供がしていると、なんだか安心してしまうのでしょうね。 |
| Asagi<br>2/7 0:8 | ・・・・いいなあ、この作品。<br><br>序盤のリズムでするすると入っていって、素朴で淡々とした語り口がぐいぐい読ませます。<br>『名札の裏のビニールの部分に忍ばせておくと、丸い跡がくっきりとついていたものだ。』って、あったなー。<br><br>ひとつうーんと思ったのが、「まだ使っていないであろう1000円札」ってピン札ですよね？<br>「財布の中にあったお札を一枚、僕に見せてくれた」、「まだ使っていないであろう1000円札のすかしの部分に～」<br>としたほうが、「まだ使っていない」が文頭にきてピン札だということが強調されるかな、と思いました。ご参考までに。 |
| kunipi<br>2/8 21:25 | テンポよくかけているので<br>そのテンポに読者もすうっとはいっていくことが<br>できます。<br><br>「我慢の子」っていう表現が好きです。<br>アトムみたい。。。そりゃ「科学の子」<br><br>さて、ＧＵＣＣＩの財布ですが<br>お札に名前が書いてあるからというか<br>きっとカードがはいってなかったからですよ、きっと。<br><br>それにしても最近ポイントカードで<br>財布がみるみるメタボです。 |
| Azalea<br>2/9 1:25 | 年相応の金銭感覚ってありますよね。<br>そういうのから、お金の使い方を学んでいくんでしょうね。<br><br>子供の財布の描き方がとても印象的で<br>千円札に名前を書いてしまうような子供でも<br>GUCCIの財布を持ってるっていうギャップに<br>一段落目の内容がうまくかかっているように思いました。 |
| ほろほろ<br>2/9 2:20 | こどもの金銭感覚を思い起こせ！　というお話ですよね。<br>いいですねえ！　沁みますわ～。 |
| プーギン<br>2/9 7:59 | 姪にあげるお年玉は毎年、666円です。500円、100円、50円、10円、5円、1円がひとつずつはいっていると喜ぶからです。これがいつまで通じるのでしょうか。<br>子どもの金銭感覚に着目したのは面白いと思いました。 |

| | |
|---|---|
| ３匹ヤギの<br>2/10 11:9 | 金銭感覚が変わったなと思うことは僕もよくあるので、とてもシンパシを感じます。 |
| Begonian<br>2/10 22:16 | ほえー、今時の子供はお札に名前を書くんですか。流石ゆとり教育ですね。<br>それともこの作品に登場する彼女だけ？<br>どちらにしろ、すんなりと受け入れることが出来ませんでしたねぇ。 |
| mu<br>2/11 2:13 | 昔は遠足のおやつを買いに行くのが楽しみでした。<br>３００円であの満足感が得られた昔の自分はなんてかわいいんだろうと思います。<br>今となっては、いくらあっても不満足みたいで、成長するっていやなことですね。 |
| レロニラ<br>2/11 13:56 | 大人と子供の金銭感覚の違いに着目したのは面白いですね。<br>でも小さい子供にＧＵＣＣＩは無理あるかな～<br>汚いヴィトンの財布だったらたまに居ますけどね。 |

ＴＯＰへ

# ドリームチームをもう一度

合計ポイント：11 Point
作者：　unknown
作者コメントはありません。

2004年に開催されたアテネ五輪。
スポーツ観戦が好きな私は毎晩眠れぬ夜を過ごしていたのだが、
その中で私はある競技の結果にひどく驚いた。
それは、男子バスケットボールでアメリカが負けたということ。それもアルゼンチンに、である。
決勝トーナメントの準決勝で、アルゼンチンに敗退したアメリカは結局銅メダルに終わり、金メダルを逃したのだ。
アルゼンチンはその後の決勝戦でも勝利し、金メダルを獲得した。

その時の私の頭には、アメリカはバスケがとにかく強い・バスケはアメリカのお家芸、というイメージがあった。
それに比べてアルゼンチンはサッカーが強い国というイメージで、バスケとは縁もゆかりもないように思えた。
何故アメリカはアルゼンチンなんぞ(大変失礼)に負けたのだろうか？
この疑問をきっかけに、私は現在のバスケ事情について調べたり、
アメリカのバスケットボールリーグであるNBAの試合結果や選手の成績などをチェックするようになった。
そうしていく中で、素人目ながらアメリカの敗因を分析し、ある結論に至った。
それは「一部の選手やバスケットボール協会が、国際大会よりNBAを優先する」ということだ。

まず選手個々人について。
2000年のシドニー五輪あたりから、一部の選手が国際大会への参加を辞退するようになった。
建前上は「私的な事情・健康上の理由」などとなっているが、
本音は「国際大会に参加した時の怪我や疲労を、NBAの試合に響かせたくない」ということだ。
試合での活躍が減れば、スター選手と言えどもトレードや契約打ち切りの危機にさらされる。
もしチームとの契約が打ち切られれば、選手の収入はなくなってしまう。
国際大会に優勝して出る褒賞金など、NBAの契約金に比べれば微々たるもの。
「名誉よりも収入」というこの考えは、寂しいなと思いながらも仕方ないことなのかもしれない。

次にアメリカバスケットボール協会について。
国際大会に参加するチームを選出するのは、国際バスケットボール連盟の傘下にあるこの協会なのだが、
アメリカ代表の選出は毎回大会前半年を切ってからなのだ。
さらに実際にチームとして動き出すのは、NBAのシーズンが終わる6月中盤からなので、
例えば8月に開催される夏季五輪の場合、その準備期間はたったの1ヵ月半しかない。
チームスポーツの場合、選手個人の能力以上に選手間の連携やコミュニケーションが重要で、
それを確立するために早くから代表候補を選出し、合宿や練習試合を重ねながら徐々にチーム力を上昇させるものだ。

身近なところでは日本のW杯代表が良い例で、W杯が終わるとすぐに次の監督を選出し、
新たな代表チームを4年をかけてじっくりと練り上げる。
1ヶ月半ではそのようなことは到底不可能だ。
このように、国際大会より国内リーグを優先するような事態は、そのリーグが世界的に見て上位であればあるほどよく起こることである。

2008年1月現在、NBAはシーズンの中盤にさしかかり、大変な盛り上がりを見せている。
しかし北京五輪については、代表はおろかまだ話の端にも上らないという感じである。
この調子ではまたも金メダルを逃すのではないかと思うのだが、アテネよりも期待が持てる事実もある。
アテネに参加した当時は二十歳ぐらいだった選手達が、現在NBAのトッププレイヤーと呼ばれるまでに成長していることだ。
もしアテネと同じメンバーが再び集まれば、急造チームでも金メダルに手が届くかもしれない。

マイケル・ジョーダンがいたバルセロナ五輪のアメリカ代表は、その強さゆえに「ドリームチーム」と呼ばれるらしい。
私は北京五輪で、現代の「ドリームチーム」が見たいと思う。

---

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

| 投稿者 | コメント |
|---|---|
| parakeet<br>1/29 11:34 | 日本でのＷＢＣにも似たようなことが言えますよね。<br>あれは勝ったから良かったようなものの。<br><br>名誉に関しても、オリンピックは注目度が低いんじゃないですかねぇ…。<br>ＮＢＡに比べての話ですけど。 |
| paco<br>1/29 20:14 | そういえば、<br>ドリームチームがドリームチームじゃなくなってから随分時間が経った気がします。<br><br>バルセロナ五輪の米国代表は、もはや伝説になってますし、<br>今後、実力的には過去最高のチームを編成したとしても、<br>ジョーダンのドリームチームが色褪せることは決してないでしょうね。<br><br>個人的には、最後の3文だけではなくて、<br>バルセロナ五輪代表についてもっと語って頂ければ、<br>より共感できる文章になったかなと思います。 |
| ノエ<br>1/30 22:28 | これねぇ、実はスノーボードの世界でも同じですよ。<br>本当に強い選手はオリンピック出ません。<br>そんなものです。<br>稼げる大会に出なければスポーツ選手なんて、それだけでは生活できないですから。。 |
| hanson<br>1/31 23:6 | へーって思いました。理由を分析するところが論理的で、いいと思います。<br><br>コレはこれでひとつの完成した文章だと思いますが、ここまで分析したらいっそのこと提案的な展開をしても良いんじゃないかなって思いました。 |
| イッパイアッテナ<br>2/1 18:23 | 野球でも似たような話を聞いたことがあります。<br><br>プロの一流選手がオリンピックなどにでないのって、怠慢じゃないかなぁっと思うのですが、まぁ、彼らもそれで生活しているわけですから、あれこれは言えませんよね。<br><br>ただ、野球のWBCで日本が優勝した時、アメリカが本気を出していなかったと負け惜しみをいうファンが多かったのですが、ああいうのは情けないなぁっと思うんで、やっぱり選手はファンを泣かすようなことはしちゃだめなんじゃないかなぁって思いますね。 |

| | |
|---|---|
| 橘<br>2/2 23:38 | NBAにめっぽう詳しい橘です。<br>アメリカ衰退の原因は、内部の要因だけではありません。<br>アメリカ以外の国々のレベルが上がったのもあります。<br><br>もともとJordanのドリームチームが結成される前のオリンピックは、<br>アメリカはNBA選手を送り込まず、アマチュア選手中心で臨んでいました。<br>それでも他国に比べレベルが高かったのですが、ある時金メダルを逃す。<br>そこでアメリカの名誉挽回の為に送り込まれたのが、<br>Jordan等NBA選手を中心としたドリームチームです。<br>結果は平均３０点差（？）位をつけて完勝!!<br><br>しかし現在、フランスや中国などには、<br>小さい頃からスポーツの英才教育をする学校が設立されていますし、<br>そのアルゼンチンの中心選手も、実はNBA選手なんです。<br>NBAはもはや「アメリカのリーグ」ではなく、<br>「世界の最高峰」なんですね(・・*) |
| イシルドゥア<br>2/5 20:31 | 　なんだか、お金のためにスポーツをやっているって悲しい気がしますから、きっと国内リーグの方がレベルが高くてやってて楽しいってことなんでしょう。そうだそうだ、そうに違いない。<br>　橘さんの言うように、ＮＢＡが世界の最高峰だとすると、オリンピックなんて魅力が薄れて当然なのかもしれません。日本にとっては国内リーグよりもレベルが高いから国際試合に熱狂するし、国内リーグの方が高いなら興味が薄れる。寂しいけれど、仕方ないのかもしれませんね・・・。 |
| bagi<br>2/6 20:20 | サッカーや野球でよく話題にされてますよね。<br>今はシーズンチームのほうがナショナルチームよりも強かったり人気があるのでしょうがないのかもしれません。でもやっぱり国の威信をかけて戦ってほしいですよね。 |
| Azalea<br>2/8 0:27 | ドリームチームと金銭の関係は本当によく言われますが<br>私は思います。<br>彼らはわかっていないのですよ、国際大会で勝てば、<br>自国のスポーツ人気はさらに上がるということを。<br><br>サッカーの件が顕著ですが、W杯に出たら人気が出てきましたし、<br>ＷＢＣに出たら、決勝戦の視聴率はとんでもないことになりました<br><br>名誉のため、ではなく、アピールのため<br>広告効果のために、出ること、勝つことには大きな意味があるんだ<br>と言えればいいのになあ、といつも思っています。<br>国のために闘え、なんて言える時代じゃないですしねえ・・・。 |
| はつね<br>2/8 16:53 | 確かにドリームチームには夢、魅力がありますが、実際にそれでは食っていけないのが難しいところではないでしょうか。W杯でもＷＢＣでもよいのですが、選手の義務は契約を結んでいるチームに対して最高のプレーをすることであり、日本代表としてパフォーマンスを発揮することではないわけで（だからこそＦＩＦＡは国際マッチーデーを作り、高レベルの代表戦が見れるように調整したりするのですが）。ですから出場しない選手をただ叩くわけには行かないのだと思います。<br><br>個人的には最高のチームで最高の成績を目指して欲しいんですがね・・・。 |
| Begonian<br>2/8 23:56 | オリンピックってスポーツより、商業(　お金)のためのイベントに見えちゃうんですよね。<br>競技自体も個別に別の世界大会なりそれに準ずるものが開かれてるわけで、なんだかいまいち独自性が無いって言うか。<br><br>皆さんがおっしゃるように、この手の話ってバスケに限った話じゃないんですよね。<br>内容自体は読みやすいし小難しい話もないのでいいと思いますが、やはり独自性、欲しいです。 |
| プーギン<br>2/9 7:53 | お金と金メダルの２つに「金」がかけあわさっていて、ドリームにも、金儲けのドリームと金メダル名誉のドリームがかけてあり、面白いと思いました。ただ、改行のしかたと１行開きが読みにくいですね。他の文章でも感じるのですが、活字媒体の文章そしてわれわれが小学校の作文でならった日本語の書き方は、改行したら一字下げることになっていますが、パソコン画面の文章は、メールもそうですが、一文ごとに改行する傾向があるようですね。 |

| | |
|---|---|
| 琥珀<br>2/10 20:35 | 　アテネオリンピックで印象に残ったのは、、ドーピングの再検査に応じなかったハンマー投げ優勝者、アドリアン・アヌシュ（ハンガリー）の金メダルはく奪→同種目で２位の室伏広治が金メダルに繰り上がったこと・・・<br>　オリンピックスポーツの裏に、国威発動が絡む地域や国家があることは、否定できないように思われます。<br>　（ハンドボール騒動を想起・・・）<br>　「国のために闘え、なんて言える時代じゃないですしねえ・・・」というご意見はもっともですが、そうじゃない地域もあるようで・・・<br><br>　橘さんのおっしゃっているように、別の観点からの考察が加わるともっと面白そうな結びが出てくるような気がします。 |
| Eisen<br>2/11 1:11 | 「金」というお題から「バスケットボール」の話に持っていく。独創的で、なかなかまねできないことです。しかも、きちんと「お金」を絡めているんですよね。<br>惜しむらくは、ちょっと冗長の感がありました。文を適度に切って削って、説明的口調をなるべく減らして。そうして文が作れれば、読みやすくスリリングな作品になると思います。 |

ＴＯＰへ

# テーマ：金

「金」。多義的なお題と意図したのですけれど、なんとなんと「お金」だらけになりましたね。さすが就活まっただなか？

なので、まずは「お金」以外のものから振り返り、そのあと「お金」について、三部構成でお届けします。

で、「お金」以外へ行ったユニーク派は13作品でした。

黄金色の稲穂

まずは、なごみ作品から。
ほしいい――この鄙びた言葉のぬくもりが、作品全体をやわらかく包みます。糒という小さなモノに視点をあてつつ、じんわり生活感の話題へと広げていって

「どんなに急ごうがあせろうが、稲が実るまでには毎年同じだけの時間がかかる。」

はっとしました。さりげないけれど、まさに「手間をかけた」作者さんの気持ちが稲穂のようにつまったフレーズです。ああ、そうだよね、としみじみうなずきました。
惜しかったのは世の昭和ブームに言及したくだり。「またその話？　もう聞き飽きたよ」と読者がステレオタイプの思考に誘導され、せっかくの作品の良さを噛みしめる前に放り出してしまう（今回のコメント群のなかにもちらほら）恐れがあるので、こうした日常から立ち上げてゆくひとりごとの場合は、「手アカ言説」（←勝手に命名）には寄り道しないのが吉でしょう。
でも、良さを味わってくれる読者さんも何人も現れ、ミャンマーからのメッセージまでいただけて良かったですね。

夕焼け

懐かしさはせつなさ。時代への郷愁から、タイムスパンは少し狭まって少年期への思い出へ。
夏休み・蓼科・画家の叔父さん、そしてひよわな都会育ちの少年。きれいに道具立てを揃えて情緒が醸し出されていますが、まだまだ「きれい」で終わってしまう、つまり定型に留まってしまった感。
たとえば「信じられないくらい美しい風景」と核心部分をとてもあっさり流してしまっていますが、美しさを「美しい」と言わずに表現するのが文章の力なのですから、その特等席から見た山肌は？　木々は？　水の流れは？　色合いは？　と微細に描写して、ここでしか見られない特異で心に残る〈何か〉を届けてほしかったです。

限りなく金色に近い柿の種

タイトルは村上龍へのオマージュ？？
ふわりふわりとはぐらかされ、かわされてゆくうちに、すっかり読者も芽衣子さんのとりこです。

肩を並べて歩いているふたりが、ラスト、少し歩調が異なって、踏切のあちらとこちら。ストーリー全体にそうやって歩調を持たせた工夫のおかげで、ややリクツがかった話もすっと入ってきました。

――踏切よろしく、ここらで色から金属の塊へ。

工場

まずは金属工場へようこそ。海に消えた「うに子」さん。実話ベースなのでしょうか、ウソくさくなくて、作者さんの後悔に寄り添いながら読めました。
最初と最後の段落が良いですね。本体部分の出会いと別れは、まあふつうの、言ってみればブログ的描写なのですが、海で工場の音を聴く、と始めて、その音が好きな自分を分析してみる、とくくった構成のおかげで首尾一貫し、全体でうまくひとまとまりの感慨となっています。
そして「窓」「女」「音」「偽」・・・全お題制覇ですか、なるほど。「東（口）」「目（的地）」「慌」で「想」も入ってる？

金色の王子

かなわぬ思いはこちらも同じ。
童話だから、きれいなのはお約束ですぞ、Begoどの。「そうしてツバメは、王子の涙に気付くのです。」というラストフレーズに、ほろりとします。
でも、天使さんの意図がやっぱり気になってしまうかな。いっそ天使をなくして、「５日間」という縛りもなくして、ある日突然、動けるようになって東西南北行ってみたけど、５日目（あるいは６日目）には動けなくなった、という不条理な運命にしてみたら、どうだったでしょう。
それでもベスト３に迫る支持をいただけたのは、このきれいな世界につかのま浸った読者さんたちからの、ありがとうのメッセージだと思います。

ドリームチームをもう一度

金メダルから発して、ちょっとした裏事情、語っていただくことでオリンピックのバスケットボールが少し楽しみになります。
ただまあ、予想のつく話の展開ではあるので、オリンピックでドリームチームが実現するというピラミッド型構造がよいのか、サッカーみたいに年齢で区切ってしまう棲み分けスタイルがよいのか、野球にアメリカンフットボールと、さまざまなスポーツの状況を見渡しつつ、バスケット好きの作者さんならではの提案が聴けると、よりオリジナリティが高まったのでは。

――色から金属へと展開して、さらに発想豊かな「金」へ。

2:1＋√5の神様

黄金比です。
せっかくゴージャスな道具立てなんですから、もっとキンキラキンのおふたりでもよろしかったのでは……と思いつつ、まあ地味なおふたりは、それはそれで味わいか。
雪に（ということにしておきましょう）描かれた黄金比の長方形、願い事のフレーズがあまりにありきたりで興醒めかな。もっと、それぞれのキャラクターが反映した「らしさ」があると、ストーリーの焦点がぐっとくっきりしてくると思うのです。

成り金

こちら将棋の世界です。
神様エライ。一歩卒くんの問いにもちゃんと真面目な答えを返しちゃうんだ。いや、噛み合ってないから、じつはボケの答えだったのか？
階級社会に文句も言わず、ひたすら闘う歩の誠実さを歩の視点から語ったところは共感力大なので、まとめ

部分でそれを、もうちょっと飛躍させたかったところ。

金さん

　きんさんぎんさん、懐かしいね、で終わってしまった感。
　最大の難点はオチでしょうか。脱力系を狙うにしても、じっさい、「金銀」を踏まえての命名でしょうから、あ、関係なかった、ごめん、という落としかたではツラいでしょう。

人生相談

　金卵党のお誘いにアドヴァイスを！
　回答陣が楽しかったですね。作者さんの投げかけた「卵」をコメント陣が転がして遊んでく、いい呼び水でした。
　で、ヘリクツ的論理展開の弱点は「国産卵」にこだわる根拠が薄かったところか。「日本人」が「日本国内」で消費しなくても別に企業は困らないでしょうから。

口は禍の門

　え？　「チキンラーメン」ですか？　（絶句）

――さいごはふたつの金曜日で。

花金

　社会人直前の思いを花金に託して。
　起承転結をきっちり書こうという折り目正しさは、そのまま作者さんのお人柄かなと読みました。「平等」ではない日本社会に悩むことも多いでしょうけれど、どうか良い未来が開けますように。

Only Friday

　Only Yesterday、つい昨日のことのような過去。
　ギャグ派RIRIさま、初めてのほのぼの系、ではないでしょうか。でも、猫なのにキジというあたりにギャグの片鱗が。。。
　こまやかな描写で、たんたんと展開して、ラストでさらり「キジが私の面倒を見てくれる」と主客の逆転。猫属性の本質をみごとに衝いて、あざやかでした。
　作品が到着したとたん、やられたなと思いましたものね。狙いすまして獲った首位の感。おめでとう!! もちろん「想」レースにも参加、ですよね？（にっこり）

　猫くんに別れを告げて、いよいよ「お金」に参りましょう。
　この、なくてはならないけれど、でも、とらえどころのない人間社会の厄介物。どうとらえていただけたでしょうか。
　〈突撃派〉と〈比較派〉、そして〈値段派〉の３タイプに分かれた模様です。

第１部 〈突撃派〉

　さきの「偽」セッションで培われた論説魂。お金という手強い敵を迂回せず、とにかく何か引っかき傷を付けようと突撃していった勇者たちに敬意を。９作品です。

――まずは総論３作品。

お金に纏わる３つの言説と１つの戯言

　言説という呼び方は、もっとまとまった議論のカタマリじゃないと使えないと思います。単に「答え」としておいたほうが、おさまりは良いでしょう。
　で、お金が全てか否か、３つの答えを挙げておいてから、受取手の姿勢のほうに着目しますと宣言して、さあ本論だとこちらも身構えるや、あれ？　「面白くない」「行き詰まり」。それで、おしまいですか？
　問題提起だけで終わってしまうのでは、コメントで既に指摘されているように、「とりあえず変なこと言って逃げる」のと大差ない気が致します。

世の中すべて金じゃ。。。

　時計集めに走る自分。その描写だけなら、冒頭に悪魔vs天使をわざわざ登場させた意味はないのでは？
　天使に弱々しく抵抗させつつ、やはり悪魔に傾いてしまうという葛藤をもっとリアルにどろどろと描出して、読者さんをその趣味へと引きずり込むくらいの迫力を備えないと、なんだか自己満足的反省文だなあで終わってしまいます。

オカネガイチバン

　すがすがしさに一票。
　就活という、ある種理不尽な、けれど重い選択を迫られる関門を、何とかポジティヴに、自分のためになる時間としてとらえたい、というまっすぐな真剣さに共感します。
　春が早く来ますように。

――次にお金とは？　という問いから少し現実に引き寄せて、その使い方を議論した３作品。

金の価値

　いいですね。ジーンズという、いわば「作業着」にこだわっちゃうところがサニさんの個性としておもしろく読めました。
　作者さんにもきっとそんな「こだわり」があるはずで、そこも語っていただけると、読者をもっと引き寄せられたと思います。

金と街

　お金か工夫かの二択？　まだまだ、思いつきを書き留めたメモ段階ですね。
　「都市美」について学んでいるかたがたの鑑識眼には、とても耐え得なかったようで、その親身なコメントのひとつひとつを肥やしにして、このメモをふくらませていただければと思います。

岐路

　繁栄か福祉かという選択が提示されているのですが、なにやら社説のような無責任さを感じました。
　いろいろ問題点を並べておきながら、「日本人1人1人に問われている」とピリオド。じゃあ、あなたは？と聞き返したくなる典型的パターン。
　コメントで指摘されているように論拠のしぼりこみと説得性の付与がもっと必要でしょう。

――上記の二択をリスクか安定か、と展開すれば、ギャンブルのお話につながります。２作品。

ギャンブルをしてはいけない

　期待値がどうこう、と細かなところまでていねいに冷静に組み立てて、さいごだけギャンブルの魅力を熱く！　という構成をギャンブルの両面をとらえようという工夫と見たのですけれど、それが災いして主張なしの蘊蓄文になってしまった感。

とある元大学生の、とある小遣い稼ぎ

　元スロット依存症さんの回顧トーク。自分の過去に、ひとつケリを付ける文章と読みました。率直さに◎。
　ただ、そこからいきなり大学生さんはギャンブルなんてするなよーと一般的な呼びかけに流れてしまうと、人生経験の積み重ね方は、ひとそれぞれさ、という当然の反発が返ってきてしまうので、オレはもう金輪際近寄らないぞと自分史で語るほうが良かったかと思います。

――使い方から儲け方へシフトしてきたので、〈突撃派〉のさいごは、この作品で締めましょう。

カネを稼ぐ

　仕事と家事、ではなくて、家事の一部としての仕事、というちょっとしたひねりが論旨を目新しくはしているのですけれど、それは「夫は外で働き、妻は家を守る」という超古典的規範と、いったいどこが違うのでしょうか。そのあたりのあいまいさが、女性陣の共感を得られなかった原因かなと思います。
　で、ラスト「妻と私は考えている。」と結ばれるのですよね。順番、逆じゃなくて。これって、つまりノ・ロ・ケ？

第２部　〈比較派〉

　正面から攻撃してもむずかしかろう。お金という抽象的なものを、別の抽象的なものと比較してその価値について測ろうという戦略です。お金より時間、とか、お金より愛情、とか。８作品です。

――時は金なり、なのか？ ３作品

今過ごすこの時間と、お金と

　遠距離恋愛破局説が秀逸な読みでした。
　たしかに、この抽象思考は、それくらいナマナマしい現実に置き換えないと、どうにもとらえがたくて、作者さんのなかで自己完結してしまってる感。
　もともとの主題はsum1さんご指摘の通り、今をとるか／未来をとるか、という選択なのでしょうから、そうきっちり整理した上で、それをお金に置き換えて設問化すれば、遠距離恋愛を持ち出さなくても、もっと読み手の思考を刺激できたのでは。

３６００

　これはまたダイレクトに1秒＝1円のレートですか。
　友人からの語り口調で聞きやすかったのですけれど、ちょっと教訓話に落ちてしまいましたね。
　「ちゃんと引き出す」って具体的には？　寝てちゃダメなの？　ごはんはいいの？　マンガはダメで、勉強はいいの？　ひとつひとつ押さえてゆくと、単なる精神論ではないメッセージ性が高まって説得力も増したかと思います。

お金より大切なもの

　今、一番欲しいものはお金より時間だ！　と空想しているうちに、あれぇ？　実はお金が欲しいのか、とブーメラン。
　この率直なつぶやきが、率直なコメント群を引き出して、これもまたナイス呼び水作品でした。

――お金で幸せ買えますか？ ５作品

金がないと幸せになれないのか

　ボクシングに疎いと、冒頭で入りそびれます。作者さんにとってはインパクトが強くても、読者を引き込むには、そのあたりの工夫がまず必要か。。。というのはコメントで既出ですね。
　で、ありがちのハングリー精神称揚に異を唱えようという主張なのかなとぼんやり論旨を読みとりつつ、「個人的には」と弱気で「逆のこと」と茫漠としか表現していない最終段落だけでは、読者を納得させるに、いかにもパワー不足。
　もう一段落、しっかりダメオシのパンチを加えて、旗幟鮮明にしたかった。

やっぱり不可欠だからだろうか

　奨学金をもらえた友人、お金で苦労している自分。先生の前なのに、つい噴出してしまった怒り。
　あんまり書き込まなかったので受けとりにくかったけれど、そんな背景から紡ぎ出されたつぶやきでしょうか。お金って、どうつきあえばいいの？
　経済学を勉強することで、そのことの答えも見つかってゆくのかも。＞作者さん

お金のはなし

　夢のないタイトルに夢のない結論。
　CM部分だけに華やかにスポットライトがあたって。
　この文章の構成そのものが、「お金」なるものの虚しさを演出するアイロニーのような。

金と男

　愛があれば収入の差なんて。。。と分かりやすいところへ流れずにちゃんと踏みとどまって、その人の収入は今までの努力の積み重ねと押さえたところが、この作品の良いところでしょう。
　でも、それをいきなり一般化して、世の中には、お金しか社会的な評価基準がない、とまとめてしまった乱暴さは要改善か。針を一方向に振りすぎてしまった感ありです。

命の値段

　事例が効いてます。ひとつひとつ積み重ねてゆくことで、この世の不条理が、しっかり形になってゆく。
　ただ、その重さを受けとめるはずの最終段落の「思うに」が弱々しい。直前で、「理想論」として棄却されている学説に、そのまま乗って論拠なしに自分はこちらが好み！　と主張しているだけと読めてしまいます。
　論説文のまとめは、やはり論理的であって欲しいところ。

第３部　〈値段派〉

　さいごは〈値段派〉です。
　時間や幸せなんていう茫漠たる比較軸を持ってこなくたって、お金にはそれ自体に、ちゃあんと値札という便利な比較可能のタグが付いているじゃない、だからそれを踏まえて語ってみよう、と。金額が具体的なぶん、ここはお話花盛りでした。とくに思い出話が多いのが特徴。
　１５作品。値札の安い順にまいりましょうか。

金吉じいちゃんのおんぶと10円玉

　菜々子ちゃんとおじいちゃん。
　妹が川へ落ちて、その夜にじいちゃんが引き替えのようにという展開が、ドラマ性は付くけれど、やや都合良すぎか。
　茜さんおっしゃるように、せっかく菜々子さんを平成の今も3世代家族のなかに置いたのですから、未来へのつながりをほんのり点描すると読み手も受け入れやすかったかと。

お釣り

数円かな、数十円かな、まあそんな規模ですよね。
日常によくあるできごとだからこそ、人それぞれの性格があらわれる。１行リレーで遊んだり、バイト経験を引っ張り出してお釣りを渡す側にまで視野を広げるなど、コメント数トップの盛況ぶりは、やはり作者さんの語りかけの率直さのおかげでしょう。これまたナイス呼び水作品でした。

小銭

海外旅行初心者さんにまっさきに伝授されるチップの習慣。
その分かりやすい文化落差を、父の涙というシーンでとても印象的に伝えていただきました。読者それぞれに自分の親を思い起こしながら、ある感慨に浸ることになる。それだけしっかりお父さんの個性が立っていました。
いやこれJALの機内誌なんかにそのまま載ってておかしくないレベルですね。あ、「見かけほどには感動しない料理」ってとこは書き換えないといけないけど。

金にまつわるショートショート×２

かりんとうは100円。保険金は数千万？
その値段ほどに落差のあるお話が二つ並べてあって、ユーモアとシリアス、方向性も全く異なって、いったいこれはどんな意図？
人生模様、金模様、こんなに違いがあるのです、ということでしょうか。作者さんの狙いを読みあぐねました。

江戸隠密スナイパー

お城の現金は195円。まあ、今回はそのくらいの笑いパワーしか出せなかった感。それでもこの順位まで上がったのは、涙目作者さんへの同情票ですよ、きっと!?
で、懲りずにまだまだ続く、という噂あり。

あたしマニュアル

妄想マニュアル410円。前回ほどに過剰対応は推奨しないのですね、わがしさん。
抱っこに撫で撫で、おまえは猫かと思っているうちに、ぽんと飛んでティファニーへ。たしかにCMがつくれそうです。

お金がほしいの。

おねだりガールが続きます。片道740円。
なるほどこれが世に流行中の〇〇デレか！？　（違
うまいうまい。ゴチックセリフでしっかり彼女の性格が見えてきて、ノロケ話もこう展開していただけると、読者さんも一緒に彼女のファンになってしまいます。
もちろん実話ですよね！　こうなったらたぶん、もう戻れないから彼氏さん、自分は幸せなんだと言い聞かせつつ地獄の底までご一緒にどうぞ。
これが５位にランキングされたことで、最終セッションは学部コラムランド育ちがベスト５のうち３つを占める結果となりました。ぱちぱちぱち。

ある日の夜、駅前で

こちらはGUCCIの拾得物。
お札に名前の子供っぽさが、いい導きの糸になって、モノとしてお金をとらえていた時代にふわっと連れて行ってくれます。

思い出＋事件＋今の思いと三段重ねの構成で変化をつけたワザが効いています。

金額など問題ではない

二食付き6500円の安旅館。
皮肉のあいまから静かな怒りが噴出してきます。
巻き込まれた不運に真正面からカッカと怒るのではなく、時を経て、ナナメに語る余裕が生み出されたということでしょうか。なにやら明治の頃の外国人旅行記のような、所詮未開のひとびとだから、しようがないなあと苦笑まじりに書き留めているような。
ときに、この不運は、ただの偶然なのか、大学名がマイナーだったことに起因するのかが、まとめかたに関わって気になるところです。

久しぶりに届いた贈り物

このサンタクロースさんは作者さんにはご両親の愛情を届け、そしてここの読者のみなさんにも同じものを届けてくださったようです。うるうる読者さん多発でした。若い世代の思いは「今まで私の使ってきたお金はほとんど親の愛情だ」というmuさんのコメントに尽きますね。
作者さんは社会人さんです。このリアリティ、たぶん実体験に根ざしておられるのでは？　さあ何か書かなくちゃ単位が、と思い出箱をひっくり返してみたら、そう言えばあんなことがあったなあ、と高校生のクリスマスの朝に立ち戻って、そこから思い出をあらためて辿り直してくださったのかな、と読みました。
思い出のお裾分け、ありがとう。ささやかながらブロンズメダルが、みんなからの気持ちです。

先生の懐

紙幣だからやはり１万円見当で。
先生のお人柄、親しみこめて伝わってきます。
ただ、テーマであるお金の話が添え物で終わってしまってますね。国ごとに通貨が違うってどういうこと？
訪れるごとに、おんなじ紙幣なのに買えるモノの量が変わるってどういうこと？　たぶん理系研究者であろう先生なりの貨幣論をちょっと御披露いただけると、この設定から広がりが作れたのでは。

31000円

だんだん大金になってきます。京都（かな？）まで往復。
とても親しみの湧く筆致でした。はるばるひとりで受けに行って、でも実らなくて、少し落ち気味の自分を励ますように、新しい希望を探して。
どこのどんな会社と、なまなましい情報は伏せられているぶん、特にここの読み手のみなさんの気持ちには、すっと入ってくるでしょう。

海苔缶

小道具の勝利ですね５万円。
泣かせます。
どこにでもありそうな、でも個人個人にとっては、ほんとうにかけがえのない思い出の形。ていねいにかたどって、特に若者世代の涙腺直撃でした。
この作品を書いている時に若い作者さんの胸中に去来したであろう〈やわらかい〉気持ち、ずっと残ってゆきますように。

故郷からの小包

こちらも、ふるさと小包到着です。積もり積もって引き出し貯金が６万円。
ふぅむ、この短い文章のなかで「実家からの小包の不在通知には、“ 米 “ とかかれてはないが」と敢えてこ

とごとしい説明が入っているのはなぜなのか、どなたも言及してませんね〜。
　これは食管法の名残で、統制下にあるお米を勝手に送ったりできなかったから、みんなこっそり送った、その風習が自由化後も残ってる田舎の堅気な御両親、という設定を匂わせるためのフレーズと読んだのですがハズレですか、ノエ姉？
　さりげないシンプルなフレーズの向こう側にゆたかな感懐を広げてみせる。初回の「窓」以来、これぞ省略の極致という、文章道にとってのひとつのお手本をずっと提供し続けてくださいました。それは、この場にとってもたいせつな贈り物であったと感謝です。ありがとう。そして、おめでとう銀シャリで銀メダル（さむっ？）。

使用目的：天下布武

　家族モノで涙腺うるるなお話が多かったこの値札パート、さいごのさいごにミョウなのがやってきました。天下布武のための融資だってぇ！？ 20万円。
　ほんとCMコントのような完成度。情景が目に浮かんでキャラクターもしっかり立ってて。
　ただ、さいごの１行だけ、絵として浮かばないのです。何の天下を獲ったんだろう？　たとえばパチンコ界の王者になるとか、安土饅頭本舗で大儲けとか、しっかり現代ネタのなかで完結させてあげると、ちょっとありそうかなと、より読者の夢を誘えたのでは。
　一般参加最若年のkirieさん、作風の広さを見せつけて大暴れしていただきました。ありがとう。またどこかで御縁といいな。。。

——さいごに、御参加くださった全てのみなさまに船長よりご挨拶を。

　学外からの参加者さんをお迎えするのも初めて、学生コメンテーター導入も初めて、と大冒険のプラネットでしたが、５セッションを終えて、みなさまのおかげで、とてもいい旅ができたのではないかと振り返っています。
　作品として、たくさんの思い出や決意表明や夢や物語をお預かりすることができましたし、またコメント・ラリーを10も20も続けてゆくなかで、気づいた着眼、ふくらんでいった論点も多々あり、それぞれの作者さんのたいせつな糧となっていったと思います。

　少し数字を並べてみます。

　全5セッション　　投稿作品総数　224　　総コメント数　4732

　受講生　　60名　作品数　164　コメント数　2055
　一般参加　14名　作品数　 60　コメント数　1054
　学生コメンテーター　12名　　コメント数　1623

　投稿作品１本に寄せられたコメントの数は　4732÷224　で　平均　21.125。
　ふつうの社会で文章を書いて、それを21人もの読者に真剣にコメントしてもらえるなんていう機会にはそう巡り会えないでしょう。それを実現してしまったプラネットのシステムと乗船客のみなさまの熱意を、船長として誇りに思います。

　特に、一般参加のみなさまはほとんどが社会人、どなたも文章のレベルが高く個性も強く、またコメントの密度も濃く、しっかりオーラを放って、この場の充実に貢献してくださいました。ほんとうにありがとうございました。

　そして、学生コメンテーターの活躍。さすがコメント専門集団として派遣されただけあって、全体の34%を占めたコメントは、数だけでなく、作品の構成や表現や意図、ときには改善提案まで踏み込んで、読みを深める貢献もずいぶんとしてくれました。いっぽうで、まだ若い彼らが社会人さんや院生さんから学ばせていただくことも多かったことと思います。

おつかれさま。おまけセッション、ぜひ楽しんでください。

では、これより船は宇宙空間の旅を終え、なつかしの地球へと向かいます。長らくのご乗船、おつかれさまでした。どなたさまもお忘れ物をなさいませんよう。